

意識の流れ

田池留吉の磁場を思い瞑想をしよう

第3巻

意識の流れ 田池留吉の磁場を思い瞑想をしよう

田池留吉

明後日から第14回UTA会が開催されます。愛の文字やサインの文字を使って瞑想の実習をしましょう。しっかりやってください。

頼みますよ。この際申しておきますが、UTA会は、来年は4回、その次の年は3回か2回と思っています。

回数が減った分をUTAの輪作りに当てたいと思っています。(幹事長さんはじめ関係の皆さん方と相談をしてから実施します。)

第14回UTA会、よかったです。ありがとう、心から感謝です。

草書体の愛の文字(ラミネートしたもの、ボールペン、コースター)を使って、これからも、沢山、いろいろ実験なり体験なりをしてください。

いずれ、UTAブックさんから、それらの実験、体験を募集することになると思います。その時は、よろしく頼みます。

実験、体験で、物の考え方、見方、そして生き方が変わった、反転力がアップして自己供養が捗った、喜び、温もり、優しさ、幸福感がどんどん心に響いてきて、もう、ありがとうしかありませんといったものを待っています。

私は、そんな方々と更に、愛の文字を使って学びを進めていきたいと思っています。よろしく頼みます。

愛の文字を活用していくと色々不思議な体験をしていくと思います。しかし、そのような体験は、その後も繰り返し体験できるようになります。

不思議でもなんでもなくなっていくます。そして、正しい学びが進んでいくようになってきます。

今回のU T A会で、U F Oを見たとか、異常体験をしたとか、死者の顔を見たなどを伝えにきた人がいましたが、要注意とおきます。

その時使った思いを見てください。しっかり見るようにしてください。そして、学びを正しく進めるように努めてください。

U F Oや異常体験、宇宙のパワーといったことを書いた本がありますが、Oリングテストをしてみてください。明明白白。

そのような本を読んできた方は、反転をしっかりしていかなばなりません。学びを進めていくことは難しいと思います。

意識の転回、大丈夫ですか。あなたは大きい存在ですよ。小さいものをしっかりと後生大事に握っているのはダメですよ。

あなたは意識、エネルギーです。愛です。愛は、偉大なる仕事をしていきます。

あなたをもっと信じてください。あなたをもっと大切にしていましょ。現象界はすべて愛の現われ、すべてプラスの情報を発信しています。

草書体の愛の文字、磁場反転で確認していきましょう。

あなたは、これからもずっと永遠に存在しています。今までもずっと私からのメッセージを受け取っていたはずです。

これからもずっと受け取っていけるはずです。受け取っています。今世、しっかりと学びを進めていってください。

そして、母なる宇宙に帰っていくように、真っ直ぐに進んでいきましょう。

母親の温もりを感じていますか。母なる宇宙に帰るために、素直に、真面目に、勇気を出して、草書体の愛の文字に触れて磁場反転と参りましょう。

母親の温もりが感じられるようになるまで、信じられるようになるまで、愛の文字、磁場反転と日々一生懸命努めましょう。

信じて学んでください。すべてがあなたの思い、情報発信一つですよ。

実相とは何ですか。答えは愛と。生滅変化する現象の本当の姿は意識、波動、エネルギー、愛と私は伝えています。

言葉だけではわかりません。瞑想です。心で分かるように学んでください。意識の転回が進んでくれば分かってきます。

実相という文字、言葉を使って瞑想をするよりも、私が使って

いる愛、磁場を思って、心の針を合わせてやってください。

間違いなく実相が分かってくると思います。

言葉とか意味が同じようでも、内容が全く違っているかもわかりません。

迷わず、信じて、草書体の愛に触れて瞑想をやってください。やるかやらないかだけです。やれば必ず結果が出ます。

磁場と反転は必ず喜びと温もりの世界、真実の世界へあなたを誘っていきます。

あなたが帰るところは愛、喜びと温もりの宇宙です。闇の宇宙、地獄ではありません。心して生きていきませんか。

あなたは次の存在を信じていますか。今、どのように拘わっていますか。

憑依霊、守護霊、悪霊等々。

意識を聞いてみては如何がですか。この際、はっきりしておいてはと思っています。

癌などの末期症状の方で、癌と戦うのをやめた、医師に治療をやめてもらい死を待つばかり、苦痛の処置だけと思っている方が案外多いようですが、どうでしょうか。

草書体の愛に触れて瞑想を、磁場反転をやり続けてください。

細胞から流れている愛に気付いてください。

来世に、未来の自分に繋ぐために死が訪れるその瞬間までやり続けてください。

病気を治すためのみに瞑想、磁場反転をするではありません。

生まれてきた意味を、死の意味を知ってほしいと思います。分からないままで死を迎えたら、想像をはるかに超えた苦痛、寂しさをどれほど味わうか。

最後まで、学びを真剣にやり続けてください。

お母さんと声出して呼べない人がまだ沢山います。どうしてでしょうか。己が偉い、神を握っているから素直になれないのでしょうか。

清く、正しく、美しい人なんか一人もいないと思います。母親を見下げ、バカにされていて、どこが清く正しく美しいのでしょうか。

学びを長い間してきてまだ心からお母さんと声を出して呼べない方、どうでしょうか。草書体の愛の入ったボールペンを手に持って、軽く目を閉じ、数回丹田呼吸をしてから、口を大きく開け、口の奥のほうから声を出して、お母さんと呼んでみてください……………。

何か心に響いてきませんか。懲りずに、数回試みてください。

磁場反転、忘れないように。あなたの実相は愛、喜び、温もりだということも。

愛の入ったボールペン、しっかり使っていますか。たとえば、お母さんの反省が進まない方は、ボールペンで、今世のお母さんのことを思い出しては、ノートに書き出していくようにしてみてください。

途中手を止めては、お母さんと呼んでみるようにしては如何がでしょうか。

終わりは瞑想、母を思う瞑想を忘れないように続けてください。

未だに、間違っていました、間違ってきましたと気付けない方、気付こうとしない方がまだまだ沢山います。

「あなた間違っていますよ」と伝えた途端、心を閉ざし、どこが間違っているのよと反発し、落ち込んでいく方がまだまだ沢山います。

いつになったら分かってくれるのでしょうか。この学びに抵抗し、自分が崩れるのを恐れている方が多いのを残念に思っています。

「自分は愛です」。この真実を信じていこうとして日々生きていけばよいだけです。自分に素直に、自分に誠実に生きておればよいだけなのに、本当に己が偉いとか思われたい人が、まだまだおられます。お母さんの温もりを感じながら一步前へ進むように心掛けてください。

学びの友の反省

どこまでも自分が正しい、間違っていない、そう突っぱねて生

きてきたことを、ようやく頷けるようになりました。

田池留吉から直接に、もしくは誰かを通して間違いを指摘されたなら、とたんにむくむくと頭を持ち上げる偉い自分が、たくさんたくさんさばっています。

どこが間違いよ、あんたがおかしいのでしょうか、私は何も間違っていない、これが正義だ、そう言い張ってがんとして引きませんでした。

その苦しさをひたすら押し隠して、何くそとやっていたのですから、滑稽極まりありません。

肉は間違っただけの思い、流したエネルギーに気付く器、苦しくなったら間違っている証拠、これほどはっきりとしたことはありませんでした。

自分で間違っているとうすうす気づいても決して認めず、それでいて心は疾しい思いに苛まれ、自分が己偉いことも分からずに落ち込んでいた。

それが私の肉の生き方でした。今思えば、落ち込むこと自体己偉いんだということすら分かっていませんでした。

敵を周りにたくさん作って、勝手に闘ってきた。だから休まる時がありませんでした。

それもこれも、すべてが愛の中のできごと。帰ってくるのは温もりだけ。温もりと受け取れない自分を見れば良いだけでした。

がんじがらめにした手をゆるめ、素直にお母さんを思えば、始めからこんなにゆったりとした中にあったのだなあ、馬鹿だなあ、何だか嬉しいです。

どれほど間違ってきたか、そんなことすべてが間違いだった、

そうつくづく感じます。だから今が余計に嬉しいです。

年の暮れ、自己評価、次の一点について、どうでしょうか。

「あなたは愛です」。如何ですか。信じていますか。信じられますか。分からない人は信じていないことになります。頭がくるくる、厚い壁が邪魔しています。

壁って何でしょうか。分かっていますか。磁場と反転のエネルギー、やっていますか。草書体の愛の文字、大いに活用していますか。

草書体の愛の文字を使って瞑想、磁場と反転のエネルギー、しっかり、しっかりやっていない人は、現時点では、甚だ道遠しということになります。そのような人はこれからどのようにしていくつもりでしょうか。

心の針を中に向け、壁、自分が作ってきた真っ黒な闇（磁場のエネルギーに心の針がしっかり向いていない、反転のエネルギーのすごさがまだまだ分かっていない）の確認をしっかりどうぞ、よろしいでしょうか。

さらにもう一つ、いいですか。死んでから、磁場に心に向けられる自信がありますか。田池留吉、アルバートからのメッセージを受信できる自信がありますか。等々考えさせてもらいたいと思い始めています。

いずれ、U T Aの輪にも入ってこない、これない人達だろうと思っています。

もう少し、最近入会してきた新しい人達に時間を割いていき

いと思っています。

私が、セミナーに参加するのも、後2年。少しでも、指針に従って、真剣に学んでいこうとしている人達に伝えていこうと思っています。

したがって、来る者は拒まずのところを少々厳しくさせていただきたいと思っています。

あなたは何を守ろうとして苦しんでいるのでしょうか。あなたは愛です。これ以外はほどほどでいいのです。あなたをもっともっと崩していきなさい。

あなたをもっともっと大切にしていってください。あなたはずっとずっと間違ってきたことに気付いてください。

愚昧なあなたはもういいのではないですか。もっと自分を信じ、自分に誠実に生きていってください。

そして、本当の喜び、温もり、幸せを知って肉も明るく爽やかに生きていってください。

草書体の愛に文字のエネルギーを信じていますか。もっともっと活用していきましょう。

「あなたは愛です」が信じられるようになりましょう。愛はエネルギー、仕事をします。愛のエネルギーは頭では、言葉からは分かってきません。

草書体の愛の文字を使って瞑想を。そして、磁場のエネルギー、

反転のエネルギーをどんどん実験、体験をしてください。

どなたも、必ず分かってきます。愛を思い、感じ、信じられるようになってくれば、あなたの現象界は見事に変わってくるでしょう。

信じて、ひたすらに学びを進めていってください。

信じたい、信じられるようになりたいだけではダメ、それは欲です、肉の思いです。正しい瞑想、磁場と反転の不断の実行だけがあなたを愛の覚醒へ。

最近、愛という言葉の口にしたり、文字にしたりする人が多くなってきました。大変嬉しく思っています。

然し、愛は必ず現象化してきます。体験します。実験の結果、愛の存在やそのエネルギーの素晴らしさを心と体で知ることができます。

どうぞ、それらの体験や実験の結果などを、みんなのものにしていってくれませんか。

愛は決してぶれません。安定飛行とでも言いましょうか、まさに、安心、幸福の境地に達することができます。

愛は流れていきます。すべてのものを本来のものに帰していきます。

あなたが愛に目覚めれば、あなたが愛に心の針を向けていくように心掛ければ、相手は変わります、争いは治まっていきます。

相手が変わってほしい、相手を何とか変えたいという思いは、いわゆるブラック、磁場のエネルギーに心の針を合わせ、直ちに反転のエネルギー、愛が伝わるようにしていきましょう。

最後に一言、母親の温もりを感じ、その喜びが分かっていない人からは、愛は伝わっていきません。

シャーマン（巫女）達よ、己の間違いに一刻も早く気付いてください。

あなた方がしてきた予言とか託宣とかいったものがどのようなものであったか、一刻も早く分かってほしいと思います。

あなた方が信じてきたもののエネルギーは、決して大きいものではなかったと気付いてほしいと思います。

直ちに、意識の転回、磁場と反転、愛に帰る道を真っ直ぐに進んで行ってください。

結果、現象はあなた達が間違った、間違ってきた証です。

時間はありません。早速、真剣に取り組んでください。忠告しておきます。

学びの友の反省

シャーマン（巫女）、予言者。

そこに流れるエネルギーは真っ黒でした。己一番の世界を繰り広げ、小さな自分をいかに大きく見せ、人々に誇示していくか、

政治の世界に入り込み、時の権力者を動かし、自分の思い通りの欲望を満たせる社会をつくりあげようとしてきた意識。

人々を恐怖に陥れ、支配し抑圧する。一族の為に、泣く泣く巫女になった意識でも、時の権力に迎合し、自分の肉を生かそうとしたことには変わりありません。自分の外に神を求め、その神の力を最大限に利用し、自分が神の代理だと豪語するようになった意識、人々に他力の思いを植え付け、他力のエネルギーを増大させていった意識。

人に上下、差別の思いを根づかせ、一方では人々を墮落させ、自らも地獄の底に沈んでいった意識。

今、自分の中のそんな意識達に思いを向け、間違いに気づき、共に正していこうと学んでいます。

重苦しく沈んでいる意識達に、磁場を思い、反転と働きかけています。

草書体の愛は思えば思うほど、私の中の宇宙に働きかけ、苦しい意識達を明るい世界へ誘ってくれます。

そして自然に愛は自分の中に存在する、草書体の愛は自分自身なんだという思いが強くなっていきます。

あなたは、自分は素晴らしい、正しい、清く美しいなんて思っていないでしょうね。

もしそのようでしたら、バカの前に、大がいくつついても足りないものだと認識を新たにしてください。

あなたが自分が愛だと目覚めたら簡単に分かることです。よろ

しいでしょうか。

U T Aの輪は、己を表す場ではありません。競ったり争ったりする集まりでもありません。

私達はともに愛に目覚めていく仲間です。真実に帰っていく友です。

現象界には、過去、現在、未来がはっきりとあります。意識界には現在しかありません。永遠の今、があるのみです。

したがって、過去に使った思い、エネルギー（過去世）も未来に使った思い、エネルギー（来世）も、現世に現象化していきます。

お母さんに使った思い、エネルギーは現象化していきます。

10月10日お母さんのお腹にいた時使った思い、エネルギーも0歳の時使った思い、エネルギーも現象化していきます。

それらの思い、エネルギーでマイナスのものは磁場と反転していきましょう。現在という時を磁場と反転で通過していきましょう。

磁場に心に向けて瞑想、マイナスの思い、エネルギーを感じたら反転のエネルギーを発していきましょう。

真面目に、誠実に、真摯に実践していきましょう。そして、あなたの故郷、愛に帰っていきましょう。

2013年は、間違った自分、偽者の自分を徹底的に崩してく年にしませんか。

肉を本物とした、してきた思い、エネルギーをしっかりと磁場のエネルギーと反転のエネルギーでプラスのエネルギーに変えていきましょう。

本物の愛に、本当の自分に出会っていきましょう。

間違った正義の旗を掲げ、贗物にせものの愛を振り撒き、我一番、我こそ神なりと支配と破壊のエネルギーを放出してきた自分を崩していきましょう。

みんな、みんな苦しみの原因、不和、病、孤独で苦しみ悩んできた原因、すべてを磁場と反転のエネルギーでプラスに変えていきましょう。

そして、本当の幸せ、喜び、温もりの人生が送れるようなあなたに蘇ってください。首を長くして待っています。

さあ、年内に決意、やる気、勇気を確認、1月1日、愛に向かって再出発、よろしいでしょうか。

年が明けたら、毎日磁場、瞑想、毎日反転、自己供養。そして、毎日毎日次元移行に向けて一步また一步前進していきましょう。

決断と実行でいきましょう。

2013年を迎えるに当たって、この学びに入ってきた動機を、もう一度しっかりと検証してください。あなたは間違っていないか。

その後、いや、初めからぶれていませんか。心の向け先が間違

ってきませんでしたか。案外このような学び方をしている人が多いですよ。

いくら、いろいろ都合をつけてセミナーに参加してこられても、五訓にあるように、何を間違えたのか、なぜ間違ったのか、分からなければ一歩も前へ進めません。

文字通り、悔い改めて学び直していきましょう。

学びの友の反省

今までの学びの過程の中で、何度も何度もこの学びの動機を検証することを促されてきました。

私も霊道がほしい、チャネラーになりたいという思いから学び始めました。

そしてそこには競争、醜い争い、我こそは一番というエネルギーが渦巻き、かつての巫女たちの争いが具現化したかのような様相がありました。

自分の使ってきた心、だしてきたエネルギーを見つめ、認め、それを回収するという学びを進めてきたつもりでした。

でも今もう一度見直してみると、本当に回収できたのだろうか、学びが進化した今ならさらに本当の自己供養ができるという思いが湧いてきます。

意識の世界すらも肉を基盤に学びを進めてきた、そしてその結果は明らかでした。

学びの動機を振り返り、自分の間違いをしっかりと認識してい

けば、自分のこれからの学び、どのように学びを進めていけばいいのか、おのずとはっきりと自分に伝わってくるでしょう。

それを信じて自分と自分の学びを進めていきたいと思っています。

すべてにおいてこれでよしという点はありません、いつも原点に立ち戻って、さらなる検証の大切さを感じています。

この学びの肉的な動機は、チャネラーになりたいということでした。しかしその奥に、打倒田池、田池留吉の宇宙に挑む暗黒の宇宙が存在していました。

凄まじいエネルギーで宇宙を真っ黒に塗りつぶし、すべてを支配し、破壊し、抹殺する宇宙です。己一番、他は認めず。氷のように凍てついた孤独な世界。私は自分の中のアマテラスを感じています。

今世、この日本に、この地に生かされる目的、そこには肉では分からない本当の自分の思いがある。

すべてが許される中で、どんなに狂いに狂った宇宙でも、すべてが真実に目覚めるように計らわれ、馬鹿な肉にも分かるように現象化される、これほどの愛があるのでしょうか。

真摯に、素直に、草書体の愛を思えば、私はなんという世界に今生きているのかと絶句です。「田池殺してやる」の思いはまた、「田池留吉を信じ、愛を信じ、喜びでゆべてを委ねます」ということでした。

心の針を愛、磁場に正しく向けるだけ、そのために草書体の愛の文字が用意してあります。その文字を活用するだけです。

こんな簡単なことができない、やらないのはどうしてでしょうか。

原因は全部自分自身にあります。させないような、できないような分厚い、大きな壁、自分が構築してきた真っ黒な闇の壁が邪魔しているのです。

一刻も早く気付いて反転といってください。呑気に過ごしている時間はもうありませんよ。

やるかやらないだけ、その結果はあなたのもの、現象化してから慌てふためかないように。

皆さん方は本当に自分が偉いと聳え立っていますよ。私は、そんなにあなた方は偉いんでしょうかと問い続けたい思いで一杯です。

あなたは、本当に自分は偉い、正しい、一番、我は神だと、今も思っているんでしょうか。もういい加減に気付いていただきたいと思っています。

あなたは、今、自分はU T Aの輪の中にいると思っていますか、それとも外にいると思っていますか、しっかりと検証してみてください。頼みますよ。

新しい仲間の方、前者の轍を踏まないように心掛けてください。あなた方は、この学びを進めていくのに大変良い環境にあります。

草書体の愛の文字を大いに活用していくように努めてください。

学びの長短は関係ありません。さし当り、磁場と反転の本をしつかり幾度も読んでください。ホームページは毎日開いて読むようにしてください。

お母さんの温もり、磁場に向けての瞑想と反転、まず肉でも頑張ってください。

誠意には誠意で以て応えていきます。誠意と真剣には責任以て共に学ばして頂きましょう。

あなたは愛です。愛のパワーは素晴らしいです。

草書体の愛の文字を活用しながら愛のエネルギーの凄さ、仕事の素晴らしさを確認して行ってください。あなた自身がパワーですよ。

凄くて素晴らしいパワーです。地球人類は、肉を本物とする思いを強く大きくしてきて、自分が意識、愛だということが分からなくなり、外に、宇宙と思っているものに向かってパワーを求め始めたのです。この事実は自己矛盾、自己破壊、恐ろしい結果を齎すことになると思っています。

宇宙のパワーだと思って求めてきた人は、早急に、愛のエネルギー、磁場と反転のエネルギーを活用して、自分が作ってきたパワーの闇、闇の厚い壁から自分を救い出すように心掛けてください。

当面の大仕事です。必ずやり遂げてください。素直に聞き入れてください。ハイと言って実行してください。

学びの友の反省

「ハイ」と素直に応える、それができていませんでした。肉ですら「ハイ」と言えなかった自分はいったい何だったのだろう、何を思って学んでいたのだろうと振り返っています。

恐ろしいくらい己が偉く聳え立っている自分に目をつぶり、得手勝手な学び方をしてきたのです。

「前者の轍を踏まないでください」というメッセージは本当に自分の間違いを明らかにしてくれます。

肉を基盤に学びを進め、そして他力のエネルギーの中に埋もれたままで、心の向け先がまったく見当違いのまま、それでよしと年月だけを重ねてきた自分を思います。

だからこそ、今与えられている草書体の愛、そして田池留吉の磁場を思い、反転を重ねていく学びは、これを実践しないで学びの輪の中に入っているとは絶対言えない、何をさておいても一番に実践していく、そしてそれが喜びなんだと伝わってきます。

自分を振り返り、何を間違えたのか、すべてが間違いでしたと今ははっきりと自分に伝えることができていると感じています。

今までの自分はすべて崩してあらたな自分に生まれ変わる、そんな2013年にしたいと思っています。

真実の一つです。私達はみんな愛ということです。愛以外には

何も存在しない。愛は、日本語で語れば喜び、喜びは温もり幸せということになります。

喜びは明るくシンプル、矛盾なし。暗い顔、怒った顔、特別・選民・区別差別の言葉、争い、孤独、みんなみんな愛欠乏状態と言えるでしょう。

あなたは今、明かるいですか、暗いですか、怒っていませんか、争っていませんか。

あなたは今、あなたの人生計画にないどうでもいいようなことにとらわれていませんか。

やろうと計画して生まれてきた自分自身に誠実でしょうか、真面目でしょうか。

あなたの心は今、どちらに向いていますか。外ですか、内ですか。

真実は外にはありません。外に喜びや幸せを求めても、豊かさや安らぎを求めても空しい結果になるでしょう。

あなたの心を内に向け、針を愛、本当のあなたに向けておればいいのです。

草書体の愛の文字を使って実験してみてください。磁場と反転です。よろしいでしょうか。

意識の転回、自分に絶望することから始めよう。徹底的に自分を崩していこう。

意識の転回が進んでいかなくは真実は見えてきません。

では、なぜ、意識の転回が進まないのか。頭では分かっていると思います。しかし、心で分かるように学びを進めていってください。

身体が不調和、病気が思うように治らない、こんな時だけ反転、反転と唱えている人が案外多いようです。

肉体細胞に向けて、治れ、元気になってくれと頼み込んでいるような人達でしょうか、まだまだ多いようです。

他力信仰の信者が現世利益を求めて祈っているように聞こえてきますが、どうでしょうか。

磁場に心を向けてない人、磁場そのものを信じていない人、磁場に心を向けられない人は反転以前です。

反転力がどういうものかも分かつとしないで反転、反転と呪文でも唱えているようでは困ったものです。

自分自身が愛、パワーだということが心で分かるようにもっともっと勉強してほしいと思います。

磁場と反転の本をしっかりと読んでいるのでしょうか。どのような読み方をしているのでしょうか。

どうでしょうか。磁場と反転の本を読んでほしいと思っている人が自分の周りに何人いるのでしょうか。その人達に、本を読むように勧めているのでしょうか。

自分の身体の不調和や病気が治ったら勧めようと思っているのではありませんか。

この本は素晴らしい、ぜひ、あの人に勧めようと思えるように

なってきたら反転力も少しは分かってくるのではないのでしょうか。

私のホームページも、磁場と反転の本もあまり読まないで、反転の言葉だけを掴んで、反転、反転と唱えていてもあまり効き目はありませんよ。

最後に、磁場のエネルギーと反転のエネルギーはすごいと言っている人も多いということも伝えておきます。

寒さ厳しい日が続きますが、春の温もりも感じ始めています。
2013年は、学びの友にとって良い年になるでしょう。

楽しみにしています。

3月には、UTA会も磁場と反転出版セミナーと謳って開催していただけます。大変嬉しいことだと思っています。

更に沢山の仲間の人達からすごい本だという声が聞こえてくるようになってくればと思っています。

私は今、そのような人達に伝えていきたいと心から思っています。

あなたは、一体、何をいつまでも守ろうとしているのですか。身体ですか、人的物的もろもろの環境ですか。身体や形の世界を基盤としたあなたの思いですか。

いずれみんな消えてなくなるものばかりです。ただ、思いは、ブラック、闇、反転してプラスに変えられるまで有形無形のあなたに影響してきます。

争い、環境破壊、病気などとなって現われてきます。

愛を信じ、愛に心の針を合わせて、草書体の愛の文字を使って、反転と進んでください。

本来の姿、愛に帰っていきましょう。病やもろもろの苦しみ悩みから自分自身を救っていきませんか。

故郷、この2文字は、あなたの心にどのように響いてきますか。あなたは、永遠に私と共にあります。私は故郷です。

お分かりになりましたか。意識の転回が進んでくるとお分かりになってきます。

意識の転回が進んでいない方は、もう一度、出発点に戻って勉強し直してください。光陰矢の如し。

無駄に過ごしたと思っている時間、本気になって出直せば取り戻せます。誠実、真面目、勇気、大変大変大切です。

地球人類はひどいと思いませんか。簡単に生物を殺していきま

す。
恵まれない地域に生まれた子供たちやその親たちを飢餓で無残にも殺してはばからない人が沢山います。どうしようもない状態です。

地球という星には、これから300年かけて超超大の掃除が必要となってきます。ところであなた方の転生はどうなるのでしょうか。

想像を遥かに超えたものになっていくように思われます。

プラスの現象をマイナスに変えていく人間が年々増えていくでしょう。人間の無知とエゴと欲はどんどんと肥大化していくと思われます。

どうか、あなた方は、私が伝えてきました学びをしっかりと理解できるように、頼みます。

プラスの現象をマイナスに変える例……病気になる時恐怖の思いが出る、その恐怖の思いを反転しない場合。恐怖の思いが出たとき、その思いを正しく磁場反転した、できたとき、病気はプラスに変わっていきます。ただし、反転力の弱い場合はプラスに変えることは難しいでしょう。

今年の第一四半期、1月、2月、3月の間にしっかり反転力をつけましょう。

3月には、「磁場と反転」出版記念セミナーがあります。それまでに必ず反転力をとっています。

そのためには、草書体の愛の文字を使って瞑想を、マイナスの思いが出てきたら直ちに反転という思いを発するようにしていきます。

同時に、愛の文字か出てくるエネルギー・パワーの素晴らしさを確認していきましょう。

そのためには、沢山、沢山実験を、体験を重ねていくように努めましょう。

もう一つの反転力のつけかたは次のようにしてみてもどうでしょうか。、家庭のこと、仕事のこと、病気のことでも悩み苦しんでいる人があなたの周りにいたら、まず、学びの話をする、興味を持ってきたら磁場と反転の本を貸して上げるか1冊差し上げる、できれば、磁場と反転の実践を一緒にする。

そういった友達を沢山作っていく。如何がでしょうか。

学びの友の反省

苦しい！！苦しい！！苦しかったあー！！、、とめどもなく迸り出てくる闇、真っ黒な凄まじいエネルギーが田池留吉の磁場、反転により温もりに帰っていく様を心で感じられる今、本当に奇跡です。

長きに亘り、間違えに間違ってきた自分、この自分に本当に申し訳なく、申し訳ない思い一杯です。

自分の心を見てきませんでした。外ばかりを見て心を右往左往し、びくびく怯え、誤魔化して、誤魔化してきたのが実状です。これが間違い、間違いにも気付くことなく今に至ったのでした。

この学びの最後になって、草書体の愛、この愛により自分の心を見る機会を得ました。こんな嬉しいこと、他に在りません。本当に有難うございます。

肉の田池先生にお出会ってきたこと、本当に感謝と有難うだけです。まさに千載一遇、奇跡でした。本当に有難うございます。

ただただ、この道一筋に歩いてまいります。ああ、嬉しいです。

まだまだ自分自身に甘い人が沢山います。心を内に向けようとしな。向けられない。どうしたらいいのですかと頼っていく。

だから苦しい苦しいと言いながら苦しい自分の心を膨らませていきます。

本に、ホームページに何度も何度も書いてあります。講話でも何度も何度も聞いているはずなのに。

そんな時こそ、しっかり苦しい、マイナスの心を確認して、磁場と反転を実行していけばいいのです。

しかし、まだまだ磁場と反転を信じていない。だから、反転力が弱い、他力の心癖がむくむくと膨らんできてどうしようもなくなってくる。

己が偉い、神などを掴んでいるから前に進められない。

自己選択自己責任。草書体の愛の文字、磁場と反転がありますでしょう、しっかり活用してってください。

こんな声も多いです。子供が病気で困っています。娘が引き籠り勝ちでどうしたらいいのでしょうか。夫が肺癌と言われて大変落ち込んでいます、家の中が真っ暗です。

またこんな声も。友達のAさんが夫のことで困っています。ともだちのBさんが集団検診で引っ掛かって困っています。

聞いてみると、自分はまだまだしっかり勉強ができていないのでよ

ろしく頼みます。更に聞いていくと、相手の人は、本はまだ読んでいない、セミナーには来ていない、ということ。

こんな時は、まず、自分がしっかり勉強して、自分が愛であるということが信じられるようになってください。

本を読んでもらうとか、ホームページを開いてもらうとか、一緒に瞑想をすとかしてもらっていくように。

人のお役に立ってほしいですが、役に立てるように学んでいくことが大事です。それから、力不足のところをというように心掛けていってほしいと思います。

私の病のことを案じていただいている方がおられるようで、近況報告を。失礼しました。

昨年暮れ、硬膜下血腫、完治。ありがとう。

人間は存在そのものが不安だという人がいます。意識の転回ができていない人でしょう。

現在の人間は、地獄から出てきて地獄に帰っていく転生を繰り返してきました。

なぜそのような転生を繰り返してきたのでしょうか。学びをしてきた方はもう分かっていますね。

だから、私は「あなたは愛ですよ」と伝えているのです。そして、そのために、草書体の愛までラミネートしたものを用意しているのです。

その活用の手順まで、一応伝えさせていただきました。いいですね。

学者先生がどんな話をしているも、宗教指導者がどのように語ろうとも、人間の本質は、愛、喜び、温もりです。

存在そのものが不安だと思っている人は多いと思います。しかし、違います。永遠に存在する意識、エネルギーです。愛です。愛は仕事をします。

肉や形を本物と思っておれば、不安になるでしょう。しかし、0歳の時を思い出してください。お母さんの温もりを、磁場に向けて瞑想を、自分自身が愛だと目覚めてくれば簡単に分かってくるお話。惑うこと勿れ、右顧左眄うごきべんすることなく進んでください。

いよいよ活動開始、**UTAの輪作り**を始めます。

メンバーは、母親の温もりの分かっている人で構成します。

すなわち、意識の転回が進み「私は愛です。」を信じている、磁場を信じ、磁場に心に向け瞑想、反転力が駆使できている人達です。

全宇宙に愛を伝えていこうと志している人と共に進んでいきたいと思っています。いずれ連絡します、その際は、よろしく頼みます。

今日の磁場と反転に決意のことが載っていました。私からも一言。何に対してどのよなことを決意したかということを確認して

おきましょう。

本当の自分自身にですか、贗物の自分、影の自分にですか、それとも私にですか。決意を簡単に翻すとはどういうこととっていますか。

私は、この学びは人生だと伝えてきました。そのことは、自分自身に反旗を翻すということになります。このことは現象化します。自己選択自己責任ということになってきます。

この学びや私を他力の対象としているのでしょうか。まったく動機も学び方も間違っています。そんな中での決意などは無知、エゴ、欲の戯れとしか取れないのではないのでしょうか。

もっと自分自身に誠実になってほしいと思っています。自分を大切にしていきましょう。

私の少年時代、滅私奉公、犠牲的精神といった言葉をよく口にしていました。

また、少し長じては、国家社会の為、世の為人の為にと自分にも他人にも言っていました。

また、真理探究とか言って、色々な本を読み、いろいろ考えたり、修行の真似事をしたりしてきましたが、真実が全く見えませんでした。

全く間違っていたわけです。

やはり、お母さんの反省に導から、素直に進めてきたのが予定してきたこととはいえ正解だったと思っています。

全く正しい道筋にあったと確信しています。だから、私は、自

分に誠実に生きよう、自分を大切にしていこうと努めてきました。

そして今は、寸分の間違ひもないと確信してわが道を喜び、喜びながら歩んでいます。

私は、小さい頃から、不思議なことをたびたび経験してきました。何か私を超えた大きな力で動かされているように思って生きてきました。

一方、それに逆らうかのように間違っただけを沢山してきました。

そのような生き様を波乱万丈の人生だと思っていました。全く矛盾していました。愚劣の極みでした。

人生論関係の本、哲学、宗教、精神世界、そして、文学・小説をよく読んでいましたが、求めていたものが何も分かっていなかったようです。

しかし、信義誠実をモットーに肉体を酷使して頑張っていたように思います。全く間違っただけの生き方を性懲りもなく生きていたように思います。

今から思いますと、どうしようもない愚劣極まりのない人間をやっていたことになります。

そのような生き方しかできなかった私にも大きな大きな転機がやってきました。

やっと、素直に、自分に伝えている自分に思いを向けられるようになりました。

「心を大きくするのも、小さくするのも自分自身だ。心を大き

くしなさい。本当の自分に目覚めなさい。」

「敵はどこにも存在しない。敵を作っているのはお前自身だ。」

「お前は短気だ。お前が説いている、信じている愛は贗物だ。^{にせもの}しかし、いずれ世に出るようになるだろう」が心に響いてきてからは、私の生き方も何かに動かされているかのように変わってきました。導かれるままに、お母さんの反省から入っていきました。

私は、この世のことは程々に、とは言っても、仕事や生活は誠実に真面目にしてきたつもりでした。そして、お母さんの瞑想を始めました。

今まで曖昧^{あいまい}模糊^{もこ}としていたことが段々と明らかになってきました。驚きでした。

とても私の頭脳では理解できない不思議なことが次々と我が身に、周りに起こってくるようになってきました。

やがて、私の話を聞いてくださる人が徐々に集まってくるようになってきました。

昭和61年3月依願退職しました。そして、宿泊を伴ったセミナーを国の内外で開催するようになっていきました。

母親の温もりを忘れている人、知らない人はいつ狂ってもという状態ではないでしょうか。すごいマイナスの思いを発しています。

精神的に不安定な人、自殺をする人、凶悪な犯罪を犯す人などに共通しているのは、母親の温もりを忘れ、自分自身に反逆している点だと思っています。

だから、母親を憎み、逆らい、消え失せろ、ぶっ殺すぞと叫んでいる人は、一刻も早く母親の温もりに帰っていくように学んでいってほしいと思います

自分が発した思い、エネルギーは必ず現象化します。くれぐれも要注意。

私は、母親に孝養尽くしなさいと説教するつもりはありません。

母親の温もりが蘇ってきて、お母さんありがとう、今世生んでくれてありがとうと心から喜びが伝わってくれば、誰でも今世の母親にも優しく、そして、心の底からありがとうと発しながら共に幸せに暮らしていけます。

愛を忘れた人、知らない人があまりにも多すぎます。愛に帰っていきましょう。あなたは愛です。

U T Aの輪はみんなが作っていくのです。

肉体や形を信じている、言うなれば、意識の転回の進んでいない人達は輪の中に入っては来れません。

愛一途の人達の集まり、仲間集団というところでしょうか。

勿論、私の恣意しいで決めるものでもありません。肉体を持っていようとなかろうと関係ありません。人数に制限といったものもありません。

300年後の次元移行に向けて真っ直ぐに進んでいっている人達が共に作っていくのです。

「五訓に悖^{もと}る勿れ」。日々学びの検証をしっかりやっていきましょう。

「今日も夫と喧嘩しました。」「最近、仕事のことで悩んでいます。家に引き籠っています。」「仕事がありません。お金がないので困っています。」

「毎日が寂しくてたまりません。酒を飲まないではおられません。」といった人は、間違いなくU T Aの輪の中に入れないと思います。

私は愛だと、いまだに目覚めていないからです。

明るくて、楽しそうで、嬉しい、ありがとうと喜び一杯の人はよさそうですね。

あなたは何か信じているものがありますか。自分自身ですか、神ですか、金ですか、それとも誰か、何かですか。

自分は、疑い深い、何も信じられない、裏切られてばかりだと思っていないですか。

「あなたは愛です」。信じていきましょう。意識の転回が進んでいけば間違いなく「私は愛です」に確信が持てるようになります。

「私は愛です」に目覚めることが人生の目的、今生生まれてきたのはそのためです。本当の喜び、安らぎ、幸せはその覚醒にあります。

本当に信じられるものはこの一点のみです。真っ直ぐに学びを進めていきましょう。

学びの友から

HPにありましたように、磁場と反転の本を、私も声を出して読んでみました。

いつも涙が出てきていましたが、おわりのとこだけを声を出して読んでみました。

読んでいるときから、涙が溢れてきました。そして、瞑想をしました。

何と凄い学びかと改めて思いました。

普通、何かを学ぶと言えば、それ相当の月謝がいます。それを無料で学ばせていただいています。

草書体の愛をラミネートしたものをいただいたり、ボールペンやコースター等々、学びやすくするための道具まで与えていただき、活用の仕方まで何度も何度もHPでも教えていただいています。

何とありがたい、至れり尽くせりの中で学ばせていただいているのかと、心から喜びが込み上げてきました。

お母さん、私を産んでくださってありがとう、田池留吉に会わせてくれてありがとう。

ありがとうございます。と何度も出てきます。

これからも、声を出して本を読んで瞑想することもしていきます。

ありがとうございます。

お母さんありがとう、産んでくれてありがとう、肉体細胞ありがとうと声を出して行ってください。

間違ってきました、間違ってきました。お母さんのすべてを否定してきました。

温もりに帰りたいかった、愛に帰りたいかった。

私は正しい、私は間違っていない。その思いですべてお母さんを否定してきました。

もりに帰りたいかった、愛に帰りたいかった。そんな自分を切り捨ててきた。

私は間違っていない、私は立派、私は正しい、の思いが苦しかった。苦しくて、苦しくて、のた打ち回って、己、己、己、と叫びつづけてきた。私は自分を地獄に叩き付けただけだった。

あぁお母さんありがとう、ありがとうございます。ごめんなさい、間違っていました。

田池留吉の磁場、嬉しいです。ありがとう。

死後の世界に思いを向ける。苦しい世界が展開する。ふと草書体の愛を思う、一生懸命思う。死後の世界に大きな変化を感じる。

過去、現在、未来、意識の世界は現在のみ、現在を生きること

の意味を感じる。草書体の愛をいただいた今、その波動に包まれて、私のすべてを包み込む存在を私自身の中に感じる。

もう外に何も求めなくても、すべてが自分の中にある、外に求めれば求めるほどそれは遠くに行ってしまう、自分自身を破滅に追いやることを知る。

草書体の「愛」。それはお札やお守りのたぐいでは断じてない、「愛」は私自身であり、そしてすべての源である。

愛に帰ろうという言葉が私の中で大きくこだまする。嬉しくて幸せな時間を過ごす。

ありがとう、お母さん、すべてにありがとう、その思いが大きく膨らむ。

私は自分で自分の心を小さくしていました。

今、ゆったりとした中に自分を感じます。

お母さんの温もりを感じます。

柔らかな温かい思いです。

とてもとてもゆったりとしています。

何もない何もいない。

幸せなときを感じています。

母への思いがどんどん変化していきます。

あれほど嫌っていた母への思いも温もりと共に

ありがとう、ありがとう。嬉しい、嬉しいに変わっていきます。

とても幸せです。本当に本当に幸せです。

私の心にも愛があります。私の心にも愛がありました。

お母さん、お母さん、ありがとう、ありがとう。

お母さん、お母さん、ありがとう。

愛に触れながらお母さんありがとう、産んでくれてありがとう、
肉体細胞ありがとうと声に出して言ってみます。自分の中から異
語が溢れてきます。中から突き上げてくる思いと共に、異語で語
ります。嬉しいです。

自分の心が愛に触れて愛を思えば思うほど、心の底からただた
だ間違ってきた、何もかも間違ってきた。温もりの中でそう叫ん
でいる私があります。喜びの思いと共に、ただただ間違ってきた自
分が愛に触れていく思いを感じます。愛に触れるから、間違っ
てきた思いが湧き上がってくるのだと感じました。

本当に愛を感じているから、自分が浮き彫りになってくる。そ
れがただただ苦しかったけれど、とても不思議に感じるほど喜び
の中でその思いが溢れてきます。間違ってきた、何もかも間違っ
てきたんだ。愛を思うことが嬉しい、愛に触れられることが嬉し
い。何とも言えない瞑想です。

ただただ心で感じる瞑想です。心に響き、心で感じているだけ
です。肉の私は驚いています。自分の心が感じているから、肉の
私がどうか関係なく心が感じている感覚です。肉はその思いを
妨げないように、ゼロ歳の自分を信じていくだけです。心で感じ
る瞑想に変わってきているように感じます。

本当の温もり、愛に触れていくから、その中で感じる自分の思
いは前とは違っています。許されている、愛されている、包まれ

ている、受け入れてもらっている、認めてもらっている、そんな感覚の中です。愛の中で自分の間違いに気付くことができる、こんなに嬉しいことはありません。本当に喜びだけです。

ただ間違い続けてきた自分の思いが本当の自分の思いに触れることができるように、私の肉は思いを愛に向けていくだけです。肉で妨げてきたことを感じます。愛はすごいです。愛があるから、田池留吉の磁場を思うことがもっと嬉しくなってきます。ゼロ歳の自分を思うことが嬉しくなってきます。信じられてきます。

この思いに出会えていることが喜びです。心で感じられることが本当に嬉しいです。肉の私は少し驚いています。思いが溢れて、愚かな自分が嬉しくて、こんなに愛の中にあるんだって信じられてきます。実践、実験、心で体験していけること、肉を持ってできることです。自分に与えてもらったことを喜んでいける人生が、本当の喜びの人生だと感じます。嬉しいです、ありがとうございます。

「私は素晴らしい、私は駄目だ」。そのどちらも偽物、肉の私であったことに気づきます。本当の私、自分自身には素晴らしいも駄目もありません。本当の私は喜びと温もり、愛であったことに気づきます。

本当の自分に気づき、そしてとことん信じていく道を歩むことが喜び、幸せでした。他力の道は自分を信じていくことを阻止します。自分を小さく小さく固めてしまいます。真っ暗な世界へ埋没し、本当の自分を見失わせていたことに気づきます。

「何もかも間違っていた」、そこから出発し田池留吉の磁場に心の針をぴったりと合わせる訓練をしながら自分の中のエネルギーをマイナスからプラスへ反転していく、それがどんなに素晴らしい画期的な喜びであるのか、素直な心で学び続けていく限り、自分の心で感じていける、その確信を持ちました。磁場を思う、愛を思う、思うことがどんなに喜びであるか、ひしひしと伝わってきます。

こんな幸せが自分の中にあっただの、心の中にある喜び、温もりをさらに私の宇宙に、そして彷徨っている縁ある意識達に伝えていきます。

人生をやり直したい、生まれ変わりたいと思っている人は沢山いるように思います。

また、死が訪れるまでやりたいことをやっていきたいと思っている人もかなりいるように思います。しかし、どのようにすればいいのか分かっているようで分かっていないのが現状ではないでしょうか。

結局は人生失敗ということになっていくのです。この世的には成功者、立派な生き方をしたと賞賛されても、学びをしてきた多くの方は分かっておられるように、死後の世界はいわゆる地獄ということになります。

人生の意味を全く分かっていない人がまだまだ沢山います。

なぜ人間は、悩み苦しむのでしょうか。

なぜ人間は、戦い傷つき人生を無駄にしていくのでしょうか。

寂しい、何か温もりがほしい、助けてほしいと思っている人が多いのでしょうか。

それは、愛を外に求めてきたからです。愛を捨て、愛を忘れたからです。

心を外に向け、外に喜び、温もり、優しさを求めてきたからです。母親の温もりを捨ててきた結果です。

では、どうすればいいのか、私が伝えてきた指針に従って素直に実践していくしかないと思っています。

後は、あなたがやるかやらないかだけです。

「私は愛です。」に目覚めてください。愛に帰ってきてください。そして、愛の中にずっと生きていた幸せな自分に気付いていきましょう。

毎日、毎日ホームページを読んでいますか。

パソコンを持っていない人には印刷をして渡してあげてください。見難い人には読んで聞かせてあげてください。

老若男女を問わず、皆皆、草書体の愛の文字に手を触れ、目を軽く閉じ、

お母さんありがとう、産んでくれてありがとう、肉体細胞ありがとうと声を出して行ってください。

そして、瞑想三昧といきましょう。

音訳CD「磁場と反転」が発売されます。著者が朗読。本が読み辛い人には勿論だが、瞑想用としてもいいと思います。

大いに活用してみたいかですか。申し込みはUTAブックさんへどうぞ。

反転力を強く大きくしていきましょう。

まず、自分の反転力を確認しましょう。

それには、コップに水道水をを入れ、コップを手に持ってオーリングテストを実施する。

または、白紙に自分の手を置き、その白紙を手に持ってオーリングテストをする。

私はずっと以前からすべての存在にメッセージを送ってきました。もうすでにこのことを知っている方も多いと思います。

そこで、私は、現在学びに連なっているすべての方に、これから私が送っているメッセージを受けたいと思っています。

できるだけ早い時期からずっと受けてほしいと思います。そして、自分用の田池留吉メッセージ集を作られてはと思います。

そして、そのメッセージ集を自分のテキストとして更に学びを進めていくようにしていただけたらと思っています。どうでしょうか。

平成26年12月のUTA会が終わってから、メッセージを学びの指針として進めてこられた方達に一堂に集まってもらって2年間の成果を話し合いたいと思っています。

それから次の段階に学びを進めていこうかと思っています。今世の学びの最後の段階になろうかと思っています。

私からのメッセージかどうか、自信のない方、疑わしい方、おられると思いますが、とにかく精一杯受け続けてください。きっと、正しく受け取れるようになると思います。

そして、次の段階へと皆と進んでいきましょう。

私からのメッセージ、田池留吉、アルバートからのメッセージが本物に、学びを進めていくのに的確なものになってきましたら、どんどん、毎日でも受けてください。そして、正しい瞑想も、その後、必ずやるようにしてはと思っています。

後は、意識の流れのままに、次元移行に向けて進んでいってください。正に、自己確立。

もういい加減にしてはどうでしょうか。マイナスの思い・エネルギーを性懲りもなく出しっぱなしにしているのは反転はいただけませんよ。

何のために反転のエネルギーをと思うのでしょうか。反転のエネルギーは愛のエネルギーです。闇のエネルギーで愛のエネルギー

一をと思のうは、闇闇・他力のエネルギーだと反省してください。

愛のエネルギーは他力と合いません。他力の対象にはなりません。

磁場にしっかり心に向け、信を強くしていくように努めてください。

磁場に対し、反転に対して、もっと誠実に、真面目にになってはと思っています。他力の人、往々にして欲が深く、我儘ではないでしょうか。

先日、「**磁場と反転**」音訳CDの録音作業が終わりました。いずれ、希望者のところに届くと思います。

このCDは、目の不自由な方には、本が読み辛い方には大変良いものだと思いますが、本当は、何方にも良いものだとお勧めしたいと思います。

と言いますのは、このCDを瞑想に役立てていただければ、きっと喜んでいただけるものだと思います。できれば、本を勧めたいと思っておられ方にも勧められたらよいかと思っています。

心が外に向いていると苦しくなってきます。肉の思いがどっと出てきます。程々にということです。

瞑想をしていって、自分から出ているエネルギーが分かってくれば、どうすればよいか、もうお分かりと思います。磁場反転です。

とにかく、苦しみ悩んでいる人は、意識の転回など、ほったらかしの状態でしょう。従って、肉、肉、肉。肉で何とかしようと足掻いているに過ぎないのです。

今は何とか思うように進んでいるように見えていても、必ずその結果が出てくるでしょう。

心が外に向いている時は、愛以外のものに心が向いているということです。

誰かが言っていました。愛だけでは飯が食えないと、反発してきます。愛だけでは飯が食えないか私を見ていてください。学びの原点をしっかりと学んでからにしてほしいと思います。

そんな方は、どうぞ、U T Aの輪から離れていかれたらよろしいのではありませんか。

どうしても元カレが忘れられませんか。神の愛、仏の慈悲、金のパワーとどのように拘わってきたのでしょうか。

真冬並みの日が続いていますが、体調はいかがでしょう。

磁場反転はどうでしょうか。しっかりやってみましょう。

まず、磁場にしっかり心向けていきましょう。

心が磁場に向かないのは、あなたが作ってきた他力の闇に原因があります。できるだけ元カレから自分自身を解き放していくようにしていきましょう。

心の針を磁場に向けながら瞑想に入っていきます。

マイナスの思い・エネルギーが心に響いてきたら反転のエネルギーを発するようにしていきましょう。

苦しい時、辛い時だけするのではなく、常に、反転と楽しんでいくようにしましょう。

磁場反転のエネルギー・仕事を信じて実践していきましょう。

更に、「磁場と反転」音訳CDについて。

3月のUTA会で、音訳CDを使って瞑想をとっています。つきましては、当日、CDとCDプレイヤーかiPod（音訳を入れておく）などを用意してきてほしいと思います。

瞑想は、会場と部屋でするようにします。

※ iPodなどを用意について UTAブックさんの方で考えていただけるようです。

心を外に向け、頭でいろいろ考えていては、本当の喜び、温もりを感じることはできません。

このような生き方は、自分自身に対して不誠実、自分を大切にしていないということです。もっと、自分を信じてください。

「私は、意識、愛だ」ということがもっともっと信じられるように、指針に沿って学んでいってください。

田池留吉、アルバートからのメッセージを受けていますか。次の、第15回UTA会までに10回以上メッセージを受けた方は、読み易いように、たとえば、本の形にして、当日受付でメッセー

ジ受信券を貰ってください。

受信券を持っている方を、20年以上学んできた人、5年以上20年未満の方、5年未満の方に分け、抽選にて、それぞれ、10名、10名、5名を選び、チャネリングでワンポイントをとっています。

どうぞ、沢山の方が参加してください。

なお、抽選は3月17日にします。

私の肉のモットーの一つ、死ぬまで元気で生きていきましょう。肉は大切です。肉がなければ心を内に向けられません。

気力体力がなければ、学びを進めていくことが難しくなってきます。

自殺、他殺はもってのほか、肉を持っている、持ってきた意味が全く分かっていないということ。自分自身に対する超大反逆。

真実を知らない、実相を全く分かっていない人間が、うようよ、一杯、この地球上には。

しかし、人類には、まだまだ希望は沢山、沢山残されています。人間万歳。

身体も大事にしていきましょう。しかし、意識の転回、次元移行は超大大事。

常に、心の原点に立ち、磁場・反転の実践と、喜び、喜び、幸せな人生を送っていきましょう。

私のモットーその2、**肉のことは程々程々に**していきましょう。
ぎゅっと握ったら最後、苦しみと困惑が始まります。

肉のことに多忙、瞑想はそこそこ、東西奔走の日々、どうしようもありませんね。

難病、家庭崩壊、倒産にぶち当たってからでしょうかね。今世は、ああ、勿体ない勿体ない。

しかし、私はあきらめません。最後まで愛に向かってと志している人とは、私は、ともに、学ばせていただきましょう。

なかなか磁場反転も、磁場にも愛にも心に向けることも、瞑想も、できないと困惑している方いますか。

もし、あなたがそうでしたら、草書体の愛の文字を見ながら、更に、目を軽く閉じて愛、愛、愛と声を出し続けてみては、どうでしょうか。

または、塩川香世著「磁場と反転」の特に5、6のところを声を出して読み続けてみませんか。

そうしているうちに、何か心に響いてくるものがあればいいなあと思っています。

やってみませんか。

そのようにしている時に、**お母さんありがとう、産んでくれてありがとう**という思いが響いてきたらとも思っています。

瞑想する。心を内に向けていく。愛に心の針を合わせる。お母

さんの温もりが心に響いてくる。

マイナスのエネルギーが心に響いてくる。心を磁場に向けて反転と発する。

どんどん続けているとプラスのエネルギーが心に響いてくるようになる。

後は、瞑想を楽しんでいけばよい。母なる宇宙と共にできましよう。

愛に心が向くようになるのはなかなかです。学びの原点も分からず、動機の反省もなく、従って、母親の反省、他力の反省もい加減にしておいて、愛、愛、磁場、磁場、反転、反転と呪文のように唱えては一向に学びは進んでいきません。

学びを軽視していないか検証してください。

本を読んでください。ホームページを読んでください。誠実に、言葉を尽くして語り掛けてきました。

後は、あなたが実行するかしないかだけです。頑張ってください。

田池留吉のメッセージを受けているが、本当に田池留吉からのメッセージなのか分らないと思っている方、次のようにしてみてください。

波動はどうでしょうか。これが一番の決め手でしょう。受けている時、どんなエネルギーが、プラスかマイナスか見てみる。

メッセージを文字にして、それを印刷し、Oリングテストして

みる。できれば、夫婦、家族の者としてみる。

夫婦、家族のものと印刷物を読み合いをしてみる。

私、田池に、「**我を認めよ**」と迫ってくる方が少なからずいます。私の返答は、「**もっともっと、自分自身を信じなさい**」だけです。

私は、いつも、ずっと、誠意を以て伝えてきたつもりです。

あなたも、もっと、真面目に、もっともっと自分を大切に学んでいってほしいと思っています。

「あなたは愛です」、信じていますか。「ハイ、信じています」と、今、返答ができますか。

まず、できるまで、焦らず、弛まず、そして、真剣に、常に心の原点に戻って学びを進めていってください。

テスト、実験などを通して自己評価しながら学び、自分の信のレベルを確認しながら進んでいってください。

田池留吉・アルバートからのメッセージということ自分自身からのメッセージということになります。ただ今現在のところでは、田池留吉・アルバート＝あなた自身ということにはなっていません。

だから、その時までは、田池留吉・アルバートに心に向けて、信を高めて、メッセージをと伝えています。

そのようになってくれば、自分自身に問うて、それに忠実、誠実に応えていけばよいのです。分かれば簡単。

後は、信じて進むだけ。真は高まっていくばかり、喜び喜び、我が人生を楽しみ、全うしていけばよいだけ。分かれば簡単。

ただ、後は、教科書、自分自身からのメッセージ通りに実践あるのみということです。

肉として、形として見ている田池留吉は愚かでしょう。しかし、肉を持っている意識を見下げ、小さく捉えていませんか。

そのような人は、無知で、欲深く、自己中心で己偉いものだと知ってください。肉基盤、意識の転回0度ということです。

ととてもとても真実に目覚めることは、今世は不可能でしょう。

どうか、本当のことを知ってください。そして、来世に繋いでください。次元移行へ一歩前進してください。

「あなたは愛です。」信じていますか。それはどの程度ですか。

愛すなわちあなたはとてつもなく大きく、広い温もり、エネルギー、仕事、超大の仕事をしていきます。

愛への信が高まれば高まるほど反転力も大きく、強くなっていきます。

草書体の愛の文字（ラミネータ、ボールペン）を活用しながら、愛の文字でいろいろと実験を繰り返しながら、愛があなたの中であって仕事をしてることを、もっともっと信じていけるように、そして、来世に繋ぎ、次元移行に向けて一步一步進んでいくように努めてください。

心の病という名の病気を治す名医は、愛を伝えるお母さんでしょう。奥さんやお父さんの場合もあるでしょう。

心の針を愛、「あなたは愛ですよ」と伝えさせていたでいる愛に向けながら、しっかりと抱きしめてあげればと思っています。

何も要りません。愛だけです。愛が欠乏しているだけです。

心が病むとはどういうことでしょうか。ただ心の針が間違っただけだと思っています。どうでしょうか。信じてやってみませんか。少しの勇気を出してやり始めてはいかがでしょうか。朗報を待っています。

己偉い人はダメ、神と金を握っている人もダメ、偶像崇拜の人もダメ、我も他人をも責め裁き、見下げ、怒りを正当化する人もダメ、愛に目覚めていない人は絶対ダメ、何のために生きているのでしょうか、脳は何のために用意されているのでしょうか。

勝つために、体罰という名の暴力を振るう、人を指導するために、飴と鞭を巧みに使う、このようなことをあなたはどのように思いますか。どのように思ってこられましたか。

体罰も、鞭と飴も愛というエネルギーが働いているのでしょうか。現実は大変難しいですが、愛の実現に徹していくように心掛

けましょう。

人を導くには、まず、自分自身が愛に目覚めることが絶対必要条件です。

祈願、黙祷。必勝祈願、合格祈願、病気平癒祈願、平和祈願等々。

誰に祈るのですか。黙祷を捧げてどうなるのですか。

小さい小さいもの達の戯言、もういい加減にしていきませんか。

自分がみんなが愛だということが信じられないんですか。差別のない自由な世界が嫌いですか。

この世は影、陽炎。あなたの周りを見てごらん、差別、戦争、餓死、不自由、孤独、闇ばかり。

しかし、みんな地球人類が作ってきたものばかり。存在の基盤を忘却の彼方に捨て去ってきた者たちの現実。

「あなたは愛です」に目覚め、愛に共に帰りませんか。

私が伝えてきたものはこのようなものです。共鳴されたら、後は決意と勇気、自分自身に対する誠意だけ。

しかし、やがて、私は、「自分自身に誠意なき者はU T Aの輪の中に入ってこないように」と厳かに伝えていくでしょう。

一昨日1月27日(日)の沖縄の瞑想会は大変良かったというメールが10数名の方から来ました。

特に指の時は感動しましたというメールもありました。

その時は、反転という言葉は使いませんでした。一言、反転

と発する時は、磁場のエネルギーを発する、自分の思いだけでなく、磁場に心の針をしっかり向けた時に発するようになしてください。

反転はプラスのエネルギーを発するのです。マイナスのエネルギーを発している時は反転とは言いません。

反転と発する時は心して実行してください。

反転は、すごい愛のエネルギーです。検証を積みながら、反転力をどんどん高めていってください。

回答、田池留吉の世界、磁場、愛、そして、お母さんの温もり等々はあなたの心の中にあります。

だから、あなたの心を内に向けるように心掛けてください。瞑想ですね。

心が、五感とともに外に向いている時は真実は見えてきません。外は有限、無限の世界は内にあります。あなたは、本来は無限です。

あなたはあなたの内にあります。あなたは、心を内に向けてあなたを知ってってください。

そして、本当のあなたと出会ってください。

チャンス、気づき、目覚めのチャンスは必ずどなたにもあります。チャンスは愛、多くの人は見逃してきています。勿体ない、勿体ない。

病気、仕事、人間関係などに愛が高く、時には低く語ってきます。
愛をもっともっと感じられる自分に戻ってください。

お母さんありがとう、産んでくれてありがとうと心からお母さんに返していきましょう。

お母さんの温もりを忘れていては真実は見えません。お母さんが大好きになってください。

あなた方は初めから幸せでした。お母さんが好きになってくれば分かってくることです。

お母さんは、愛、愛…、信じて、信じて…お母さんの懐に入っ
てごらん。しっかり包んでもらったらと思います。

お母さんの温もりを否定する人間は人間にあらず。

愛から遠く遠く離れた単なる己の偉いものに過ぎないと思いま
す。

お母さんは愛、あなた方が掴んできた、掴んでいる神、仏、金、
パワーより大きなもの、気付いてください。目覚めてください。

一步でも、私、愛に帰ってきてください。待っています。共に
次元移行を。待って、待って、待っています。

もっともっと反転力をつけてください。なぜ弱いのか、分かって
ほしいと思います。

まだまだ、神を金を握っている。己が偉すぎる。あなた方が信
じている、いや誇っている自分は小さ過ぎませんか。

握っている神などは小さいです。あなたをもっともっと信じて
いきましょう。

あなたは偉大です。あなたが握っている神などよりもあなたのほうが大きいです。

信じて自己確立へ進みましょう。

もっともっと田池留吉の世界を知ってください。

皆さん方は、まだまだ小さく、低く捉えています。このようでは、反転力は弱いわけです。

幸福とか喜びが分からないわけです。

自分に残されている時間を大切にしてください。勿体ないと思いませんか。

千載一遇のチャンスが勿体ないと痛感していませんか。

田池留吉・アルバートからのメッセージを受けて送ってこられる女性の方がいますが、それらを夫や親に読んでもらってほしいと思います。メッセージを皆さん方の勉強の資料にしてほしいと思います。

そして、夫婦で親子で学びを進めてください。でなければ、メッセージを受けている意味がないと思います。

私、田池にと思う前に、夫に、親にと思ってください。

意味のないメッセージは送っていただいてもと思っています。

3月のU T A会からは夫婦、親子揃って参加できるようになればと切に思います。

静かで明るい人、静かで明かるい環境がいいですね。

そんな人と、一緒に、自然に囲まれた温泉に浸かり、静かに目を閉じて瞑想を楽しむのが、私の一番の贅沢な時間となっています。更に、意識の世界を語り合い、楽しめれば最高。

不平不満をだらだらと愚痴っばい人、口を尖らせて相手を非難攻撃して憚^{はばか}らない人、いずれにしてもトラブル人争いを好む人はかないません。そうですね、肉、肉、…でしか受答えのできない人はもういいという思いでこれからは行きます。よろしくお付き合いをお願いします。

人生の目的を達成せんと、誠実に一步一步前へ前へと進んでいる人はいいですね。

そろそろ身辺整理と思っています。生きていても死んでいても楽しいですが、少々人と物の整理をしておこうと思っています。ご協力をお願いしましょうかね。死んだら、あまり時間を置かないで、皆さん方にメッセージをお送りしようと思っています。これも、一つの証です。

U T Aの輪、認知から成長への段階に入りました。一人でも多くの方と共に更に成長へ。よろしく頼みます。

歓喜。アメリカ。全宇宙がここに意識をどんどん向けています。勿論、肉を持った意識達も大集合しています。

次元移行への旅、達成まで後50年。肉を持っている意識達は、意識の転回最終段階、意識は一つ・愛の覚醒へ。

3次元では、紀元2013年2月1日。

現在肉を持っている意識達よ、全宇宙に向けて反転、愛を。喜びだけの日々を、意識も、肉も。

ただただ自分自身を信じて250年後の偉大なる大集合に。さあ、母なる宇宙へ出立。

UTAの輪が核、中心だ。いつも、いつまでもいっしょで。

至福。筆舌に尽くし難し。感謝、ありがとう。

田池留吉・アルバートのメッセージを受けている方、どうぞ、メッセージの内容を必ず実行してください。

実行しないならば、受けても無意味ということになります。

実行していけば間違いなく、まず、お母さんとの関係が良くなります。続いて、夫または奥さんとの関係も良くなってきます。

ならないのは、田池留吉・アルバートのものでないか、正しく受けていないかどうかでしょう。

更に、心の不安定な子供さんがいたら、メッセージから正しい学びをしていけば治せると思います。やってみてください。

田池留吉・アルバートのメッセージを受けている方に、まず、

波動をエネルギーを感じて、それを文言でという時に、自分のエゴを満たす、己を表すために作業をしているものがあります。

常に、発している、使っている自分の思い・エネルギーを見ていってください。

そうすれば、ぶれることもなく、正しく受け、学びを進めていけるようになってきます。

田池留吉・アルバートはプラスのエネルギー、愛のエネルギーです。

自分に都合の良いように使わなようにしてください。それはマイナスのエネルギー、矛盾しています。

そして、現象化してきます。

心の向け先は、田池留吉の磁場、アルバートの磁場、愛、母なる宇宙、母親の温もり、真実の自分自身と伝えていますが、故意に、田池留吉の磁場を避けてという方がいます。そのような方は、その時に発している思い、エネルギーを見てください。

マイナスのエネルギーになっていないでしょうか。

思いは現象化します。瞑想もうまくいかないでしょう。反転力もなかなか強くなってこないと思います。

夫婦仲が悪い人達があります。この人達はこれからどのようにいくのでしょうか。

私が伝えてきました学びを進めていくことは難しいでしょう。

母親の反省をしようとして、田池留吉のメッセージを受けていようと、難しいでしょう。冷たいの一言。温もりなんて無縁の人達。肉は良い人と言われているかもわかりませんが、冷たい人、愛から遠く離れている人達でしょう。

必ず現象化します。既にしているのではないのでしょうか。

一日も早く、心新たに、勇気を少しでも出して、前へ第一歩を。

今日、犬ほたと散歩している時、私が、この大宝の土地に家を建てて住み付いた頃から共に学び始めた当時の友で亡くなった人達のことを思い出していました。

何とかと思いますが、思うようにはいきません。何とかしないほうがとも思いました。そのほうがとも思いました。

それは、肉の私の思いです。どうしようもありません。

自分のことは自分で、自分を救うのは自分自身で、これが法。

皆で、皆を所謂供養と思いたいですが、無理、そのよう結果で帰宅しました。

世間では、葬儀、墓の建立、死者を弔う、先祖供養等々でしょうが、死者を救済することは不可能に近いと思っています。

むしろそのままに、そして、自己救済することのほうが先決でしょう。

縁のあった者が、心の針を愛に向け、死者に愛の温もりを流し続けていくのがいいと思います。

そのエネルギーは、縁者の来世に繋がっていくことになると思っています。

いよいよ明日は、立春、更に、心を田池留吉の磁場・愛に向け、反転と、愛のエネルギー、プラスのエネルギーを全宇宙に流していきませんか。

全宇宙に思いを馳せ、共に、次元移行に向けて歩み始めていきましょう。全宇宙に温もりをと参りましょう。

お母さんに産んでいただいて、千載一遇のチャンスを得たのに、お母さんありがとうも言わずに、なぜ生まれてきたのか、どこへ流れていくのかも分からずに死んだらあかんと伝えたいと思います。

ほんとに、これからの300年間はどのようにするのか案じます。

無知、エゴ、欲の3つのままでは、生まれてきた意味は全くありません。心していきましょう。

何よりも、心底からお母さん産んでくれてありがとうと言えるようになってください。

それも、お母さんが健在の時に。

台詞「死ぬ時に後悔したくないんだ。やりたいことをしておきたい」を聞いたら、あなたは、その時どのように思いますか。

「遠隔実験をしています」というメールが届きました。皆さんはどうしていますでしょうか。

遠隔反転は水、果物などには効果はあるでしょうが、人間には、死者には大変難しいと思います。

受ける側に問題があるからです。しかし、自分のほうに意識を向けさせて、共に、田池留吉の磁場、反転とスムーズにできればと思います。

U T Aの輪、永遠を信じ、田池留吉の磁場を信じ、心に向けている人達が集まってきています。

一方、意識の転回を心掛ける様子もなく、なんとなく集い、道徳や慣習やうたかたのものに埋没、現世利益、欲望のままに生きていくすべしか知らない人達も。

しかし、この様な人達は、やがてどこかへ流れていくでしょう。また、旗を振りたい人達もやがて消えていってしまうでしょう。

U T Aの輪は、意識の輪、永遠を信じ、いつも、愛を思い続ける意識の集い、一つに生きる意識。

歓喜。感謝。

U T A会即U T Aの輪ではありません。

U T A会に集っているから集っていない人達より上と思っている人がいましたら、それは間違いです。

U T Aの輪は、肉を持っているいないにかかわらず、「私は愛

です」と認識しているもの達の集いです。

U T Aの輪は、母なる宇宙ともにありたいと進展していく集いです。

U T Aの輪は愛、愛を全宇宙に放射していきます。

今、巷間では、体罰問題で喧噪。体罰は教育でも、愛でもありません。暴力に過ぎません。

体罰を容認するような環境は洗淨をしていくのがよいかと思います。

暴力が、日常茶飯事に、愛を知らない、忘れてしまった人間達の間で愛の鞭という名で行われています。

まず、家庭や学校から、子供の為、生徒の為という暴力がなくなって欲しいと思います。

愛は、頭では分かりません。瞑想を通して愛を知って行ってください。

「母親のありがたみは、母親が亡くなってから分かる」という台詞を聞いて、あなたはどのように思いますか。

私は、存命であれば、正しい瞑想を通して母親の温もりが心に響いてきたら、心の底から「お母さん、産んでくれてありがとう。幸せです」と、直接、お母さんに話せたらいいなあと思います。

本物ですか、偽物ですか。本当ですか、嘘ですか。

あなたは本物ですか。あなたの心はどこに向いていますか。

あなたは、田池留吉の磁場を信じていますか、どの程度でしょうか。

あなたの心の中には、もう、他力の神々はいないでしょうか、それは本当でしょうか。

あなたは、今、幸せでしょうか、それは本物ですか。あなたにとって幸せって何でしょうか。

あなたは、お母さんの温もりを日々感じていますか。それは、どんなものでしょうか。

あなたは、お母さんと一緒に学びを進めてきましたか。

あなたは、今、夫または妻と一緒に学びに連なっていますか。

あなたは、死後も学びを進めていると確信していますか。

あなたは、指針に従って学んできましたか。それは、本当でしょうか。

人は、自分以外のものには嘘はつけても、自分自身には嘘はつけません。どうでしょうか。

波動は真実、波動はエネルギー、波動は仕事をします。それは現象化します。

自分自身の心、発しているエネルギーをしっかりと見えていますか。それは、プラスですか、マイナスですか、常に確認していますか。

あなたは、自分自身に誠実、大切にしていると思っていますか。

もう一度聞きます。あなたは本物ですか、偽物でしょうかか。

ズバリ言いましょう。 田池留吉の世界・磁場に心に向けなければ何も始まりません。愛以外はマイナスのエネルギーです。

どうして、素直に、田池留吉の意識にあなたの心の針を向けることができるのでしょうか。進むか落ちるかはあなた次第です。

偽物は、所詮偽物。真なる温もり、優しさに帰りませんか。帰りましょうよ。偽物は、もう、こりごりです。

脱暖衣飽食、脱酔生夢死、ひたすら瞑想、心の針を田池留吉の磁場に合わせていきましょう。

田池留吉の磁場は愛のエネルギー、あなたは愛です。もう、何も要りません。もう既に、愛の中にあります。

己を信じ、誠実に、喜び、喜びの人生を楽しんでいきましょう。どうでしょうか。

あなたの流れは意識の流れですか。素直に、逆らわずに意識の流れに乗っていきましょう。

何が何でも、意識の流れに乗って、次元移行に向けてしっかり生きていきましょう。

だから、肉をお母さんから頂いたのです。肉も大切に、人生を夢疎かにしないように心掛けましょう。

目標に向かって私とともに突進しませんか。私は、当面、U T Aの輪の成長を切に期待しています。

突き進む目標は一点、我々の故郷・温もりです。あなたの心は、どこを向いて、いつまでもいつまでもうろうろしているのでしょうか。

その訳が分からない限り、今世も失敗、勿体ない、勿体ない。超大馬鹿者と言われても仕方がないと思います。

驕ることもなく、卑下することもなく、信じて、信じて、ただ進むだけ。よろしいでしょうか。

初めから、ずっと言っているでしょう。「あなたは、初めからずっと幸せですよ」と。

そして、それが分かる、信じられるようになるにはと、ずっと、ずっと言ってきましたでしょう。

「私はあなた、あなたは私、一つ」「私は愛、あなたも愛、一つ」とも言ってきました。

ごちゃ、ごちゃと頭を回すことは、いい加減にしておきましょう。心を内に向けるように心掛け、素直、誠実、勇気で真実を目指し、前へ、前へと突き進んでいきましょう。

単刀直入にお聞きします。

あなたは、あなたを生んでくれたお母さんが好きですか、嫌いですか。良いお母さんだと思っていますか、見下げていますか。

お母さんから言われた言葉でしっかり掴んできたものがありますか。

お母さんの反省をしっかりしてきましたか。

- ① お母さんにしてもらったこと
- ② お母さんにしてもらわなかったこと
- ③ お母さんにしてあげたこと

時間をかけてできるだけ思い出してください。それらをノートに書いていくのがいいと思います。

また、0歳の時の自分に心を向けて瞑想をしていってください。お母さんからおっぱいを貰いながら全託していた自分を思ってみてください。

反省と瞑想が進んできたら、田池留吉の意識・愛に心を向けて瞑想をしてください。

瞑想ができるようになってくると、お母さんに使ったいろいろの思い、中でも、マイナスの思いが出てくるようになってくるでしょう。

出てくるようになれば、丁寧に、一つ、一つ、反転（プラスのエネルギー・愛）と実行してください。

やがて、少しずつ、温もりが心に響いてくるようになってきます。心も広がってきます。

後は、どんどん磁場・反転と楽しんでいってください。

「お母さん、生んでくれてありがとう。お母さん大好き」となってくれば、どんどん、あなたは変わっていくでしょう。

あなたが変わってくれば、周りの人々も、環境も変わってきます。間違いなく整ってきます。

私が伝えてきたもろもろのことがはっきりと分かってくるようになると思います。

磁場と反転を実践している人達が、しかも効果を上げている人達が増えてきました。一方、ぐずぐずしている人が沢山いることも事実です。

現在、学びは、究極を目指して、進んでいます。例えば、田池留吉の磁場に対する信が高まってくると、磁場を思うだけで、マイナスのエネルギーはプラスのエネルギーに変えられていきます。実験し、確認してください。

このメッセージを読んだ方は、更に、学びをどんどん進めていくだろうと思います。期待しています。

第15回UTA会で、そのような人達を探したいと思っています。

想像で、学びや学びの友につて邪推、放言、もういい加減に堪忍してください。

UTAの輪という名称について一言。この名称を使って勉強会をしている人々を知っています。

私の指示で会を結成しているのではありません。

私が、UTAブックが使っているUTAの輪の中に入って更に学びを正しくやっていきたいという志を持っている人達が自主的にされている学びの友達の集まりだと、大変嬉しく思っています。

これからも、この名称を使って、各地域で、学びを積極的に進めていこうという人が増えてくると思います。

どうか、善意で、行動し、言葉を出して行ってください。

そして、みんな仲良く、助け合って、自分の心をしっかり見ながら人生の目的の向かって真っすぐに進んでいくように努めてください。

あなたは、たれ人間ではありませんか。甘ったれ、文句たれの馬鹿ったれでいて私は賢い、いつも正しいと嘯っている人が割といます。

このよう人間だと未だに気付いていない人では、学びを一步も前へ進めていくことは難しいでしょう。

戦うのを止めましょう。何度も何度も言ってきました。どうして戦うのですか。自分を粗末に扱ってはいけません。

あなたは偉いのです。正しいと聳え立っているだけです。

戦えば、自滅あるのみ。人類は戦って戦ってきました。あなたもそうではありませんか。

あなたは、現状をどのように思っていますか。

学びに10年、20年連なっても、未だに、夫婦、親子がなかなか仲良く、学びを共にできないのはどうしてでしょうか。

残り少なくなったU T A会に、どうぞ、仲良く、一緒に参加されてはどうでしょうか。それでも、一緒に参加できない理由でもあるのでしょうか。

本とか、ホームページに、その理由が見つかりますか。あなたの心にあるではありませんか。

あなたがあなたのお母さんに使っている、使ってきた思いをしっかり見てください。必ず、その思い・エネルギーは現象化します。

そして、互いにエネルギーは共鳴し合い、マイナスのエネルギーが大きく強くなってきます。

磁場・反転のプラスのエネルギーでそれらをプラスに変えない限り、マイナスのエネルギーはあなたに促してきます。

病気、夫婦の不和、親子の断絶、事業の失敗、生活苦などとなってあなたに迫ってきます。

母親の反省、母親を思う瞑想、0歳の瞑想、意識の転回、磁場と反転の実践がそれらのマイナスの現象をプラスに変えていく大きな仕事をしていくでしょう。

幸せになりたければ、「お母さん産んでくれてありがとう。間違ってきました。真実が見えてきました。自分の帰るところが分かってきました。

もう迷わず、真っ直ぐに、次元移行に皆とともに進んでいきます。母なる宇宙に戻っていきます。

今世、生まれてきてよかった。やっと、やっと、幸せとは喜びとはの実態が分かってきました。ありがとう、喜び、幸せになっ

てきました。」

と学びを進めていかれたらよいかと思っています。

苦しんでいる人、悩んでいる人、病んでいる人、単純に、矛盾なく、真っ直ぐに学びを指針に従って進めていってください。

自分に誠実に、もっともっと自分を大切にしてください。

誤魔化し、誤魔化して大切な時間を消耗するのはいい加減に止めていきましょう。

正しく学び、素直さと少しの勇気を出して、実践していけば、有限、無限ともに整ってきます。法は厳然としてあります。

肉も、心も楽しんで生活をしていってください。

初めに意識がありました。意識は愛。愛しか存在しません。意識、愛はエネルギー、プラスのエネルギー、仕事をします。

マイナスのエネルギーは存在してなかった。

愛が肉体を持った。肉を基盤とした思い、エネルギーはすべてマイナスのエネルギーです。

肉体は愛を忘れ、肉の思いを基盤で、マイナスのエネルギーで肉を何とかしていくうちに真実が分からなくなってきました。

そして、無知とエゴと、欲一杯で幸福、繁栄、豊かさを追求してきました。その結果、人間は本来の自分からどんどん離れていきました。

皆さん方が自分だと思っている自分は偽、影だということも分

からなくなって、病気、戦争、貧困、不安という現実から何とかと悪戦苦闘を続けてきました。

救済の道は、人間一人ひとりが本来の自分に帰ることしかありません。愛ですね。母なるなる宇宙、温もり、喜び、優しさに帰るということです。

だから、人間が考え出し、創り出してきたものは、それはそれなりにある程度の効用はあるでしょうが、愛を忘れた、愛から離れたものには解決する力、エネルギー、パワーはないことを知ってほしいと思います。

まず、この事実の認識から学びを進めるようにしてください。愛なき人生は人生に非ずということになります。

いつまでうろうろ彷徨^{さまよ}っているのですか。いい加減に、素直にまっすぐ進みませんか。何になりたいのですか。何が欲しいのですか。

なりたい、欲しい、たいたいをやっていては、肉も幸せ、喜びとはいかないと思いますよ。

己が偉すぎませんか。それさえも分からなくなっているのでしょうか。もっと、自分が流してきた思い、エネルギーを見てごらん下さいよ。

そんなあなたでしたら、いくら頑張ったとてということになります。

春の足音がしっかり聞こえてくるようになってきましたよ。庭の梅が、そして、桜もやがて、更に、更に、U T Aの輪の輝きが

はっきりと見えてきたではありませんか。

闇の眠りから目覚めていきましょう。

千載一遇のチャンス、今世、肉を持たせてもらった最高の幸せ、あなたは分かっていますか。

いよいよ、草書躯体の愛の文字から始まっていますよ。最高のチャンスを無駄にしないように。

えにし（縁）があれば、何度も転生を頂き、幾多の天変地異、死という体験を経てから、250年後にお会いしましょう。

ですが、いつも、当面は、次元移行のみ。この道だけが真、真っ直ぐに、横道に迷い込まないように。

くどいようですが、自分が出してきたマイナスのエネルギーは、自分自身でプラスのエネルギーに変えていきましょう。

田池留吉の磁場のエネルギーは、真のプラスのエネルギーです。本物の愛のエネルギーです。すべてのマイナスのエネルギーをプラスのエネルギーに、喜び、温もり、安らぎ、優しさ、幸せな思いに変えていきます。信じていきましょう。信じてください。

頑張らなくてもいいんですよ。頑張りすぎると疲れてきます。学びを進めていくのに疲れていては、やる気もなくしていつてしまいます。

くわばらくわばら。勿体ない、勿体ないと思いませんか。

ただただ、田池留吉の磁場に思いを、心の針を向けてください。

思っただけでいいのです。思っと思っと思っ続けてください。

そして、その実態が分かってくれば、偉大で強力なプラスのエネルギーだと確信してください。確信して、確信して、一つになってください。

「私はあなた、あなたは私、一つです。私は愛です」が確信できるようになるまで、焦らず、弛まず田池留吉を思い続けてください。

その時、あなたの思いは愛のエネルギーそのものになっていきます。信じて行じて行ってください。

今日、私が住んでいる河南町大宝では、第5回南河内U T Aの輪勉強会があります。周辺の地域でも、U T Aの輪の動きがあります。

私は、それらの輪の人達に、私と一緒に目的に向かって前進、いや、突進していきませんかと声を大にしてお誘いしていきます。

250年、300年かけての超大行進となりましょう。

勿論、私がお伝えしているU T Aの輪に入るには、先ず第一に、握っている他力の神々を潔く放さなければなりません。絶対条件です。

汚染しているものは、入ってこれない、こないと思います。入ってこれたとしても、間もなく落伍していくでしょう。他力の反省、他力の反省。

瞑想を重ね重ねて、母親の温もりを心に感じられるようになるのが先決、決意と実践あるのみ。着々と進めてください。

ある人曰く、「泣いて、笑って、陽気に暮らそう」、これ真か偽か。本当の人生は笑って、笑って、陽気に暮らそうとなります。皆さん方の現状はいかがですか。

どうぞ、喜び、嬉しい、ありがとう、ありごとうの人生を、陽気で楽しみながら過ごしていきましょう。

田池留吉の磁場はプラスのエネルギー・愛、反転のエネルギーはそのエネルギー・愛。

磁場に対する信が高く、深く、大きくなれば、反転力もまた、大きく、強くなってきます。

だから、磁場・反転と実践していけばいくほどに、磁場に対する信が次第に高く、深く、大きくなってきます。

そのようになってくれば、田池留吉の磁場に心の針がしっかり向くようになり、思うだけで、磁場のエネルギーがどんどん流れ出るということになってきます。

当然、マイナスのエネルギーはプラスのエネルギーに変わってくることとなります。

そして、まず自分が、続いて相手が、周囲の人たちが変わってくるようになってくるでしょう。

意識の法は、厳しく、優しき、単純で矛盾なし。 $1 + 2 = 3$

＋かーか 真か偽か 永 遠か一瞬か 無限か有限か
意識か肉か 参考までに。

実験 下記の事項のついて、試みるようにしてください。

まず第一に、何が何でも第一に、田池留吉の磁場を思う、心の針を合わせる。

その時出る思いはプラスのエネルギー、愛のエネルギーです。

- ① 白紙に思いを向ける。オーリングテストをする。
- ② コップに入った水道水に思いを向ける。オーリングテストをする。
- ③ 瞑想をする。マイナスの思いが出てきたら、思いをそれに向ける。(反転)
- ④ 相手に怒りや責め裁きなどマイナスの思いを出しているとき、その思いに思いを向ける。
- ⑤ 相手がマイナスの思いを出していると思ったとき、その思いに思いを向ける。
- ⑥ 現存している人に思いを向ける。
- ⑦ 霊能者や宗教指導者に思いを向ける。
- ⑧ 神や仏といわれているものに思いを向ける。
- ⑨ 縁のある死者に思いを向ける。(できるだけ回数を多く、長い期間実行を)
- ⑩ 経典や聖書などに思いを向ける。
- ⑪ U T A ブック出版の本に思いを向ける。
- ⑫ その他いろいろのものに思いを向ける。

註 文中の思いを向けるとは、愛のエネルギーを流すということです。

実験2 下記の事項もどうぞ。

田池留吉の磁場を思って、心の針を合わせてから始めてください。

① あなたのお父さんはどんな方ですか。語ってください。あなたは、お父さんにどんな思いを使ってきましたか。

② あなたのお母さんはどんな方ですか。語ってください。あなたは、お母さんにどんな思いを使ってきましたか。

③ あなたの主人はどんな方ですか。語ってください。あなたは、主人にどんな思いを使ってきましたか。

④ あなたの奥さんはどんな方ですか。語ってください。あなたは、奥さんにどんな思いを使ってきましたか。

⑤ あなたの子供や兄弟姉妹や友達にどんな思いを使ってきましたか。

⑥ あなたは、あなたの肉体細胞に、日頃、どんな思いを流していますか。

⑦ あなたは、あなた自身の死を思ったことがありますか。あなたの死を語ってください。

⑧ あなたは、天変地異をどのように受け止めているでしょうか。語ってください。

⑨ あなたの来世を語ってください。

⑩ あなたは、私たちと共に次元移行していくつもりでしょうか。

か。

田池留吉を信じていない人、信じようとしらない人、無視、正しく受け入れようとしらない人、信の薄い人等々、これからどうなされるのか少々案じています。田池留吉が信じられない人、田池留吉と同等か上位と思っている方、現在およびこれからの自分の心の世界をしっかりと見ていてください。幸せなんてとてもとてもといった生涯で終わることでしょう。

ただ、落ち込み、躁鬱^{そううつ}、忙しくして誤魔化し誤魔化して日々を送っているだけ。正に、暖衣飽食、酔生夢死の人生。想像を絶する暗黒の苦界が待っているのみ。

勿論、私はあなた、あなたは私、一つです。だから、今、心底から語ったのです。

己が偉い人の人生は哀れ、悲惨、暗黒、どうぞ、一日も早く気付いてください。一日でも早く幸せ、喜びの人生に戻ってください。

皆は、初めから喜び、幸せだったのです。ただ自分を肉と思い、真実から遠く離れていったのです。

何度も、何度も、数え切れないくらい言い続けてきました。「私はあなた、あなたは私、一つ」と。何人も、私を超えることはできません。超えた人は一人もいません。

私を支配しようなんて思うのはもう止めてください。母親の温もりが分かってくれば、もう、喜び幸せ、段々と、私と一つだということが分かり、大それた思いは消滅していくでしょう。

超えようと、学んできた人は、苦しかったでしょう。楽になって、共に学びを進めていきましょう。時間を大切に使いましょう。

もっともっと大きくなってください。現在は小さ過ぎませんか。無知とエゴと欲のまま、小さい、小さい、己が偉く聳え立っていませんか。

神も仏もちっぽけ、そんなものに祈って、助けてください、力をくださいとやってきませんでしたか。小さい、小さい。

そんなあなたであったら、愛なんて分かりっこありませんよ。田池留吉の宇宙なんてとてもとてもです。母なる宇宙もです。

あなたは偉大、大きい大きい、私はあなた、あなたは私、一つです。目覚めてください。もっともっと大きくなってください。無限大に大きくなってください。

愛は無限、喜び、温もり、あなたは愛、一日も早く気付いてください。

人を支配しようなんて、人の上に立ってなんて小さい小さい。そんなに頑張って、病気にならないでくださいよ。どこを向いていいのかも分からないではお粗末。

自分が流した思いは間違いなく現象化します。マイナスの思い、エネルギーは必ずマイナスの現象としてあなたの前に現れてきます。

宇宙に心に向けてください。伝令、隕石来る。

大宝の町は雪景色。綺麗ですよ。

意識の流れは順調、愛は確実に伝わってきています。

愛に、母なる宇宙に心に向けていきましょう。遥かなる道、次元移行を経て母なる宇宙へ帰る一本の道、見えてきましたか。

では、今日も、瞑想、楽しい瞑想を。

UTAナビを活用していますか。進路を常に正しくしながら学びを進めてください。このナビは、どんな時でも、あなたを正しく誘導します。安全、安心です。

どうか、肉体生命が尽きるその時まで大事に使ってください。

我流や、お粗末な勘というもので学びを進めるのはどうでしょうか。

いまだに、ぶつぶつ文句を言いながら古い、いや、古い古いナビを使って進んでいる方が沢山います。なんとかなりませんかでしょうか。

最新の情報と確実なナビで突進を。常に、ずれていないか検証をまめに、そして、軌道修正を怠らないようにしましょう。

あなたのナビは、絶えず、正しい方向を指示していますか。先ず、田池留吉の方に進むように指示していますか。そして、母親の温もりが、その時感じながら進んでいますか。

若しそうでなければ、あなたの受けている田池留吉・アルバートのメッセージは偽か、少なくとも真ではないでしょう。

夫、妻と仲良くしていますか、共に学んでいますか、セミナーと一緒に参加していますか、どうでしょうか。端的に言うと、波動はどうでしょうか。

母親の温もりの分からないものの波動はマイナス、偽だと心得てください。あなたのナビは故障していませんか、点検を。

覚醒、如何でしょうか。皆さん方、目覚めてください「あなたは愛です」、あなたが愛だと信じてください。確信してください。そして、あなたが愛になってください。

愛に帰ろうと決意し、反転・愛のエネルギー・プラスのエネルギーで次々とマイナスのエネルギーをプラスのエネルギーに変えていってください。

目覚めて愛に帰ろうと実践を積み重ねていないものの反転力弱い、反転をいくら多用しても効少なしいうことになります。

隕石、目覚めつつある宇宙、マイナスがプラスに、これより大きく変わってきます。心して肉体生命を全うしていきましょう。

「苦しい、狂いそうだ」と訴えている人がまだまだ多いようです。気力体力がまだあるのという方たちで。

その多くは、U T Aブックの本をしっかり、学校の教科書や資格試験用のテキストを繰り返し、繰り返し読んだように、読んでいない、従って、学びの核心部分さえ理解しないまま、漫然とセミナーに参加、古びたナビさえ使い切れないうまま、何とかならな

いかと学びを進めている方達だと思います。ホームページ、特に最近のものをよく読み、実践しているようには見受けられない人達だと思います。

勿体ない、勿体ない、ただ驚くばかり、もっともっと自分を大切に、もっともっと自分に誠実に生きて行ってほしいと思います。

ただ、徒に、反転、反転とだけしていてもと思います。やる以上は熱意を持って、真剣に進めてください。自分では分かっているつもりでしようが、全然わかっていないのが実情です。敢えて言います。すごい学びです。分かってほしいと思います。自分の心をもっともっとしっかり見ていくようになってくれば、どなたでも分かってきます。物凄い学びだということ、このための生まれてきたということも、納得できるでしょう。

相手を変えようと思えば、まず、自分から変われ。

相手を責め裁くな、相手に怒りをぶつけるな。その思いはマイナス。確認して直ちに磁場と反転を。

嫌な相手は、あなたの心の鏡、ありがとうとなっていくように心掛けましょう。

磁場と反転がうまくいくようになってくれば自ずと色々なことが分かってきます。

愛の実践、愛を流すのは肉のあなたがするものではありません。意識がするのです。できるのです。

肉のあなたは、心の針を田池留吉に合わせ、思うように努めるだけでいいのです。やっでごらん下さい。

肉でやろうとしている愛の実践は偽、マイナスのエネルギー、やがて、マイナスの現象となって自分に帰ってくるでしょう。

伝令、病気、不和、失敗・事故など。偽物はダメ、偽りはいけません。

あなたの時間を大切に使ってください。

ところで、あなたの人生観を聞かせてください。真と偽のどちらになるのでしょうか。

プラスのエネルギーを長く、そして、絶えることなく流し続けていきましょう。私より長く生きて愛を信じ流していきましょう。

最新のナビに従って生きていけばと思っています。何よりも何よりも、田池留吉の磁場に心の針を向けそして合わせてください。

ある女性の方への回答 「夫は学ぼうとしません。私が変われば夫は変わると聞きましたので、自分を変えようと頑張ってきましたが、相手は無視の現状です。私は、本も読み、田池留吉のメッセージも沢山受けています。どうしたらいいのでしょうか。」

肉を変えようと、肉で頑張ってもダメ、相手を変えようと思えば、相手の意識を変える、相手の意識を変えようと思えば自分の意識を先ず変えること。自分の意識を変えるのには、愛の波動、

エネルギーを、本物を、確実に知ることです。知るとは、確実にあなたから愛が流れるようにすることです。肉で流そうとしても効果はありません。メッセージを受けても波動が分からなければダメでしょう。

田池留吉に心に向けて瞑想、その時にどんな波動を感じるかがです。正しく感じられるようになれば、自分も相手も変わってくるでしょう。あなた方の肉ではできません。愛のエネルギーが確実に仕事をしていくのです。もっと愛を知ってください。まず、あなたから「私は、意識、愛です」が信じられるようになることです。あとは、愛が仕事を確実にしていくでしょう。

最後にもう一言、相手が無視しているとあなたが受け取っているのであれば、それは、あなたが無視してるというシグナル、まず、瞑想をして自分の心を見るように、見えてきたらそれを磁場と反転と実行して行ってください。そのように心掛けていけば、やがて愛があなたから流れ仕事をしていくでしょう。

頭を回し、肉体を駆使し、頑張るって頑張るって、更に、神や仏や宇宙のパワーと心を使っては何も見えてきません。分かってくる。ただ、悪戦苦闘を続けて一生を終わるだけです。

ただ心を田池留吉に向けるだけ、心の針を田池留吉に合わせるだけ、そのような瞑想をするだけでいいのです。習慣化していれば、愛が必要な仕事をすべてしていきます。そして、肉も整ってきます。肉の幸せ、喜びもおのずと感じられるようになってきます。すべてが、真。真の人生を、正しく、意識の流れに乗って次

元移行に向かって進んでいきます。

愛が仕事をします。その仕事は現象化します。心を間違った、田池留吉でないものに向けておれば闇、ブラックのエネルギーが仕事をします。

その仕事は間違いなく現象化します。戦い、病気、失意となって表れてくる。従って苦しんでいる人は間違っていることになる。

それでも、己の偉い人は、それらの原因を外に求めていき、落ちていきます。あなたは如何でしょうか。

あなたの心はいつも、田池留吉にしっかり向いていますか。

あなたのU T Aナビは、どこに向いていますか。田池留吉（意識、磁場、愛）へセットされていますか。常に点検を忘れないように。

もう一つ、常に更新も忘れないように。

田池留吉でないほうに向けていたら、間違っただけに誘われていきます。大方の人はこのような現状です。

準備万端整えて、前に進んでいくようにしてください。

肉を、目に見える現象界を基盤にしているものは、愛を流そうと思っても愛は流れないでしょう。流している、流れていると思っているものは、偽、本物ではありません。従って、私が伝えているような愛という名の仕事はしない、できないと思います。

愛は、田池留吉に心の針が合っているとき、田池留吉を信じているとき、あなたを通して流れていくのです。試してください。確信してください。きっと、不思議、驚き、超常、至福、真の平和と安らぎを体験していくでしょう。

しかし、現実には、間違っただけに針を向け、肉肉で、悪戦苦闘している人が殆どです。無知とエゴと欲の塊の人があまりにも多すぎます。宇宙は、今、どんどん目覚めつつ、母なる宇宙に帰ろうと目指ししつつあります。一つになろうとしつつあります。

念のために、くだいようですが、田池留吉は、あなたの外にいるものではありません。あなたの中にいるものに、よろしいでしょうか。

^{うたかた}泡沫のものに思いを向けるのは、もう、ほどほどにしませんか。

あなたは、田池留吉をどのように思っていますか。どのような思ってきましたか。このことがすべてです。

田池留吉は愛です。愛以外のものは本来存在しないものです。^{うたかた}泡沫の思いのようなものです。

私たちの本来の姿は、意識、エネルギー、波動、永遠、無限、消えてなくなるものではありません。

信じて、存在し続けていきましょう。そのためには、田池留吉に心の針を向け、心を合わせていることが絶対必要条件です。

それ以外のことは程々でいきませんか。

信じられない人、できない人は、どうしてか、自分の心をしっかり見て、現状を把握してください。己が偉すぎではないだろうか。

神とか金とかをしっかりと握っていないだろうか。瞑想、磁場と反転で検証して行ってください。

田池留吉は、あなたの外とあなたの内におります。外のものは見えます。内のものは見えません。内の田池留吉を思ってください。

内の田池留吉にあなたの心の針を向けてください。合わせてください。そして、反転をしてください。田池留吉のメッセージを受けてください。田池留吉と語ってください。

そのように続けていけば、愛があなたを通して流れていきます。仕事をしていきます。そして、整ってくるでしょう。

一言、内の田池留吉は愛です。それを確信している外の田池留吉を通して愛は流れています。

もう一言、本来は、私はあなた、あなたは私、一つ。私は愛です。あなたも愛です。

間もなく第15回UTA会、予習をしましょう。

テーマ 愛のエネルギーと反転

五訓、毎日読んでいますか。

それには、「あなたは目に見えません。あなたはエネルギーだからです」とあります。

田池留吉は目に見えません。田池留吉はエネルギーだからです。

あなたの目に見えている田池留吉は、あなたの外にあります。あなたの内にある田池留吉はエネルギーです。

内にある田池留吉のエネルギーは愛という名の仕事をします。この愛が、外に見える田池留吉を通して流れていきます。

外に見える田池留吉は、内にある田池留吉は愛、エネルギーだと確信しています。100%信じています。

だから、外に見える田池留吉を通して流れていきます。愛はプラスのエネルギー、反転はプラスのエネルギー、愛、そして仕事をします。

内にある田池留吉に心の針を向け、合わせ、そして、田池留吉を思って反転と発すれば、マイナスものをプラスに変えていきます。

更に、内に田池留吉が存在し、田池留吉は愛だと信じる程度が高まれば高まるほど反転力は高まっていきます。

内に存在する田池留吉を信ずるものを通して愛は流れていきます。

ただ、徒に、反転、反転と唱えても空しいと思います。他力になってきますね。

UTA会当日、いろいろの実験をして、愛のエネルギーと反転の理解を深めていきましょう。

草書体の愛の文字、大いに使っておられるようで大変結構なことだと思っています。

老婆心ながら、この文字は、あなたの内、心の中にある田池留吉と繋がっています。使う時は必ず、内にある田池留吉を思ってください。忘れないように。

黙々と真摯に、瞑想を重ねてください。田池留吉を思う瞑想を続けてください。田池留吉以外はマイナスです。田池留吉は愛、プラスのエネルギーです。

田池留吉に心の針が向き、合ってくるにつれて、自分が作ってきた暗黒の闇、マイナスの思い、エネルギーがどンドンと出てきます。この時がチャンス、反転を発していきましょう。

また、喜び、温もり、幸せ、広がり、すなわち、プラスのエネルギーを感じていくでしょう。そして、更に、異語が口からどンドン出てくるようになってきます。

この様な体験を、田池留吉に思いを向けて積み重ねていくようにしていきましょう。一心不乱に、継続してください。

闇出し現象、皆さん、覚えていますか。あれは愛のエネルギーが仕事をしていたのです。

だから、プラスのエネルギー・反転と発してマイナスをプラスに変えていけばよかったのに、闇が出てくれば、自分が作ってきた闇がなくなると思ったのでしょうか。一向に自己供養が進まなかったようでした。

これからは、磁場と反転で闇、マイナスのエネルギーをプラスに変えていってください。

春本番とはいきませんが日に日に陽気になってきました。予習をしっかりと、目的意識を持って、U T A会に参集してきてください。

ところで、他力の権現さんだけはいただけません。本もしっかり読んでいない、ホームページもいい加減に、という人がまだまだ沢山、困ったものです。

最近、家族のものの健康を心配して他力他力の人が出てきました。たとえば、子供が不安で夜もあまり寝ていないようで、医者からもらった薬を飲んでいます。

どうしたらいいのでしょうか。また、夫が体調不良で検査入院しました。心配で仕方ありません。本は2、3冊渡してあります。セミナー参加は0です。草書体の愛を渡したらいいのでしょうか。

私の答えは、子供や夫のことを心配するより、自分のことをもっともっと大切にきなさいと。本物の愛を。急がば回れでいきましょう。

10年も20年も学んでいて、未だに、学びにぶら下がっているようではと思います。

学んでいない人に本物の愛は流れていきません。本物の愛に包まれていながら愛を知らない、信じていないということです。

家族への愛は、本物の愛を伝えること、偽ものは所詮偽もの、しっかりと一緒に共に学んでいきませんか。

学んでいる人と学んでいない人との違い、お分かりでしょうか。学んでいない人でも学んでいる人よりも良い人が沢山いると思っている人がいます。

確かにそうだと思います。意識の転回が進んでいない人達だと思えます。

U T A会の会員であるかどうかで人を評価するのはよくないと思えます。

真実が分かっているかどうかで評価しましょう。

基盤が違えば、基盤が間違っていれば、懲りもせず、闇のエネルギーを宇宙に流し、帰るところも分からず、彷徨^{さまよ}っているだけということになります。

愛から遠いということになりましょう。

私は、愛に目覚めているかどうか、本当の喜び、幸せを知っているかどうかで、人や世の中を見ています。

皆さん方、五感で捉えてる、すなわち、目に見える、あなた方の外にいる田池留吉とは、機嫌よく、楽しく付き合ってください。

しかし、あなたの内にいる、目に見えない、田池留吉、愛のエネルギーは、あなた方の想像を遥かに超えたものだということを一日でも早く知ってほしいと思っています。

すなわち、あなた方ですね。

常に思い、共にある存在です。これ以外の思い、エネルギーはすべてマイナスと承知してください。でないと、これからも一歩も前に進め勧めないでしょう。

今、ふっと浮かんだ言葉、自問自答、どのように思いますか。自問自答会を開こうかなと思います。田池留吉・アルバートのメッセージを正しく受けている方たち、そして自問自答を実行、そ

れらを糧として学びを進めている方たちと、と思っています。実現は、来年になるかなあと思います。

今後の展望と決意表明

U T A会の活動とU T Aブックの活動の統合、2015年以降。U T A会のセミナー、スカイプ瞑想会、出版活動、地域の勉強会などの統合推進。青年達の活力に期待。

アメリカでのニュージャージースカイプ瞑想会と日本の各地域の人との交流と学習。アメリカ在住の方の学びの推進。若い方達の英会話力のアップ。

さあ、すべての意識達の終結と次元移行に向けて前進していきませんか。

融和協調。学びを指針に従って正しく進めながら、肉は、乳幼児のような心を忘れず、そして、助け合い、分かち合い、許し合いながら、明るく、楽しく、暮らしていくようにしましょう。

明17日から、U T A会。会場も現象も、そして時間も空間も、すべて愛、愛が流れています。実験、体験を。

では、気を付けて参集してください。

第15回U T A会学びのまとめ

田池留吉の磁場と反転

I 基本

- ① 母親の反省
- ② 0歳の瞑想
- ③ 母親の瞑想

母親の温もりが感じるられることが重要です。

- ④ 田池留吉の磁場の瞑想

田池留吉の磁場はあなたの心の中にあります。

II 反転

- ① マイナスの情報をプラスに変える。例 水
- ② マイナスの思いをプラスに変える。

磁場に対する信の程度が高まればと反転力もそれに応じて高まってきます。

私たちは意識、エネルギー、永遠に存在するもの。私たちは愛のエネルギー、仕事をします。

私はあなた、あなたは私、一つです。

苦しみは愛、苦しみの原因は自分の心の中にあります。病気、不和、失敗など、原因は自分が出してきたマイナスのエネルギーにあります。

自己選択、自己責任。自作自演。

田池留吉以外のものに心が向いているときは、使っている思いはすべて間違い、マイナスのエネルギー。思いはすべて現象化します。

神とか金をしっかり握っている心は小さい、田池留吉以外に心に向けているときは小さいです。田池留吉に心が合っているとき

は大きいです。

心を小さくするのもあなた、大きくするのもあなた、大きくしていきませんか。

田池留吉を思う瞑想を続けていけば、やがて、心の針が田池留吉に向いてくるようになります。

そうすると、地獄の底の底の底からあなたが作ってきた闇のあなたが叫んでくるようになるでしょう。

心に叫びがどっと響いてきます。そして、肉のことは次第に程々に、しかも、整ってくるようになるでしょう。

仏教では、小乗仏教、大乘仏教がありますが、私がお伝えしている学びでは、一つ、田池留吉に思いを向け一つになる一筋だけです。

田池留吉を思う瞑想を継続、自分が愛であると目覚めれば、田池留吉のエネルギー、愛のエネルギーが自分自身と共鳴しながら、自分自身を通して宇宙に放射していきます。

すべてがプラスに反転されていきます。すべての友が次元移行を果たしていきます。苦しみ悩んでいる友が救済されていきます。そのためにこの地球上に肉体生命を頂き、千載一遇のチャンスに恵まれ、学びを進めているところです。

何よりも、まず、自分自身を救っていくことがみんなを救いの道に案内することになるということです。衆生を苦しみや迷いから救うことになります。

意識の流れを知ってください。そして、衆生と共に次元移行の

実現に邁進していきましょう。

間もなく4月、U T A会の会員さんの名簿が私の手元に届きます。楽しみにしています。

平成25年度、宇宙の友とともに母なる宇宙に帰りましょう。田池留吉の磁場に心を向け、更に、宇宙に向けて愛を伝えていきましょう。

自己確立、宇宙と共に次元移行、正しい瞑想を重ねてその実現に一直線で参りましょう。

第15回U T A会が終わってから、嬉しい便りが多く聞けるようになってきました。嬉しいです。

格差が大きくなってきました。上が進んで下は変わらずといった感があります。上がどんどん変わってくる状態になってきたように思います。

真剣に、誠実に、自分の心を見る、母親をのことを思う、田池留吉に心の針を合わせる習慣がついてきたと思われる人が多くなってきたようです。

楽しみです。第16回からは、更に、もっと多くの人が直進し始めるでしょう。U T Aの輪の看板が薄らと見え始めてきました。

瞑想、瞑想、瞑想、そして、地獄の底の底の底からの自分の叫びを聞きましょう、受け入れていきましょう、共に帰っていきましょう。喜びへ、喜びへと。

これから、どんどん自分自身が崩れていく人が日を追って出てくるでしょう。どうか、崩れていく自分を受け容れていきましょう。清く、美しく、素晴らしい人なんかどこにいらっしゃるのでしょうか。

もっと、正しい瞑想を重ねていき、汚い、冷たい自分と、先ず、出会っていきましょう。地獄の底から叫んでくる自分自身を優しい温もりで包んでいきましょう。そして、共に、本来の自分に帰っていきましょう。本来の自分は愛です。愛のエネルギー、永遠の命です。

田池留吉の磁場と反転 塩川香世

今世、産まれてきてこの学びに繋がって、そして、これまでの自分、これからの自分とともに今ある喜びを、本当に心に感じられる、そのような学び方ができるご自分に、一日も早くなってください。

UTAの輪の中で、本当にたくさんの目に見えない意識達、宇宙達に出会っていきましょう。

私達は一つでした。遙か、遙か、彼方より交信してくる意識達に心に向けて、ともに次元を超えていく喜びを共有していきませんか。

心に響き合う、心にこだまする喜び。宇宙へ、次元移行へ向けて、ともに行きましょう。ただただ嬉しい時。ただただありがと

うの時。今、出会えていることが幸せです。

今回のセミナーを終えて、また気持ちを新たにして学んでいこうと決めた方も、きっとたくさんおられると思います。もちろん、そうでない方もまだまだおられるでしょう。

どうするかは、それぞれが選び取っていくことですが、セミナー初日のメッセージの通り、どうぞ、ご自分を、大切に、大切に
する方向に、一歩、いいえ半歩でも歩み出していきましょう。

私は、もちろん私の勉強を継続していただくだけです。心に感じるものは大いにあります。その手ごたえを、今回のセミナーでも確認させていただきました。だから私は幸せです。あとは、淡々と自分のスケジュールをこなしていくだけです。そして、その過程を楽しんでいただくだけです。

暗い顔をして、思い悩み苦しんでいるのは私達の本当の姿ではありません。しかし、自分が作ってきたエネルギーを感じさせてくれる環境にあることは自分に対する最大の愛です。素直に自分を反転、反転させていけばいい、そのことに心で気付けば、どんなに幸せな中にあるか、そんなことは自然に感じてきます。そうして自分を感じて、自分を楽しんでいけばいいんです。

愛を思って瞑想も、磁場を思って瞑想も、宇宙を思って瞑想も、私にとっては全部同じです。すべてはただ一点を指しています。私達のふるさと母なる宇宙へ帰る喜びだけです。

母の反省を通し、自分の作ってきたエネルギーを心に感じ、そして、その間違いに心で気づき、自分の中にこそ本当の温もりと喜びがあったことを確認できれば、どんどんその自分が自分に伝えていけばいい。その意識の世界での作業を、愛を思って瞑想、磁場を思って瞑想、宇宙を思って瞑想と表現しているに過ぎません。

自分の中の改革、変革。本当の自分との出会い。自分の中を感じて、感じて、そして、その自分を反転、反転させていく、その喜びのパワーが自分の中から湧いて出てくる喜び、それが瞑想の醍醐味です。

そんな瞑想の時間をたくさん、たくさん持てるように、そして、少しでも心の針を正しい方向に向け合わせていけるように、草書体の愛があなたの目の前にあります。

これをどんどん活用しないなんて、本当にもったいないです。素直になってください。

早起きして、約40分のウォーキング。それから家の掃除と半身浴を経て、足裏マッサージとストレッチ体操を15分ほどして軽い朝食をしつつ、パソコンを開く。私のリズムの中で、今日も一日が始まります。さて、今日はどんなメールを送ろうか。今はまだメールを受けてくれる人がいるからありがたいです。

目を閉じ、五官を閉じて、そして、自分の心に響いてくるものを感じる時間を持つ。そして、どんどん自分の中で確信を、さらに、さらに深めていく。私が私に指し示すお勉強の方法の確認が

伝わってきました。

「瞑想しかないですよ。瞑想をしていきなさい。瞑想は喜びでしかないです」。私は私に伝わってくるメッセージはその通りだと思っています。瞑想をしても狂うことはないし、瞑想をして不安と恐怖の思いが大きくなっていくこともないのも分かっています。だから、瞑想をすればするほど喜びが大きくなっていくことは、その通りだと思います。

心で感じる、心に響いてくる、そういうことがこんなにも素晴らしいことだった。心で感じ、心に響いてくるから間違いなく信じられるんだ。私は、二十年に及ぶ今世の学びを振り返り、しみじみそう感じる日々です。

だからこそ、箸にも棒にもかからないほどのお粗末な自分に、ただただありがとうしかないんです。そんなお粗末な自分だったから、今の自分があるんだと思います。徹底的に、田池留吉に対しての思いを吐き出して、その間違いが心で納得できたからこそ、本物と出会えているんだと、瞑想をするたびに幸せな自分自身を感じさせていただいています。

今世の学びの時間は言うまでもなく、大切な時間です。軌道を変えるためになくてはならない学びの時間でした。

一応の目標達成をしたところで、今一度、自分を振り返り、さらに大切な時間は肉のない間だという風に心に伝わってきます。

肉を持たない間に、さらにしっかりと心の針の向け先を確認していくことを、私は私の勉強として予定しています。それが来世

の私の歩みに大いに繋がっていく喜びを感じます。

だから、今、愛を思って瞑想です。磁場の中にある喜びを、ありがたいの思いに乗せて、宇宙を思うことを、淡々と繰り返し、繰り返しやっていくことが、ただただ喜びなんです。思うことが仕事をするすると心に伝わってきます。だから思えばいいんです。思っていれば、愛が仕事をする。そんな軌道に変わったと私は言えるんです。

意識の流れとか、次元移行とふっと思えば、本当に嬉しさが突き上がってきます。私は、ようやくにしてという表現をよくしますが、本当にその通りなんです。ようやく、ようやく、やっと、やっと、そこに万感の思いが込められています。だから、瞑想をすればありがたいの思いしかないんです。

愛を思って瞑想。宇宙を思って瞑想。非常に気持ちがいいです。本当に嬉しいです。宇宙、宇宙へ帰る喜びに巡り合ったことに感謝です。

ふるさと、宇宙。私の心の中にあったふるさとでした。

私は、このために、今こうして肉を持っていることが本当に心に響き渡ってきます。

私の心の中にあったふるさと。愛と思い、宇宙と思えば、心地良い。ただただ喜びと温もりが溢れ出てきます。

この心を私は真っ黒に塗り替えてきたんだということが手に取るように分かります。しかし、それが嬉しくてたまらないです。自分を思うことが本当に嬉しいです。愛も私。宇宙も私。みんな、

みんな私でした。喜びと温もりの世界があっただけ。

心を向ける。思う。こんな単純なことが、本当に、長い、長い間分からなかった。

あなたは、愛の文字に触れていますか。愛の文字を見えていますか。愛のボールペンを使っていますか。五訓はどうですか。そして愛を思って瞑想をしていますか。磁場の中にあることを感じていますか。反転のエネルギーを心に確信していますか。宇宙と思えば、どんな思いが感じられますか。

すべては一つなんです。みんな同じなんです。すべては私達のふるさと、母なる宇宙へ帰る道に繋がっていることが心で感じられますか。

信じてください。私達のふるさと、母なる宇宙。それは、それは私達がずっと、ずっと待ち侘びてきた思いでした。

皆さん、特に今世のお母さんに感謝しましょう。今世のお母さんは、あなたにその肉をくれた方です。今世、肉を持つ、そして、学ぶということが本当にどれだけの喜びであるのか、自分の心に響いてくる方ならば、特に今世のお母さんに感謝していきましょうという意味が心で頷けると思います。一方、肉でそうできない方は、この学びはできません。どんなに心に感じる場所があっても、肉のお母さんを受け入れることができなければ、学びはできないんです。

今という時は本当に大切な時間です。今、肉を持って学びに繋がっていることは、あなたの計画でした。その計画はそれぞれに

段階があるでしょう。これは肉的な表現ですが、その計画の段階を人と比較するのではなく、自分が計画してきたところまで達成させることが、自分に対する誠意です。その誠意、自分に対して誠心誠意報いる思い、それがあなたを次の転生に繋げていくのです。それが自己確立の喜びの道です。

そうです。自己確立は喜びの道です。本当の自己確立に勤しんでください。引導していくものはあなたの中の愛。あなたの中の本当のあなた。

それは、今は、私達は田池留吉と呼ばせていただいています。肉の田池留吉ではありません。250年後はアルバートです。肉のアルバートではありません。そして、その後は名前はありません。もともと名前などなかったんですから。それでいいのです。三次元のお勉強には名前が必要でした。ただそれだけのことでした。

実相とは何でしょうか。その問いかけに、私は愛に思いを向けて心に伝わってきた思いを、今ここに語ります。

実相とは何もない世界です。本当の世界は何もない世界なんです。愛を思い、愛の中にあるあなた自身を思うとき、そこには何ともありません。ただただ広がっていく静かな、静かな安らぎの世界、温もりの世界があるだけです。それはどこまでも限りなく広がっていく喜びの世界です。

喜びと一言で言っても、それぞれに皆さんが心に感じる喜びがあるでしょう。私が申し上げている喜び、温もりの世界とは、本

当に何も、何もない世界。何もこだわらない世界。どこまでも伸びやかに広がっていく、ただただ広がっていく、無限に広がっていく、そんな世界なんです。

実相というのを、言葉で伝えているところもあります。それはすべて肉を基盤としています。だから、真実を伝えられません。肉を基盤とする意識、自分が肉だと思うところから発する思いは、すべてブラックです。その中で、実相という言葉が聞かれた方、またその実相を思い瞑想をされている方、どうぞ、あなた方の心をしっかりと見つめてください。

あなたの本質は、愛、愛、愛です。愛、エネルギーなんです。喜びと温もりのエネルギーなんです。本来の実相の世界とは、喜びと温もりのエネルギーに包まれています。

私はそのように伝えています。そうです。実相の世界をあなたの心に感じるには、あなたの中に意識の転回が進んでいかなければなりません。意識の転回こそすべてです。意識の転回です。あなたが愛のエネルギー、温もり、喜びのエネルギーだと、しっかりと心で感じられたならば、実相とはすべては愛、すべては愛に帰る喜びの意識だと分かります。それが私達の実相です。

そのように私は、今、お伝えします。

愛を思い、磁場を思い、宇宙を思い瞑想を続けておられる毎日だと思います。では、あなたは何のために瞑想をしていますか。なぜ瞑想をするのでしょうか。

私は、嬉しいから瞑想をします。思うことが嬉しいから瞑想を

続けています。瞑想をして、自分がどうなる、こうなるという思いはありません。ただ思うこと、思えることが嬉しいんです。心に向けて思えることが嬉しいんです。

心に突き上がってくる喜びと温もりは、私の中で変わらずにあったものでした。どんなに時を経ても、私の中で息づいてきた私自身でした。そんな自分を感じられることがただただ嬉しいんです。

日々、瞑想をする静かな時間がある。瞑想をする静かな場所がある。身体的苦痛は何もない。悩み事は何も抱えていない。そして、ただ思える心がある。そう、ただ思えることが嬉しいと思う心がある。こんな最善の状態に自分を置いています。右を向いても左を見ても、私は幸せです。その嬉しい、幸せという思いが、さらに私の心を広げてくれます。その心で、私は私を思い、私は私と語っています。そんな瞑想の時間が喜び、私の今の状態です。

そのような中で、さらに自分を感じています。自分の真っ黒な世界を感じています。しかし、私はそれが私だと思っていません。私は温もりであり優しさであり、母なる宇宙とともにある意識なんだと確信しています。それが私の自己確立です。自分に本当のことが伝えられる喜び、幸せ、そう自己確立こそが喜びです。

憑依霊、守護霊、悪霊、私はそれらに心に向けて語ります。

悪霊が憑いた、憑依した、守護霊に私達は守られている。間違った思いを広げてまいりました。そうです、すべてはブラックで

す。今、私の中に伝わってくる思いは、悪霊などいない。憑依霊などあり得ない。守護霊などどこにも存在しない。明確に答えが返ってきます。

私達は愛なんです。愛とは私達です。私達は一つ。愛の中にあつた私達の本質を、今、心で感じられる時がやってまいりました。

それがこの学びなんです。この学びをしっかりと心に広げていったならば、私達は愛、私は愛、みんな一つ、私達は一つの中にあつた、喜びと温もりの中にあつた、そんなことは手に取るように分かってきます。

今ここで、悪霊とか憑依霊とか守護霊とかを出しました。

とても、とても愚かな私達を心で感じてほしかったからです。そんな中に私達はいたのではありません。私達はそんなものに振り回され、惑われてはならないんです。そうです、私達は本当の愛なんです。本当の愛の中にあつた私達を蘇らせることです。

この学びに出会った意識達よ、本当の自分の姿に目覚めてください。私は今そのようにお伝えします。

「はい、とてもとても大切なことです。本当の自分に目覚める、このことを、人類は、長い間、長い間、どうしても、どうしてもクリアできませんでした。

すべては自分を見失ってきたからです。自分の本当の姿を知らなかったからです。無知だったからです。愚かだったからです。だから、憑依霊、悪霊の存在を信じ、守護霊に守られているなどと大真面目に伝えてきました。本当に愚かなことを繰り返してきたことを、ご自分の心で感じてください。そして、もう一言付け

加えるならば、悪霊、憑依霊、守護霊、それらはあなた方が間違
ってつけてきたあなた方のブラックです。そのあなた自身をしっ
かりと愛の方向に向けていくのが、今のあなたの役目です。あな
た方は真実をまだまだ知りません。そして、その中に埋没してい
るのが、この地球上の人類すべてです。」

私は今、宇宙へ思いを向けるとき、宇宙からのメッセージとし
て、このように、受けさせていただいています。宇宙からのメッ
セージを私は今、流しています。

「悪霊、憑依霊、守護霊などで心を振り回される、心を惑わさ
れる、そのような愚かなことは本当に一日も早くお止めください。
そして、あなたの心の中をしっかりと愛の方向に向けていくこと
です。そのことを私達はお伝えします。」

自分を見つめ、自分の間違いに心で気付いていく、そして自分
を正しい本来あった軌道に乗せていく、その成果が自分の中でど
れだけ達成されているか、それを心で見極める、それが今世肉を
自分に用意したそれぞれの責任のもとでなしていくべきことでし
た。

私はそのように学ばせていただけてきました。

自分に責任を持てるように、自分に納得がいくような学び方を
してきました。

そのために私はすべてを整えてきたんです。学びをし易いよう
に、肉的环境を整えてきました。今世に賭ける私の思いの表れで
す。私には二度とこのようなチャンスは巡ってきません。今世を

逃しては、自分を破滅させる以外に道はなかったのです。そんな強い決意のもとに私は学んできました。

しかし、そんな私にも、かつて学びの時間の中で、その決意を揺るがしかねない危険な時もありました。

その際、私は田池留吉氏から、厳しく促されました。それによって、反発したり、落ち込んだり、田池留吉氏に恐れおののいたりはしませんでした。ただ、どのように自分を立て直していくか、私は必死だったと思います。自分の浅はかさを自分に詫び、そして、そのことを糧として、私は一直線に自分の予定してきた学びの道筋を歩んできました。

だから今の私があります。私は私に結果を出しました。これからも私の予定のコースを淡々と着実に歩いていくことに間違いはありません。

なぜならば、私は意識の流れの中にある自分を知っているからです。意識の流れは厳然として流れていることを本当に知っているからです。曲げることも変えることもできない、ただ次元移行を目指して粛々と流れている意識の流れに沿っていくことがどれだけの喜びであるのか心で感じ入っています。

間違いなくこれからの250年、300年の喜びの時を駆け巡って、私は私の中のたくさんの宇宙達と次元を超えていきます。

そのための学び方が、これからの時間の中で私に指し示されていることも、瞑想の中で感じています。

だから私は幸せです。どんなに地獄を作ってきたも、私は私を信じて待っていてくれていました。だから私にありがとうなんです。本当にありがとうの思いで私は私を見つめていくだけです。

真実は自分の中にある、つまり、自分に問いかけて何も分
なければ、それが今の自分の状態。そして、それは全くの闇の中。
今、何も分からない暗闇の中にあるということ。しかし、それを
自覚できる今はまた何ともありがたい時間だということ。だから、
心を見なさいと伝えていただいた。

学びのホームページも本も、そしてセミナーも、真実が自分
の中に伝えていることを、唯一形で示された状態のもの。

心に聞く、自分に聞くことが分からなかった私達に、唯一形で
示されました。

それをないがしろにしては、本当に真っ暗闇の中から抜け出る
ことはできません。自分に聞けと言われても、どれが自分なのか
心で分からなければ、深遠な闇の世界は永遠に続きます。そうい
うことを、日々の瞑想の中で感じて、本当に学んでください。

毎日、毎日、草書体の愛を使って、そして、草書体の愛を思っ
て瞑想を続けていますか。その合間、合間で構いません。「磁場
と反転」を読み返してください。さらに、心でのご理解が深めて
いただけると確信しています。

私達が目指しているものは、次元移行という意識の流れを自分
の中で本当に感じて、その流れの中に自分をいざなっていつてく
ださい、その手ごたえを心で感じてくださいということです。あ
なたは自分を繋いでいく方向にきちんと歩み出していますか。自

分をどこに繋いでいくのか分かっていますか。誤魔化さずに、自分に下駄をはかせずに自己評価してください。

何度も言って申し訳ありません。しかし、何度も確認してください。死ねば自分だけの世界です。いいえ、死ななくても自分だけの世界です。この現実を、しっかりと自分の心で受け取ってください。自分の世界を今、心で感じてください。

そして、さらに自分に問いかけてみてください。

死んで、磁場に心の針を向け合わせられる確信が、今あなたの中にありますか。

答えは、Yes か No です。どうか分からないは No です。

どうぞ、日々瞑想を続けてください。基本をしっかりと押さえ、そして、可能な限り学んでください。自分にできる最大のことを自分にしてください。

年末、年始の休暇、例年よりは長くあるので、今から楽しみにしています。好きな時に、ゆったりとたっぷりと瞑想をさせていただきます。

その勢い、流れのまま、2013年も喜びで通過していくでしょう。

体調管理に努めて、焦らず、弛まず、真摯に私は私の勉強を継続していきます。気張ることなく、まさにマイペースです。

得難きは時、逢い難きは友と言われますが、それらを見事に突破できたことを喜んでいきます。

愛の中に生かされているという文言を、正しく、極めて正しく

自分の中でとらえられることに、本当によかったと思っています。

磁場を思い瞑想、そして、反転のエネルギーを心を感じる喜び、それは愛、本当の私に通じていくこと、すべてが私の中で符合してくることを感じ、二十年前、私の生き方は間違いだったと自分に言えたことから、私の学びは始まったんだと振り返ります。あつという間の二十年でした。そしてあつという間に、これからの二十年が通り過ぎていきます。

田池留吉、アルバートとともに私もまた成長させていただきま
す。

文字通り、田池留吉の肉が消えたあとの私の勉強を楽しみにしています。そして、私の肉を置いたあとの私の勉強もまた楽しからずや、です。

意識の世界の成長、充実、無限に広がっていく喜びです。

2013年にははっきりとしてきます。そして、2014年にはさらにはっきりとしてきます。

何がはっきりとしてくるか。

未だに、夫や妻や子供、舅、姑等でごちゃごちゃしている方、お金、神にとらわれている方、長く学んでこられて、未だに、それらを自分の中に持ち込んでいる方は学びを推し進めていくのは難しいです。それがはっきりとしてきます。

早晩、学びから離れていくでしょう。形を見れば熱心だったかもしれないが、そういうものを持ったまま学んできたから、本当の意味で一生懸命とは到底言えないのです。

一生懸命に学ばば、自分に素直に、自分に真摯に、自分を大切にしていける思いが根底からふつふつと湧いて出てくるのを当然感じます。だから、ある程度、自分の中が確立するまでは、何をおいてもこの学びだと食らいついていく気迫を漲らせる、そういう一時期を体験されるはずですよ。

それこそ、周りを斟酌する余裕などありません。がむしゃらに貪欲に学んでいく一時期があって、それが後々実を結んでいくんだと私は、解釈しています。まさに集中力です。ダラダラ時間をかけて分かっていくものではないと思います。行きつ戻りつも、違うと思います。

「これからの転生の時間を例にとれば、天変地異に遭遇した瞬間、心の針をどこに向け合わせていくか、この瞬間ですべてが決定されます。そのチャンスが後たったの250年、300年の中で、各自、何回巡ってくるのか、そんな危機意識を持っていますか。なるほど失敗すれば、次の転生が用意されるでしょう。しかし、それにも限りがあります。」

私の心の中に、瞑想をすれば、こんなメッセージが伝わってきます。

一刻の猶予もないと伝わってきます。しかし、焦らず、そして弛まず真摯に、安心立命の道を行きなさいと伝わってきます。

愛と思うだけで心が温もりへ広がっていきます。瞑想はもちろん喜びです。愛は私の心をふるさとへ運んでくれます。私のふるさと、母なる宇宙。

愛は母なる宇宙へ私の心をいざなってくれます。

何時でも何処でも瞬時に心を合わす。安心立命の道が自分の中に続いている。この感覚がたまらない。確実な手ごたえがある。

私は、このように自分の今を自己評価します。これを受けて、私はまた自分と自分の中で歩みを続けていきます。

自分と自分の中で歩みを続けていくということは、自分に問いかけ、自分の中で答えを出していく、そういう作業をやり続けることだと私は理解しています。

絶えず、心の針は私の中。私の中の愛、本当の私が絶えず私に伝えてくれています。それを感じられる、それを信じている、信じられる、

それが安心立命の喜びの道が続いている証です。

喜びの瞑想を重ねていける喜び。安心立命の手ごたえを厚くしていける喜び。学んできた甲斐がありました。大きな成果を得て、

これからの時間を通過していけます。焦らず、弛まず、真摯に自分と向き合うという学びの基本の姿勢を崩すことなく、私は自分を思っています。

今をありがとう。心からありがとう。心に向けられる今、本当にありがとうございます。

自分を思えばいい。ただそれだけのことでした。ただそれだけの簡単なことでした。

愛というものを間違ったとらえてきた私の中で、愛とは自分自身だったと確認できた今、ただ自分を思えばよかっただけのこと

だと心に伝わってきます。

だから自分を思い、そして遥か彼方の自分の時間に思いを向けることが、ただただ嬉しくて幸せです。

自分を思い、愛、本当の自分とともにある、本当の自分をいつも心に感じられる時間は、ただただ喜びです。

それが本当に自分の中で現実のものとなった今、心から出てくる思いはありがたいしかありません。

二十年かけて、それは自分の時間からすればほんの微々たる時間ですが、その時間をかけて学んできたものは、肉を持っている今、心の針を合わせられるというものでした。

まずそのことはクリアです。肉を持っている今、それは確実に習得できました。

そして、この肉を離れたあと、心の針を向け合わせていくことができるか、自分を思えば、喜びと温もりが伝わり、そこで自身のお勉強が捗っていくのか、そういうことに比重を移して、私は、私の勉強を続けてきました。

磁場を思い、愛を思い、そして宇宙を思う瞑想を重ねてきて、そしてもちろんこれからもさらに重ねていき、肉を持たない時間のお勉強が、より効果的に遂行できる方向で、私は学んでいきます。

焦らず、たゆまず、真摯にそしてマイペースで、自分の道を歩んでいけることを喜びながら、時間を通過していけることに感謝しています。

愛と思えば、私には必ず宇宙と出てきます。

私は愛です、私は喜びですという思いが心に広がっていき、その思いが私の中を宇宙へと広げていくのです。

宇宙に思いを馳せることが、どんなに喜びであるのか、私の心に響いてきます。

肉を持たせていただいて、こうして確実に学ばせていただいた喜びは、心に広げている喜びと温もりを宇宙に伝えていける喜びとして実践しています。

肉を持っていれば、その維持にある程度の時間とエネルギーを消費しますが、それをするこも、またできることにも私は幸せを感じています。

本当の喜びとはどういうものか、本当の幸せとは、本当の温もりとはどういうものなのか、学ばせていただいたからです。

本当の私の思いを心に感じながらの瞑想の時間は、ただただ喜びです。本当の私の中で、私は愚かにも繰り広げてきた世界を感じています。

だから、私は幸せなんです。それらは感じた瞬間、喜びと温もりに包まれている、包まれていたことを感じるからです。

そんな瞑想の時間を、私は、日々、時間の長短にかかわらず持たせていただいています。自分が自分に伝えていく喜びはすごいと思います。

今世より以前、どんなにしても分からなかったこと、それが今世の肉を通して、私の中で現実のものとして心に響いてきます。

これから来年に向けて、また一冊の本が私に喜びと真実の波動

の世界を感じさせてくれることに感謝です。

そんな仕事に携われることが肉としても喜びです。

心を愛に向けて、私は自分の心に上がってきたものを形にしていくでしょう。

心に感じる場所は多大です。心の針を向け合わせて、淡々と思いを綴っていきます。

その過程を楽しみながら、意識の世界の素晴らしさ、パワー、温もり、広がり、心で味わっていきます。

次元移行へ向けてひたすらに進んでいくこれからの時。たった一つの真実の世界。それは喜びの世界、温もりの世界。

本当にこの世界を心に感じ広げていける時を、どんなに待ちかねてきたことか。

思えば通じる世界。思うだけで通じる喜び。ああ、ともにある幸せを感じています。肉を置いてからのお勉強が現実味を帯びて、私の心に響いてきます。

心を向けていけばいくほどに、そのお勉強が先行していくような、そんな感じを受けています。肉がまだここにあるのに。

瞑想をしない方、できない方、全部脱落です。

しかし、早とちりしないように。しないから、できないから脱落というのではなく、私達はすでに脱落していた意識なんです。

その自覚がないままに、今の肉を置いていってしまえば、そういう結果を自ら選んでいったという意味の脱落です。

脱落してきた、脱落している状態は何ら変わるところではあり

ません。私達はもともと脱落してきたのですから。

肉を置くときになって、自分の中は何も変わっていない無念、自分に何も伝えることができない空しさに苛まれることなく、どうぞ、ご自分を大切に、ご自分を学んでいってください。

瞑想を重ねてください。母を思う瞑想。ゼロ歳の瞑想。磁場を思う瞑想。愛を思って瞑想。

瞑想ができない環境であるならば、直ちにそれを改善してください。そして、十分に瞑想ができる環境作りをまずしてください。

大事なものは、時間の長短ではなく、どれだけ集中できるかです。思えば瞬間心の針が合う、このトレーニングを積み重ねていくことです。

もちろん、時間を長く取って、自分を感じていく瞑想も大切です。どんどん自分の中で語り合い、自分を感じて、感じて、さらに感じて、心に喜びと温もりが広がっていき、無限の宇宙を感じていく喜びの瞑想の時間を持つ、持てることは言うまでもないことです。

そのうえで、日々の生活の中で、瞬間思う、そういう瞑想も欠かすことはできないと私は感じ、それを実践しています。

自分の中がぶれないで、絶えず自分の心の針を向け合わせて、本当の自分と交信をしていけば、それが次元移行へと続く喜びの道だと手に取るように感じられます。

思えば通じる世界。思えば感じ合い、響き合う世界。そんな喜びと温もりの世界を、今、心に広げられる時間と空間に、ただた

だありがとう、です。

私は、自分で予定してきたコースを滞りなくこなしている手ごたえを感じています。

中心棒の確立という目標を達成。さらにその補強に努めて、今のこの肉を置いていきます。

250年後の肉を持つ間のお勉強の準備ということに比重を置いて、さらに補強に努めていきます。

肉を持っている間、可能な限り、私は私を学んでいきます。肉を持たせていただいた喜びとともに、私は自分を学んでいくコースを淡々と辿っていくでしょう。

出会い、目覚め、進化。意識の世界の成長を、自分の中で紐解いていける今という時。私は思うだけで嬉しいです。思うだけで幸せです。

田池留吉の世界も、磁場も、愛も、宇宙も、アルバートも、ただただ思える喜びだけを、感じていける喜びと温もりだけを私の心に伝えてくれています。

これが本当の私でした。

出会い、目覚め、進化。もう何年も前に心に届いていたメッセージです。今、再びその喜びが心に上がってきます。

愛を思う瞑想の中で感じたこと。

肉の喜びと幸せは儂いものだけれど、それは本当の肉の喜びと幸せではないからです。

肉の喜びと幸せは、意識の世界にある自分自身の喜びと幸せを

知ってはじめて、本当のそれになるのです。

本当の自分との出会いがあるからこそ、肉も本当の意味で喜びであり幸せなんです。

そこを欠落した肉の喜びと幸せは、本当に薄っぺらなものであり儂く消えていく影でしかありません。

私はそんな一時の喜びとか嬉しさとか幸せで、自分を誤魔化し騙す人生とは、もうとっくの昔に決別しています。

学びの年月の中で、間違ってきた自分の生き方を修正できる喜びとありがたさを感じながら、自分と対話してきました。

どう生きれば自分は満足なのか。これまで周りの状況を色々に見聞きしながら、私の心に返ってくる答えは、いつもこれも違う、あれも違う、そういったものばかりでした。

本当の私が伝えてくれたものは、あなたは私を知っていきなさいというものでした。私を知っていくとはどういうことなのか、自問自答しながら、私はセミナーに参加してきました。

学びを知らない時、心に喜びとか嬉しさを感じても、その次の瞬間、私の心の中に、必ず空しさとか寂しさとかがひも付きで感じられるのはどういうことなのか疑問だったけれど、それも今では簡単に答えが出せます。そして、今は、肉の喜びも幸せも当時とはその質を変えたと言えます。

意識の世界にある自分を感じていけばいくほど、肉の喜びと幸せもその質を変えていくんだと感じています。

整い過ぎるくらいに整っている中で、学びを遂行させていただ

いている今世です。250年後の来世が何も持たない、何も持たない中で学びを遂行させていくことは対照的です。

何も持たない、何も持たない250年後の来世の私に、今世学ばせていただいたことを全部繋いでいく計画です。

目に見えるものは引き継いでいくことはできないけれど、目に見えない財産を私はたくさんたくさん、来世の私にバトンタッチしていくことができます。

今世の私は、マイナスの財産が多すぎて、なかなかプラスの財産にたどり着くことが難しかったです。

しかし、幸い学びましたので、プラスの財産があることによりやく気付き、しかもマイナスの財産はプラスの財産に変えられることまで知りました。

この結果を来世の私は全部引き継ぎ、マイナスの財産の本領を發揮し、すべて、プラス、プラスでこの次元を超えていきます。

マイナスの底力は、次元移行への原動力となっていき、もともとのプラスは、さらに大きな強力なプラスとなっていきます。

今回の愛を思う瞑想で心に感じたことはこのようなことでした。

私は以前に、学びを進めていく方法として、学びの友とともにやるのもよし、自分一人でやっていくのもよしということを書かせていただいたと思っています。

どちらも形式的なことです。友とともに互いに学びの時間を共有することは、もちろん喜びです。そういう機会があれば、無理のないところで参加されればいいと思います。

しかし、自分の心が見えなかったら、そして、自分の中にしっかりとした中心棒がなければ、やはり心の針は外に向いていく可能性は大きいです。

人が集まれば、人と比較、競争、上下の関係を構築してしまうエネルギーが流れ出す恐れもまだまだあります。

互いに高め合っていく、喜びを共有するといっても、根本に自己の確立がなければ、いつしか闇の中にいざなわれていくということもあり得えます。

これから各地域、地域で学びのグループが出来上がっていくと思います。どうぞ、自分のことは自分で責任を持って対処してください。

選び取っていくのはあなたの自由です。しかし、その責任もまたあなたのものです。

私自身は、本来学びは自分一人で推し進めていくものだと理解してきましたから、私は自己確立に努めてきました。

自分の中に確固たる思いを育んでいくような学び方をしてきました。

自分と自分の中で対話しながら、瞑想を重ねていく手法をこれからも選択していきます。

自分の中の宇宙とともに歩いていく手ごたえを益々心で感じていく方向に、私の歩みは進められていくでしょう。

私も、シャーマン（巫女）、そちらのほうに意識を向けてみます。私の心の中にも巫女の意識、その過去世がたくさん、たくさん

ありました。そして私は、その意識達に心を向けてきました。

心の中に喜びと温もりを伝えてきました。

私がシャーマンと巫女と思いを向けたとき、私の中に伝わってくる思いは、間違ってきました、はい、この喜びと温もりを信じていきます、という思いです。

しっかりと愛を実践してきた私です。私は愛、私は温もり、そのように私は心に伝えてきました。

今、私はその結果を心に返しています。

私の中で巫女は喜びの存在です。もう苦しみではありません。

私の中で、シャーマン（巫女）は私とともに喜びへ帰る道、愛へ帰る道を淡々と歩いていっている意識、私はそのように感じています。

私の中で巫女と思ったとき、荒れ狂う思いはありません。恐怖もありません。不安もありません。

人々を支配してきた思い、人々を恐怖の底に陥れてきた思い、己の欲望のために、ただただ、そのためだけに真実を曲げて伝えた苦みの底に沈んできた私自身をしっかりと見つめてきました。

私は、今、そのように自分を感じています。私の中には、喜びへ帰る道しかありません。すべては喜び、温もりへ帰る道。

心の中へ今、私はそのことを今一度、伝えていきます。

私は愛を知るために産まれてきたのです。私は自分を知るために産まれてきたのです。

生半かな学びをしてきたつもりはありません。

自分の過去世、自分自身を心で受け止められる私でしたと、本当に心から知ったとき、私は、もう嬉しくて、嬉しくて、本当に今世産まれてきてよかったと思いました。

今、愛を思い、宇宙を思い、瞑想を続けています。

今世の僅かな時間の中で、ようやく自分と巡り会った喜びを日々、感じています。田池留吉の肉を通して学ばせていただきました。

優しさと温もりに包まれている本当の自分を、何度も何度も確認させていただいています。この調子で自分をただただ見つめていくだけです。

死んでからも、私は私の勉強ができる手ごたえを深めながら、私は私にありがとうの思いだけを返しています。

裏切り、見捨ててきた自分を、喜んで、ありがとうと受け入れていけるんです。これが愛のパワー。本来の私でした。

私の意識の世界は本当に様変わりしました。

田池をぶっ殺してやる、田池を思えば、はらわたが煮えくりかえるほど憎くて、憎くて仕方がなかった意識の世界でした。

その世界が、今、本当に変わったと実感しています。

思えば嬉しいんです。本当に嬉しいんです。温もりと喜びが突き上がってくるのが即座に感じられます。

思えば通じる喜びを、私は、日々確実に心に広げています。

もちろん、私は、これまでずっと学びの指針に従って学んできましたという実感が自分の中にあります。

その時々勉強をこなしてきたという私なりの実績です。それが今、私の中で結実していることは確かです。

そして、さらにその効果を引き上げているのが、例の草書体の愛です。

それを正しく活用すれば、これは間違いなく、それぞれに良い結果をもたらしていくでしょう。

私自身、2013年、2014年の学びの結果を受けて、さらに私の勉強を続けていきます。

一言で言うならば、瞑想です。私は瞑想を通して、田池留吉、アルバートの意識の世界、愛、本当の私からのメッセージを集中的に受け続ける日々を過ごします。

そして、やがて、田池留吉の肉が消え去ります。しかし、私は変わることなく喜びで交信していきます。その私の勉強を、私は喜びで待っています。

私自身の今世の締めくくりを予定通りこなしていきますという私の思いに応えていきます。

もういくつ寝るとお正月～という歌の文句ではないけれど、何でもそこへ行き着くまでが、その途中が楽しみで、早く来い来いと思いつながりながら、来るまでが何とも言えず楽しい。早く来てほしいんだけど、いやいやもうちょっとここを楽しみたい。

私は、丁度250年後を思うとき、こういう心境、こういう心持ちです。

この心境は本を書く時にも当てはまります。原稿を認めて^{したた}いる

時が一番楽しい。楽しいだけではなくて、その時間が私にとっては本当にいいお勉強になっています。だから、どんな人が読んでくれるのかとか、どんな感想を持たれたかとか、そういうことよりも、私自身がその過程を経験させてもらうということのほうが、私にとって重要でありがたいことです。

今日の瞑想では、250年に至る時間をワクワク感で楽しみながら進んでいこう、楽しんで、楽しんでいこう、何かそういう思いを感じて、私はやっぱり幸せ者だと思いました。そういう心境になれるということ、ワクワクしながら自分を感じていける、ワクワクしながら来るべき時期を待てる、今、そういう時間を持てる、今、そういう時間を楽しめる、これってやっぱり幸せ以外の何物でもないでしょう。

思いを馳せる喜び。そこには必ずこうなるという確信があるから、思いを馳せることが喜びなんです。必ずこうなるという確信、瞑想を通しその手ごたえを感じています。だから瞑想は欠かさずに実行です。言われなくても実行です。それしか喜びを感じていく手立てはないんですから。

瞑想をしても何にも心に響いてこなかった一昔前の私からすれば、今は夢みたいです。私には、これほど不思議なことはありません。

思えば、父が死んで茶毘^{だび}に付す前に意識を受けたこと、叔母が死んで意識を向けたこと、シンちゃんが死んで波動を感じたこと、すべて私の学びのステップとして効果的に活かされています。それらが学びの過程としてちゃんと用意されていたことに、不思議と、そしてありがとう、を感じています。

UTAブックさんのホームページの巫女云々のところを読ませていただいて、みんなそんなにシャーマン（巫女）に反応しているのかと、少々驚きました。

先日、私自身も意識を向けて自分なりにお勉強をさせていただいたけれど、それではと、再度思いを向けてみました。

やはり、私の中では同じでした。その意識の世界はとてもちっぽけな世界でした。

何ということもない世界の中で苦しみのたうち回ってきた愚かさだけが響いてきました。

愛と思った瞬間、そんな世界は雲散霧消していきました。私はもうこれでいいと思いました。本当にちっぽけな世界でした。

血みどろになって、心も身体もズタズタに引き裂かれた過去の記憶を大きく、大きくとらえてきた愚かさは、自分の本当の姿を知らなかった無知所以でした。

それが今の私には心で感じられます。喜びと温もりの中に帰していったことを、愛を思う瞑想、アルバートを思う瞑想の中で確認できました。

ホームページに掲載していただいたからこそ、再度、このような確認ができました。本当にありがとうございました。

そして、もう一つ、私が感じたことは次の通りです。

個人的なお名前を出すのは遠慮しておきます。しかし、どうぞ、ぶれないで、ご自身の学びに全力を傾けてくださいとだけお伝えしたいと思いました。

全力を傾けていくのは、愛、本当の自分に帰る道を見つける方向にです。どうぞ、ぶれないでください。エネルギーの向け先を間違わないでください。

草書体の愛とともに五訓。あのラミネートが皆さんの手許にあるでしょう。日々、何度も目にされていると思います。

五訓の一つ一つを本当に心で実践して、心で分かっていく方向に学びの舵を取って行ってください。

あそこに学びが凝縮されていることを感じられますか。

決してぶれないでください。私達は何を学んでいるのか、焦点をきちっと自分の中で絶えず確認しながら、注意深く学ぶ姿勢を保って行ってください。

学んでいるようで学んでいない方はたくさんいます。自分を崩していくといっても、崩し方が分からないのではないのでしょうか。

ただ単に闇をさらけ出すことが自分を崩していくことにはなりません。

押し隠し、正しいと主張し、美化するよりは幾分いいかもしれませんが、一点が変わらない限りどうしようもありません。

そんな反省をどんなに続けても、しないよりはましという程度だと私は思っています。

その程度で学びの成果があったとは言えない、それが自分のことならば、そう評価します。

本当に学びの時間の長短には関係がありません。

そして、集うタイミングという点において、ここ七、八年ほどの間に学びを知ってセミナーに来られた方は、本当に恵まれた環境の中で学んでおられると思います。

そもそも、お手軽に誰かに聞いて分かっていると思うのが、自らの学びの道を歪めていきます。

まず、本があります。ホームページがあります。そして今はまだ希望すれば参加できるセミナーがあります。

そして、今、あなたの手許には草書体の愛があります。

これだけのものを揃えて、あと何が必要なのでしょう。

本を通して、ホームページを通して、セミナーの中で、繰り返しお伝えしていることは何ですか。

あなたはあなたの心を見てくださいということ、そして、正しい瞑想が出来るようになってくださいということでしょう。あなたの頭ではなくて、心で分かってくださいということでしょう。

人に聞いてどうなるものでもありません。人に聞くならば、あなたの中の本当のあなたに聞いていけばいいんです。

そして、本当のあなたに聞けるような、そんな学び方をするためにはどのようにすればいいのか、それに対する回答は本やホームページの中に溢れています。

教えてもらうのではなく、あなたがあなたの肉と環境を使ってあなた自身が学び取っていく姿勢を、どうぞ忘れないでください。

素直にハイと実行してきたから、今の私があります。私は私に

素直です。私は私に誠実です。そして、私は私に対して、絶対の信頼感を育んできました。

瞑想をすれば、それが自分の中で歴然としています。

母を思う瞑想、ゼロ歳の瞑想は言うまでもなく、ただただ喜びと温もり、安らぎの中にある私との出会いです。

そして、さらに愛、そして、磁場、アルバートと思いを向けて、中の目を開いて宇宙を思います。

確実に広がっていく世界があります。ともに行く喜びを感じます。私は、この一連の瞑想を、ただ淡々と繰り返していただけなんです。

私は、愛と思い、磁場、アルバートと思えば、そのエネルギーが宇宙に向けて仕事をしていることが実感できます。その喜びが心に返ってくるからです。

それが私の瞑想の時間。皆さんも、結果を出してください。

未だ職を辞していない身にとっては、明日から九日間は、瞑想を中心にした時間が自由に取れるから、何よりもありがたいです。

思いを馳せる喜び、思いを向ける喜び、愛の実践を淡々と遂行していきます。

どうぞ、皆さん、草書体の愛を活用して体験されたこと、そして自分の心に響いてきたことをまとめて、U T Aブックさんのほうに送ってください。数に制限がありますが、原稿が採用された方、2013年夏に、ともに学んでいきましょう。

瞑想、瞑想、さらに瞑想、そんな時間が持てると期待しています。

真実は、次元移行へ至る道筋は、自分の心でしか分かりません。自分の心に響いてくる次元移行への道筋を感じていく喜び、喜びの瞑想をともにできることを楽しみにしています。

どうぞ、皆さん、2013年、2014年、集中的に学んでいきましょう。今世の学びの結果をそれぞれの転生に必ず活かしていけるような学び方をしていってください。

肉の喜びと幸せだけを追い求める人生とは本当に、今世を境にしてさようならしてください。喜びの天変地異が待っています。250年後に、一人でも多くの方と再会できることを切に望みます。

色々な表現をします。愛であったり磁場であったり、反転、アルバート、田池留吉の世界、お母さん、宇宙、しかし、私の中では何も混乱は起こっていません。私には、それらはみんな同じなんです。ふっと心に向ければ、ただ喜びと温もりが響いてくるからです。

ただし、言葉にとらわれて思いが分散すると思われる方は、愛、愛一点張りで心に向けることをされてはどうでしょうか。

それは草書体の愛があなたの手許にあるからです。見ることができます。触れることができます。

瞑想状態になかなか入れない方であっても、見てから、触れてから、草書体の愛を思うことは簡単にできます。

そういう時間を、毎日、毎日、持っていってください。毎日です。

もちろん、その前提に母の反省があります。他力信仰の反省も

ありますが、これは実際のところ、なかなか難しいでしょう。

とにかく、母の反省をして、今世自分を産んでくれた母親がどんな母親であっても、お母さん、ありがとうと心の底から言えるくらいになっていなければなりません。

そして、母を思う瞑想を重ね、毎日、毎日、愛を思って瞑想を続けていると、心の底から、無条件にありがとうが突き上がってくる体験をされるのではないのでしょうか。

本当の母の意識に自分の心が触れる瞬間です。

その体験を経て、その体験を何度もして、やがて、自分の中に作ってきた真っ黒な宇宙を喜びで受け止めていけるのではないのでしょうか。

ここまで自分の中を感じていったならば、行きつ戻りつの歩みには絶対になりません。

希望的観測でものを言うこともありません。言葉は自然に確信的、断定的になってきます。

意識の転回とは、基盤を変えることです。

ただ単にものの見方、思い方、考え方、価値基準を変えるものではありません。

肉を基盤とした喜び、温もりは暗いです。しかし、それはほぼ100%の人にごく自然に受け入れられます。互いに共鳴できます。誰も暗いと拒否、反発する人などいないでしょう。

一方、意識を基盤とした喜び、温もりに共鳴できることは、今はまだとてもとても難しいものがあります。

こんなことをどんなに言葉を尽くして説明しても埒が明きません。

だから、何と単純な草書体の愛に手を置いて瞑想しなさいという風になってきました。愛を見て瞑想をということでした。

これさえも、自分が作ってきた他力のエネルギーに阻まれて、思うようにいかない、このことに絶望してくださいということでしょう。

意識の転回がなければ、絶望の時間しか巡ってきません。

本当にそうなんです。絶望、絶望、ただただ真っ暗な真っ暗な長い長い時間をこれからも経ていくつもりなんでしょうか。

しかし、実はそんなことはどうでもいいことなんです。肩に力を入れてもの申しているわけではありません。

淡々と、そして肉で言えば憎らしいほどに計画が進んでいるからです。

その計画を推進していくパワー、それは真っ暗闇から蘇ってきた本物の愛。私は自分をそのようにとらえています。

自分に心の針を向けて、自分を思っていける静かな、ゆったりとした時間の中にあることが幸せです。

誰がいるから、何があるから幸せを感じるのではなくて、自分を思うことができる今があるから、自分を思える私になれたから幸せなんです。

自分を思う時、私の中の愛が反応します。

だから、温もりの中で自分を思えます。だから幸せなんです。

ひとたび、このようにして自分の世界をしっかりと感じさせて
いただいたから、もう真っ暗闇の中に逆戻りすることは絶対にあ
り得ないことです。

絶望してきた人生の時間とは、もうさようならです。

絶望してきた自分にようやく明るい未来を伝えることができた
こと、今世の大きな、何よりも大きな成果です。

この結果を経て、さらに明るい世界を目指します。温もりの中
で目指していく歩み、その時間は喜びだけです。

磁場と反転、第八章、おわりに、その部分だけでも繰り返し、
繰り返し、心で読んでください。読めば読むほどに心に響いてき
ます。

磁場と反転の全体がまた違った形で、心に伝わってくるでしょ
う。

日々の瞑想を続けながら読んでください。

そのうちに、「母なる宇宙とともに」の改訂版が出てきます。

2013年の終わりには、「愛、あなたは愛です」が出版されます。

その時分になって、意識の流れ、続意識の流れ、意識の転回、
宇宙の風等、再度読まれることがあれば、あなたがまだ心で理解
されていない部分も、あなたの心にドーンと響いてくるでしょう。

難しい、分からないはあなたの勉強不足です。どうぞ、レベル
アップを心掛けてください。

勉強に際限はありません。喜びに限りはありません。温もりも
同様です。

私達は死んで消滅していくわけではないし、どこか遠くに行ってしまうわけでもありません。

しかし、死んだら終わりだと思っている人は、絶対にそうは思えません。

生きている間、姿、形、声などの自分の五官で感じられるものだけを中心に、それだけを頼りに生活を続けてきた人は、死ぬということは、それらが全部消えて無くなってしまおうと同時に自分もそうだとしか思えないから、死は絶対的に恐怖です。死は悲しみでしかありません。

人は、死というものは、現実的にならなければ考えません。死を考えて今を本当に生きていく人など、殆どいないでしょう。

考えるのが恐ろしいからです。考えても分からないからです。

死んだらどうなるのか自分の中ではっきりとしたものが分からないんです。

今、私達は幸いに本当の自分というものに自分の心の針を向けるトレーニングをしています。

しているか、していないか、程度の差はどうであるかは、それぞれの問題ですが、このことは本当にすごいことなんです。

死んでも生きているときと同じように通じ合える状態にしておけば、この喜びとか温もりが現実的に自分の中に響いてくるのだから、これはすごいです。これほどの幸せと安心はないでしょう。

生きるとはどういうこと。死ぬとはどういうこと。殆ど変わらないのではないか。喜びと温もりの世界に通じている意識の世界

であれば、そういう風になってきます。

みんな自分の計画とはいえ、本当にうまく事が運んできました。二十年前、大阪でも寒風吹き荒ぶ寒い中、ようやく私の学びが始まろうとしていた当時を思い出しては、私はそのような感想をいつも持ちます。

予定のコースを違えることなく、カメの歩みで私は自分の学びを推し進めてきました。

これからも自分の思いに寸分ぶれずに歩み続けていくことも私の予定のコースです。

「決して自分を裏切らない。決して自分を見限らない。私が私を裏切っても、私が私を見限っても、私は私を決して裏切らない。私は私を決して見限らない。このことを私はこの肉を通して学ばせていただきました。

私は私の心の底を感じることができました。だから、私は私の予定をこなしていけます。」

草書体の愛を見て、草書体の愛を思っていると、そんなことが心に、いつも伝わってきます。

この私に支えられて、この私に引導されていく時間が限りなく続いていくと私は感じています。

この「私」の正しい特定ができた今世でした。大きな転換期でした。

地球上では、一年が去ってまた新しい一年がやってきます。

しかし、私達の世界では、そういうことは何もありません。今

を感じていくだけです。

たった一つしかない道を、淡々と着実に喜んで歩き続けていける、そんな人間に蘇っていきましょう。

私達が生きる道はたった一つの道です。私達には選択肢は何もありません。

人生の岐路は、そのたった一つの道を進むように自分に促している大きなチャンスです。

それが、まだ地球上の殆どの人達には、ご理解いただけていないことが現実です。

しかし、やがて大きな、大きな転機がこの地球上にやってきます。

喜びのエネルギーは、間違いなく目に見える世界を根底から覆っていきます。

目に見えない世界からのメッセージを素直に喜んで受け取って、そして、ともに本来の姿に帰っていく道を、ただひたすらに進んでいきましょう。

2012年11月に出版させていただいた『磁場と反転』を、近いうちに朗読させていただく運びとなりました。

この体験は、きっと私にとって良い体験となり、良いお勉強となると思います。

心の針を向け合わせ、私は文字を音に変えていきます。私は、自分の心に伝わってくる波動の世界とともに、この作業を淡々と

こなしていくでしょう。

CDが出来上がってきましたら、どうぞ、そこから流れる波動を心で感じてください。どうぞ、あなたの学びにご活用ください。

そして、事情が許せば3月のセミナーにご参加ください。

一冊の本が発するエネルギー。一枚のCDから流れ出すエネルギー。

どうぞ、磁場の中であなた自身を感じていけるようなあなたであってください。喜びと温もり、それが私達の本当の姿。

本当のパワーを心に秘めている自分と出会ってください。

今朝、ホームページを開いて、田池先生が書かれたところを読みました。

特に一つのほうは、話には聞いていたけれど、何年も学んでこられてまだこの状態なのかと愕然としました。メールか電話か手紙か何か知らないけれど、そういうことを堂々と田池先生のほうへ言ってくるということが私には、とてもとても信じられないことでした。何年も勉強してきて、開いた口が塞がらないと思いました。他人事ながら、これからどうするんだろうかとも思ってしまいました。

そして、二つ目のほうは、これもまた失礼なお話です。

本も読んでいない、ホームページも見していない人の相談を田池先生にしているのだから、これもまた全くお話になりません。

何でもかんでも、田池先生のところに相談に行ったり、電話をしたりするのははっきり言って失礼です。田池先生にふった人も

また無責任です。

草書体の愛を使ってこんなことを体験した、こんな思いになった、こんなことに気付いたという学びの話ならば、嬉しい、ありがとう、これからもやっていきますという明るい話ならば、まだしも、それ以外のことで、もう田池先生を煩わせるのはお止めください。

たくさんの学びの教材をいただいています。しっかりと自分を学んでいきましょう。

「愛を思える自分でした。それは喜びでした。それは温もりでした。それが本当の私でした」。私は、そのように日々の瞑想を楽しんでいます。

草書体の愛の出現で、自分に誠実に真剣に素直に学んできた人と、そうでない人との差は歴然としてきます。それは全部自分で選んできたことです。

U T Aの輪は、言うまでもなく全宇宙に向けて全開しています。

今世、学びに集っている人達にだけ開いているのではありません。また、学びに触れた人達であっても、心の針を向けられない状態であれば、それは感じることはできません。当然、輪の外です。輪の外であればどうであるか、それはご自分で体験されていきます。それは嫌だと思っても、そうしているのは他ならない自分自身なんです。その辺のところ、正しくご理解ください。

ともに学ぶ、連れ以って学ぶというのを自分で歪めているのではありませんか。自分の中の本当の愛、本当の自分に触れていっ

たならば、そういうこともはっきりと分かってくるんです。自己確立こそが愛、自己確立こそが平和への道、それぞれが自分に目覚めていけば、何ということもなかったんです。それを阻止しているのがまた自分だったことに、少しでも早く知ってください。

認知症の人に聞いてみました。苦しい、寂しいだけを語っていました。

先祖を祀ることが人間のあるべき姿だと思って、一生懸命にご先祖様に手を合わせてきましたと言っていました。ご先祖様が私達を守ってくれると信じ切っていました。

そして、苦勞して子供達を育ててきたのに、私のこの状態に、早く死ねと辛く、冷たい思いで接してきます。

私は、優しくされたいんです。愛されたいんです。私は誰にも認めてもらえない。私は寂しい。私は苦しい。

私の知る限りでは、年老いても、身体も頭も元気な時は、外へ、外へ活発的な人でした。身綺麗にしておられました。

しかし、今は、私の人生、何だったのかと、あれだけ苦勞してきたのに、私に返ってくるものはこんなことなのかと語る末路です。

こんな人生、本当に切ないです。それでも、また肉体を持つチャンスが巡ってくるのです。私達は、こうして、何も本当のことを知らずに死に、また生まれてきて、何度転生を繰り返してきたのでしょうか。

どこかでこの循環を断ち切らないといけないんです。

今世、学びに触れた方達は、自分に対してどんなにすごいチャンスを用意してきたのでしょうか。

みんな自分の計画だったと言ってしまえばそれはその通りです。それならば、自分の計画した通りに事が進まなければ、計画倒れということになり、これまでの愚かな循環を断ち切ることが、今以上に困難になっていく可能性も大いにあります。そういうことを自覚なさっているのでしょうか。

自己選択、自己責任という言葉の重みをもっと、もっと心でかみしめていくべきなのではないのでしょうか。

磁場という言葉が出てこようが、反転という言葉が出てこようが、学びの主旨は何も変わってはいないんです。それは草書体の愛も然りです。

心を見ること、母の反省と他力信仰の反省を継続していくこと、母の温もりを心に確立すること、自分の肉体細胞を思うこと、母を思う瞑想、ゼロ歳の瞑想、そして中の目を開いて瞑想、宇宙に心を向けていくこと、それらを通して、意識の転回を遂行していくこと、この道筋には何ら変化はありません。

一つ一つ、自分の中でクリアしているのか、自分に対して誠実で素直であるのか、それを確認しながら自分の中で歩みを進めていく、これが基本中の基本です。

どんなにお金があっても、どんなに身体が元気であっても、どんなに時間があっても、どんなに良い環境にあっても、自分を知らずに、本当のことを知らずに死んでいってはダメなんです。し

かしそういう人が殆どです。

たとえ、勢いがあって華がある人生の時間を体験したとしても、それがずっと続くはずがありません。

自分を知る、間違ってきた愚かな自分を感じる、本当の自分を知る、その軌道に自分を乗せていくことがない限り、末路は哀れです。安らかに死んでいったなんて全くのデタラメです。

そんな人生の幕引きから、本当に決別していくべきです。

決意とは一度すればいいんです。日々の生活の中での決意は、今日しても、三日経てばダメということはよくあるお話です。

しかし、この学びに関することについて、決意、決断はたった一回です。

何度もするようなのは決意でも決断でもありません。

間違っていたと思ったならば、いつでもUターン出来ますということかもしれませんが、その言葉を額面通り受け取るならば、一度決めたことに反旗を翻したんだから、Uターンをして本来の道に行くについては、相当の覚悟が必要です、生半可な思いでやっていけば、いずれまた同じ轍を踏んでいくことは必至です、それほどの強い思いをあなたはあなたの中で確認しましたか、というメッセージを含んでいることを知ったうえで、学んでいくことが絶対的な条件です。

ああまた間違った、今日からまた心新たにして頑張ります。

簡単に言っているかもしれませんが、反旗を翻したという事実をどのように受け止めているのか、そのところから反省を立ちあ

げていくべきなんです。反旗を翻したという認識などないのではないのでしょうか。

だから、二回、三回と軽い決意表明をされるのではないのでしょうか。

学びについて、「去る者追わず、来る者拒まず」でこれまで田池留吉氏は誠実に私達に接してくれました。それはとてもありがたいことでした。しかし、特に、来る者拒まずを、拡大解釈されて平然としている方達が多いという現実が一方にあります。

形から見れば熱心、しかし中身は何ともお粗末、そんな方達がたくさん見受けられます。

なぜ、何のために今の肉体を持たせていただいたのか、心から知ることができない状態です。だから、いつまでも煮え切らないのです。自分では学びをやっている、やっていこうと思っておられると思います。しかし、違うんです。田池留吉氏が指し示す方向に、本当に自分の心の針を向け合わせることができたならば、このことは一目瞭然に分かります。

自分の感じた、分かったがどの程度であるのか、本当に厳正に評価してください。肉の基盤で感じている世界と、そうでない基盤で感じている世界とでは雲泥の差があります。しかし、それは肉の基盤からは分からないんです。言葉は同じです。しかし、そこから流れる波動を的確に受け取っていけるようになってください。それは、それぞれのレベルを引き上げる以外に手はありません。大変厳しいです。そんな厳しいものならば、どんなにしても

無理と言って、学びから遠ざかっていく方達もあるでしょう。そうでなくても、もう余所へは行けないからと、ただしがみついているだけかもしれません。

本当に自分の心を見てください。そして自分に問いかけてください。

そんな学びをしても、全く意味がありません。田池留吉氏と出会ったからといって、自分の抱えている意識の世界が難なく変わっていくはずがないんです。

田池留吉氏の肉は愚かかもしれません。肉はそんなに立派なものではないと思います。

しかし、氏には、過去世がありません。田池留吉という名前の付いた肉を初めて持ったのです。ここが私達との決定的な違いです。

肉は愚かということは共通していても、私達にはその愚かな肉を数え切れないほど付けて、その一つ一つの時間に、肉を本物とするエネルギーを蓄積してきた事実があります。これは絶対に揺るがせない事実です。

そんな現実の中から、本当の自分を見つける、本当の自分と会う、これは至難の業だと言っても言い過ぎではないんです。

他力信仰の続きで学びをしても、さっぱり効果が上がりません。表面上は、何か変わっていくような雰囲気があるかもしれませんが、中、意識の世界は、殆ど停滞している現実を心で知ることです。

田池留吉氏は、もちろん人生半ばまでの愚かな自分を知って一生懸命、学んでこられました。その半世紀は波乱万丈だと何度も氏から聞かせていただきました。しかし、私達は、時間で言えば、そんなところではありません。氏が心に蓄積してきた間違っただいなど、本当に薄っぺらなものです。

これらのことからしても、過去世を抱え持った私達に残された時間の中で、真実の軌道を自分の中で見つけ、しっかりと自分を乗せていく大変さを窺い知れるのではないのでしょうか。

肉の私は、何の取り得もないし、どちらかと言えば臆病です。自分の肉の力量を知っています。だから、面倒なことには頭を突っ込んでいきません。こんな私ですが、これまで何とかやってこれました。自分の生活は自分で賄っています。今から、誰かの人生をしょい込むこともありません。

そんなことよりも、ただ一点、私の前に見え広がっている世界とともに生きていくことだけを思い、その思いに忠実に今世もそれ以後も存在していくことを自分に確認しています。そうできる自分が私にとって最大のパートナーであることが確認できて、私は嬉しく思っています。

二十年前に、学びの門を叩いてから私の時間、過去から未来へ続く私の時間が様変わりしていったことを、今、自分の中で確認できる状態です。そして、さらに自分を学んでいく、自分の最良のパートナーとともにいけることを確認しています。

瞑想が私にその喜びを伝えてくれます。本当に自分の道が見

えたことを喜びで伝えてくれます。伸るか、反るかの今世でした。その思いから、私は、田池先生、ありがとうございますと心の底から言えるんです。これからもよろしく、喜びの道を歩いていきますと言えることが、本当に幸せです。

幸せ、本当の喜びへの道筋は自分の中に厳然としてあったことを知っていくことを、田池留吉氏は伝えてくれました。

宗教的な、心理学的な、下らない知識をいっぱい詰め込んで、中途半端に敏感であれば、それを全部ご破算にして、全くゼロから学び直すということは難しいことでしょう。しかし、せめて、今世、自分の中に詰め込んできたものは、全部ご破算にする必要があります。

過去から引き継いできたエネルギーの強さ、深さが、それを阻止する方向に働いていきますが、そこは何としてでも踏みとどまって、自分の心の針の向け先を、何度も、何度も、何度も、何度も確認し、正していくような粘り強い姿勢で学んでいくことが必要でしょう。

本当に純な気持ちで学んでください。

ゼロ歳の自分の目で、自分を見つめていくことを、いつも、いつも忘れないようにしましょう。

安心して、どんな自分も感じていける、自分の培ってきたエネルギーを感じていけることがどんなに喜びであるか、母を思う瞑想、愛を思う瞑想ではっきりと感じてくるでしょう。

私は、自分の中に思いを向ければ、突き上がってくる喜びとか温もりとかといったものを感じています。私はそれを信じているだけです。これは本当に本当の喜びだろうかとか温もりだろうかとか、そんな思いになったことはありません。ただ突き上がってくるんです。自分の中から湧き起こってくるんです。それが嬉しくて、幸せで、というのが瞑想をしている時間です。肉の私が私だと思っている私ではない私が存在していることは確かです。私はその私を感じて、とても幸せなんです。私が瞑想をしたい、瞑想をすること、瞑想ができることがすべてだと思うところはここにあります。

目に見えない世界のことを学んでいるわけだから、とどのつまり、何もなくても思うこと、思える状態に自分になっていなければということでしょう。要は死んでも今と同じような状態であればいいんです。

見て聞いて分かる世界のことではないんだから、私は、今、一生懸命にそのお勉強をしているわけです。幸い、暮らしが立ちゆく状態だし、私には何の悩み事もないし、本当に学びをしていくには打ってつけの状態になっています。そういう状態に自分をいざなっていくことが、幸せ者の条件だとはっきりと思えることが、もうすでに幸せなんです。

嬉しい、楽しい、幸せと感じているその裏に空しさを感じてきたかつての私からすれば雲泥の差です。昔に比べて物をあまり買わなくなったけれど、たくさん買っていた時は不幸せでした。買いたいけれど買えないことが不幸せだと思ってきました。しかし、

買えるけれど買わない、買わなくてもよいことが幸せなんだと私は知りました。

きっと、私もこれまでに色々不思議なことを体験しているんだと思いますが、肉の私はそういうものをみんな見過ごしています。欲が深いんでしょう。そんなことがと思って、しかし、言われてみればそうだなあと思えることが、これまでも色々あったと思います。

しかし、そんな私でも、ひと月に二回のセミナー参加が可能だったということに関しては、私自身も不思議を感じます。

セミナーにはアメリカセミナーもありました。正月休み、盆休み、ゴールデンウィーク休暇、土曜、日曜、その他の祝日もしっかりと休んで、その上にひと月二回のセミナー参加、本当によくここまで周りの人達にも、そして自分の肉体細胞にも協力していただいたと思いつつ、肉では考えられないエネルギーが働いていたことには違いないと思っています。

それが私にとっての大きな不思議。

もう一つは、田池留吉氏が、私を見つけてくれたこと。これは何も肉の私という意味ではありません。誤解のないように。

意識と意識の出会いを、肉的な表現で言えば、一番ピッタリとくるのが見つけるという言葉だから、そのようにストレートに言っています。よくぞ見つけてくださいましたという不思議さが、今も私の中には嬉しく残っています。

そして、この出会い、この見つけるということが、そのまま

250年後にも移行していくのだから、大きな不思議な力を感じ、幸せ以外に表現できる言葉はありません。

今日は、こんな瞑想をしました。

磁場と反転の一部分を声に出して読んでみました。それから瞑想をしました。

心の中に響いてきます。私は喜びです。私は温もり。本当にありがとうございます。

磁場と反転を心に感じ、意識の流れを心に感じ、愛を思います。愛を思う日々を私はこれからも、ずっとずっと続けていきます。

本当にありがとうございます。ただただ嬉しいです。心の中に喜びが広がっていきます。お母さん、ありがとう。喜びです。私は喜びでした。本当にありがとうございます。

ああ、お母さん、私の中から言葉にならないエネルギーがどんどんどんどん出てきます。ああ、お母さん、嬉しいです。私の中には喜びが広がっていきます。ああ、すごい、すごいエネルギーを感じます。ああ、お母さん、ありがとう。このエネルギーとともに私は次元を超えていくんですね。

ああ、私は、お母さん、あなたの元へ帰っていきます。嬉しい、嬉しい。

心の中に喜びが広がっていきます。

この次元に來れなかった意識達に伝えたい。

ああ、ああ、私達はともに次元を超えてまいります。私達は喜びです。喜びが私達の本来の姿です。ああ、お母さん。

私の心に伝わってくる世界を、心に広がっている世界をどんどんどんどん広げていきます。田池留吉、愛よりのメッセージを心より流していきます。エネルギーです。私の中から流れるエネルギーを心から流していきます。留まることなく、私はエネルギーを流してまいります。このエネルギーこそ、私達の本当のエネルギーでした。私はこのエネルギーを心から流せることが喜びです。ありがとうございます。

私達は喜びです。私の心の中にあったエネルギーは、パワーは愛でした。愛を知らずに存在し続けてきた私に私は懺悔でございます。懺悔です。どうしても、どうしても、この思いに到達できずに何度この地球上でも転生を繰り返してきたことか。今、心の中から噴きあがってくる思いは、この喜びのエネルギーです。ああ、嬉しい。お母さん、ありがとう。お母さん、ありがとう。ありがとう。ありがとう。この思いの中にあった。

心の中には何もありませんでした。本当に喜びが私でした。温もりが私でした。お母さん、お母さん、ありがとう。ああ、お母さん、ありがとうございます。ああ、お母さん、ありがとう。ああ、お母さん、ありがとう。ああ、ああ、お母さん、ありがとう。

お母さん、ありがとうの思いが突き上がってくる喜びの瞑想でした。

来る朗読の作業の日に備えて、軽く練習してみようかと思いつながら、ほんの一部分を、声を上げて読んでみました。思いもかけない瞑想の時間が持てました。

本、ホームページ、草書体の愛、五訓、そしてセミナー。

それらは、学びに触れる人全員に、公平に教材として提供されています。

全員に公平に平等に学ぶ機会、材料として提供されているにも関わらず、なぜ、学びに触れたことを素直に喜べる人とそうでない人がいるのでしょうか。

喜ぶことがそんなに難しいのでしょうか。ただ喜んでいけばいいだけの学びです。心から喜べないのは、学び方が間違っているからです。

瞑想をして苦しいのも然りです。瞑想は喜びだと何度も語らせていただいています。そして、どなたの心の中にも喜びと温もりのエネルギーがあることも伝えています。その喜びと温もりのエネルギーを効率よく引き出していくような学び方ができないのはどうしてでしょうか。

体験されればお分かりかと思いますが、お母さん、ありがとうの思いは、心の底から湧き起り噴き上がってくるんです。そうなれば、これが愛だとはっきりと分かります。

ああ、私はこの喜びなんだ、この温もりなんだ、私は愛ですということが噴き上がってくるんです。それはすごい勢いです。

そんな心の体験を重ねていけば、もう不動でしょう。誰が何と言っても、何があっても、揺らぎはしないはずです。

学びのことについて、人と比較しないでください。絶対評価です。

人と比較する心は、自分を落とし込めていく冷たい心です。自分をないがしろにしています。もっと自分を大切にしてください。自分に素直になってください。そして、自分を本当に信じられるような学び方に徹してください。

学びは道徳ではありません。心を見る、自分のエネルギーを知っていくことに喜びを感じていますか。

自分を縛るのではなくて、自分を解き放していく優しさを感じていきましょう。

自分の苦しさを外に向けて訴えるのではなくて、自分の中でその苦しみと向き合えるような優しくて温かい自分と少しでも早く出会ってください。

どんなにその時を待ち侘びているか、それは瞑想でしか分からないことです。

草書体の愛は、瞑想状態になかなか入っていけない方達には、願っても無いものだと思います。

自分の人生、これまでの自分、これまでの生き方が、ほんの一ミリでも何か間違ってきたのではないか、そんな風に思って、この学びで伝えられていることに素直に耳を傾け、心を傾けていく方であるならば、本も飛ばし読みではなくて、真面目に繰り返し読んでおられるだろうし、ホームページは欠かさずに開くということが日課になり、楽しみになっておられるだろうと思います。

そのような方であれば、ある時何気なく草書体の愛を見た瞬間、

あるいは、ふっとその文字を思い浮かべた時、今までとは何か違うものを感じる、心に伝わる、響く、そういう体験をきっとされるでしょう。それは何時なのかは分かりません。ただそうだろうということは私には感じられます。意識の世界ってそういうものだと思います。何かを期待してとか、頑張っ、気張っ、分かるものでもないし、そういうものはみんな欲。肉です。

ところで、ラミネートした草書体の愛の活用方法は色々ありますが、正直申しまして、私はそれにはあまり関心がありません。私の活用方法は、やはり瞑想一本です。それは、私自身の瞑想に大いに効果を上げていると思います。

思うこと、思えること、ただそれが喜びなんです。磁場、反転、エネルギー、パワー、愛、喜び、温もり、宇宙、お母さん、アルバム、そして次元移行、それらが一直線上に並んでいるというか、そして、一丸となって心に迫ってくるというか、そういうことを感じる瞑想は喜びだけです。

三月のセミナーに添付される予定の冊子の原型がほぼ出来上がっています。「U T Aの輪」と言います。

これもまたどうぞ、ご活用ください。

「学びのポイント」と「正しい瞑想の仕方」をドッキングさせて、新たな冊子として作らせていただきました。

日々の瞑想を重ね、あなたの心で触れてみてください。同じ文章でも、学びの進捗度によってとらえ方、響き方が一味違うことを体験すれば、また弾みがつくというものです。

早朝、ウォーキングをしている時、湯船につかっている時、ストレッチ体操をしている時、夕方、その他身体のケアをしている時、細切れの瞑想の中で浮かんでは消えていく言葉があります。私はそういう時間も大切にしながら、時間が取れる時は、ゆったりと瞑想に集中できる日常です。

どうぞ、健康に留意されて、そして、自分に用意してきた時間を真に楽しんでいってください。

「意識の流れは次元移行。次元移行は意識の流れ」。今朝は、そんな言葉が繰り返して出てきました。日々、流れゆく時間の中で、ただ自分を思う、自分のこれからを思うことが喜び。そんな中に自分をいざなっていることが本当に幸せだと感じています。

意識、波動の学びを進めてきて、一応の見通しがついた今、今世の私の勉強についての次のステップそしてジャンプとなるのは、やはり田池留吉氏がその肉を置くという現象です。

この現象を自分の中で大いに活かして、私はさらに意識の世界を学んでいける喜びを感じます。肉と意識の関係をさらに実感するというか、ああ何かそういうふうに思いを向けていくと、何だかワクワクします。

私自身、学びをしてから自分の身近で何人かの人達の死を経験してきました。死という現象を通して学ばせていただきました。しかし、死んで語る、肉を持っていた時と変わらずに語ることは全く難しいのが現状です。それらの現象より、やはり肉という壁を外すという難しさを体感してきました。去年の夏の愛犬の死以

外はみんなそうです。シンちゃんだけが、死んでも生きているときと同様に、喜びとありがとうの波動を流している意識だということをおぼせていただいて、何と人間とは思わざるを得ません。

現実的な実質的な学びをして、さらに自分の中を確認していこうと思っています。死んでも語れる、死んでも仕事をする、そのところが、もう少し自分の中ではっきりとしてくるようになればいいと思っています。

田池先生からのメッセージ、ホームページにて、読ませていただきました。

嬉しいです。田池留吉、アルバートからのメッセージをじゃんじゃん受けて、私自身の学びの指針にしていまいます。

田池留吉の肉があっても無くなっても同じという感覚を、私のこの肉のほうに、もう少ししっかりと伝達したいと思います。意識の世界は、おそらくそのように感じていると思いますが、肉でもしっかりとした確認が取れば、なおいいいのではないかと思います。

そして、一番大切なのは、自分のこの肉を離れた後も、そのような状態だと、今よりもさらにはっきりとこの肉でも分かるように、日々精進していきます。

私は、これまで、私の勉強として、たくさんの人達に思いを向けて、その意識を受けさせていただきました。そして、最終的に

はこれなんですね。最終的には、田池留吉、アルバートからのメッセージ、この意識の世界を波動として感じることに、それを、さらに、さらに進めていくこと、それが私達の本当の学びなんですね。今、私はそのように心に感じています。

自分用の田池留吉メッセージ集というのが気に入りました。

本当にその通りです。針を向け合わせて、どんどん自分の中を進んでいく喜びが伝わってきます。

私は以前から、田池留吉、アルバートに聞くということを実践してきましたが、その学びをこれからもさらに継続させていき、私は私の勉強を、より充実していきます。中心棒の補強に勤しむことが喜びです。その喜びは、パワーです。

「心に向けていけばいくほど、プラス、プラス、プラスの状態が生み出されていきます。」

こういう一文は、私の肉では分かりません。しかし、私は、自分を思えば、自分の中がそういう状態なんだと感じます。だから、ああ、ただ心に向けさえすればいいんだとこの肉に伝達されて、肉がそうなのかと思う、そういう順序を辿っています。

田池留吉、アルバートのメッセージを受けていけば、自分の学びの励みになります。瞑想がさらに楽しくなります。心を開ける今が嬉しい、そんな思いを確認しながら、私は歩んでいます。

地球上に生きる意識達、そしてそうでない意識達、すべての意

識達は、この流れの中にいざなわれていますという力強いメッセージが心に響いてきて、しかし、その一方で、このことをまだまだたくさん意識達に届いていない状態ですということも伝わってきます。

私は、だから心に向けていくことだけだと促されています。

針をしっかりと合わせ、そして、ともに歩いていきましょうというメッセージを流していく、それが磁場を思い、愛を思い、宇宙を思っていく瞑想です。だから瞑想は楽しい。瞑想は嬉しい。ともにあることを感じます。

磁場と反転の朗読作業、無事に終えて帰路に着きました。

C Dが出来上がってきて、私自身聞かせていただいて、自己評価とともにまた私の勉強の糧にしてみたいです。

嬉しいお勉強の機会を用意していただきまして、UTAブックさん、ありがとうございました。

私は、瞑想をして、瞑想をして、どんなに瞑想をしても、心の底から湧いて出てくるのは、ありがとう、ありがとう、嬉しい、本当に嬉しい、そんな思いだけです。本当に自分の道筋、意識の流れ、そういうものが心にしっかりと感じられます。

どんなに私は恵まれていたか、どんなに私は幸せであったか、本当に意識の流れとともにある喜びと幸せが心に響き、ありがとうの思いだけが溢れ出てきます。

確実なものを手にして、私は、私の歩みを淡々と着実に進めていける喜びを、何度も、何度も、何度も、これから、何度も何度も、自分の中で確認していけることができます。

田池留吉、アルバートからのメッセージの中で、ともに歩いていく意識、そういう思いが根底にあることを、いつも確認できることが本当に嬉しいです。ここが確実にある、確実に感じられるから、肉は本当の肉の喜びと楽しみを味わっていただけます。ようやく、私の中で疑問が氷解した今世でした。本当の肉の喜びと幸せは、この中心棒の確立によって、もたらされるものなんだ、そう学ばせていただきました。

今回、初めて朗読という作業に携わり、私は、たくさんの母の意識に触れさせていただきました。肉を持たせてくれてありがとう、この思いが私の中でこみ上げてきました。思いがけない雪景色を楽しませてもらいながら、私は家路に着きました。

学びの基本をしっかりと積んだ上で、もう一度、今、田池留吉の肉があること、そして草書体の愛の文字があること、それらを思ってみてください。何と学び易い環境にあると感じられませんか。それらは、形でもって、正しい方向を指し示してくれているんだから、本当にありがたいです。

ただし、それは学びの基本をしっかりと積んでいけばということであって、それを欠いていれば、田池留吉の肉も草書体の愛の文字も、他力の心を増長させる結果となっていくでしょう。

それは確かにそうですが、自分の中の真実が感じられ信じられ

てくれば、今の学びの環境は、本当に至れり尽くせりに整えられていることに、ただありがたいだけだと分かるでしょう。

あなたは、今、素直に実践していますか。何？なんて言わないように。

田池留吉、アルバートからのメッセージを受けようと素直に実践していますか。どうですか。

素直にしようと心を向けてみるのが、自分に誠実ということです。肉は、自分に誠実に応えてください。誠実に応えていけば、必ずその誠実さが返ってきます。田池先生から返ってくるではありません。あなたの中の本当のあなたからです。それをすなわち、今、私達は、田池留吉、アルバートと呼んでいるだけです。その辺りのこと、よろしくご理解ください。

それぞれに自分に用意してきた時間、大切にしてください。

自分のあるべき姿、自分の歩いていく方向、きちっと定められるような時間をお過ごしください。

自分を大切に、自分に誠実に、**本当に自分に誠実に生きていく道を、一日でも早く見つけてください。**

心の底から笑える、心の底からありがたいと言える、あなたがその気にさえなれば、そんな自分と出会えるようになっているんです。**それを全部邪魔しているのは、あなた自身です。**それが一日でも早く分かればいいと思います。

愛を思える今がある、本当の愛を思える今がある、これはどんなにすごいことなのか。磁場、反転と愚かな肉を通して発信できるすごさ、本当にすごいことを伝えていただきました。

肉を本物として、それは何の疑いもなく、そこを基盤としてずっと時間を費やしてきた過去に思いを向けると、本当に今の私は何と幸せな私なのかとしみじみ思う日々です。

真実の波動の世界に、こうして肉を携えて触れる、その波動の世界を広げていく、それは奇跡と言ってもいいでしょう。長く、長く、真実から自分を遠ざけて、自分をないがしろにしてきた過去の時間は遠大です。

しかし、こうして学ばせていただいて、本当の喜びと本当の温もりが自分の中にあったことを知ることができたこと、本当の自分に触れて、その偉大さに圧巻の思いを感じてきたこと、それを大きな成果として、さらに自分の中に、磁場と反転を伝え、ともに愛に帰る道をひたすらに歩いていきます。思えば通じる世界がありました。私の中の喜びと温もりが応えてくれています。

磁場と反転の音訳を三月のセミナーで、瞑想として用いるとか。ぜひ、積極的にご活用ください。朗読したのは、塩川香世という名前の女性です。しかし違うんです。そこにこだわっているようでは、あなたの学びは進みません。

素直になって、そこから流れてくる波動の世界に心に向けてみてください。私に心に向けてくださいと言っているのではなくて、そこには磁場から流れてくる波動がしっかりと感じられるか

ら、ともに心の針を合わせていきましょうと言っています。

もちろん、私はブラックの世界をこれまで数限りなく作り続けてきました。

地獄の奥底の底の底の底からはいずり上がってきた意識だということですよ。

ただ、私は、今世の肉を持って学ばせていただきました。本当に学ばせていただきました。私は喜び。私は温もり。私は愛。そう自分にはっきりと言えるんです。

どうぞ、ともに歩いていきませんか。

私達は母なる宇宙へ帰ることを自分に固く誓ってきた意識です。

田池留吉の磁場に心の針を向けて、半歩でも自分の歩みを正しい方向に進めていけるような、そんな今世であっていただきたいと思えます。

これまでに、「瞑想をしてください。最後は瞑想です。それも正しい瞑想です」と何度言わせていただいたことでしょうか。

これだけ何度も、何度も言っているのだから、瞑想は続けておられると思います。しかし、最後に残ってくるのは、それが正しい瞑想かどうかということです。

では、それをどのようにして知っていくのでしょうか。

その一つの方法として、田池留吉、アルバートのメッセージを受けるといふのがあります。それぞれ、田池留吉、アルバートと心に向けて伝わってくるものを言葉に変えていけばいいんです。聞き流し、言いつばなしではなくて、必ず文字にしてください。

あなたが田池留吉、アルバートだと思っている意識の世界を、改めて文字にしてみて、どこか微妙に違っているとか、おかしい箇所はありませんか。肉、肉のことばかりということはありますか。また、正しいものを受けようとするから頭が働いてメッセージがスムーズに受けられないという体験をしている人はいませんか。

この作業をすることによって、色々と学ぶことは多いと思います。一番多いのは、我を認めよ、という思いがムクムクと出てきて、それがそのまま波動となっていくケースでしょう。そういうものは、たとえ文言は一字一句同じであっても、中身は似て非なるもの、正しい瞑想はできていないという証拠です。もし、そのところを真っ直ぐに指摘されたら、どうぞ、それを素直に受け入れていけるようなあなたであってください。そうしないと、肉を基盤とした学びから抜け出すことはできません。

最後に、この作業は決して難しいものではありません。特定の限られた人達、いわゆる、チャネラーと自薦、他薦されている人達に与えられたいわゆる能力ではありません。誰でもが受けられる、誰でもが感じられる母の温もりの世界、その世界からのメッセージだからです。そして、それは他力の世界からのメッセージとは異質なものです。

沖縄の皆さん、27日の瞑想会に備えて、どうぞ、それぞれしっかりと瞑想の時間を持ってください。私達とともに約一時間、スカイプを通して瞑想の時間を持たせていただきます。

どうぞ、それまでに、それぞれご自宅で田池留吉の磁場に向け、愛に向け、あなたの心の中をしっかりと見つめて行ってください。

あなたの中の反転のエネルギーをしっかりと確認して行ってください。

沖縄に在住する人達は、どなたも沖縄の神、その神が心に宿りし意識達です。このことは何度もセミナー会場でお伝えしました。

そのことを、どうぞ、しっかりと、しっかりとあなたの心の中にもう一度戻して、あなたの学びをしっかりと進めて行ってください。

私達とともに歩いていく意識であると私達は伝えたいと思います。

それにはまず、あなたの中の温もり、そして喜び、愛、愛、本当の愛、他力の愛ではなく、本当の自分の愛、愛に目覚めていく、その道筋を歩いて行ってください。その道を、一歩、一歩、一歩、確実に、確実に進めて行ってください。

沖縄の人達に向ける思いは、私はとても強いです。なぜならば、私もまたあの地で転生を繰り返してきた意識だからです。

私は、あの沖縄の地がとても懐かしいんです。沖縄へ私の心に向ける時、私の中にあつた凄まじいエネルギーは、沖縄の地ともに沈んでいったことを確認させていただきました。

そして、私はその意識達に、母なる宇宙へ帰ろうと伝え続けてきました。

母なる宇宙、愛、そう、愛、田池留吉の磁場へ心に向けられる今です。

今だからこそ、向けられるんですよ。私は私の中で、沖縄で転

生してきた過去の私にすべて伝えてきました。今、私の中で、沖縄と思えば、ただただ嬉しい、ありがとう、お母さん、ありがとう、喜びへ帰れるんですね、そのような思いが返ってきます。

どうぞ、沖縄の人達、沖縄へ今世転生してきた人達、その意識の世界は凄まじいです。私はそのように感じさせていただいています。

今、私は沖縄に意識を向けています。沖縄は色々な問題が山積しています。それもそのはずです。それが意識の世界のすごさです。意識の世界がまだまだ混沌としているから、沖縄には次から次へと問題が山積されていき、一つも解決の目途が立ちません。そのうちに沖縄の地は、これまで何度も、何度も体験してきたように、また海の底に沈んでまいります。

それは日本全国、この島国、どこも同じです。

沖縄だけが沈んでいくのではありません。だから、だからあなたの方の中から、しっかりと、田池留吉の磁場に心を向けられるような人が、一人でも出てこられるように。そして、そこから微かでもいいです。250年後に続く微かな明かりを灯してください。沖縄の地に灯してください。

沖縄全土に広げていくことは難しいです。そこに在住する人達の心の中には、沖縄の神がしっかりと根付いています。だから、今世、この学びに繋がった意識達、その意識達のうち、どなたでもいいんです。一人でもいいんです。ほんの、ほんの僅かな明かりでもいいんです。250年後に繋ぐ明かりを灯してください。

たとえば、1月から始まるスカイプ瞑想会でもお分りのように、これから各地域、地域で約30名前後のグループで学んでいく方向になっていくと思います。

しかし、それには、各グループに少なくともお一人、田池留吉の磁場にピタっとはいかないまでも、心の針を合わせていける方がいなくては、そのグループは時間の経過とともに違った方向に進んでいくのは必至です。

だから、当面の目標として、各グループにそういう人を養成する方向に、スカイプ瞑想会を活用していただきたいと思います。

全体のセミナーでは色々な人が、色々な動機を持って集ってきます。来る者拒まずで、これまでのセミナーはそれでよかったかもしれません。しかし、そのセミナーも終わりに近づいています。

いずれは、各地域ごとに学んでいく形態を取っていく方向に進むであろうこれからのことを思うとき、せつかくこれまでのセミナーで少しでも正しい方向に向きかけた針が、また時間の経過とともに元の本阿弥になってしまうのは、しのびないという個人的な思いがあります。だから、できれば、各地域ごとにある程度のレベルに達した方が出ていただければ、その方達とともに、今世の学びをある程度の成果を持って終わらせていけるのではないかと思います。

2014年には、そういう方達とともに学ぶ機会を作る、そういうお話も出ています。そして、その方達は、そこで学んだものを、それぞれ各地域に持って帰っていただき、さらにそこに集うお友達とともに学んでいただけたらと思います。

そういう効果的な学び方をしていくほうが、意識の世界にとっ

て、それはすべての意識達にとっていい方向に行くことなんだとご理解いただきたいと思います。肉で思えば、それはとても理解できないことかもしれません。不公平、不平等という声が上がってくるかもしれません。しかし、意識の流れの計画、次元移行というところから感じてくだされば、そういう思いは間違っただと、それぞれが心で気付かれることを心より期待します。

もちろん、どのグループにも属さず、あるいはもっと少人数でという色々な学びの形はあるでしょう。要は、どんなに人が集い、またたった一人でも、それぞれに、しっかりとした中心棒が育った状態でなければ、何の意味もないということが本当に心で分かっていたら、それでいいのです。

何が忙しいのか知りませんが、肉で忙しい、忙しいと。五十歳過ぎて、そんなに忙しいことが肉の生活にあるんでしょうか。私は不思議で、不思議で、不思議だけではなくて、そんな肉の生活、肉のお付き合い、やめればいいのと思わず思ってしまう。瞑想もままならないなんて、あまりにもお気の毒です。

田池先生が、二十年以上、真実の世界のことを伝え続けてくださっても、いまだそういう方達が多くいるんですね。数限りない転生を抱えてきた結果として、なかなか、なかなか、真実の方向に向いていくことは困難だということは、最初から承知しておられたでしょうが。

幸い、私は、時間的余裕、経済的余裕もあり、身体も元気です。恵まれた環境の中、本当に順調にマイペースで自分の予定をこな

しています。順調な仕上がり具合を楽しみながら、私は私の勉強が継続できていることに、最高の幸せと喜びを感じています。

もちろん、肉の心にはその日、その日で、さざ波程度は起きます。波穏やかな日もあれば、少々荒れている日もあるでしょう。しかし、意識の世界はそうではありません。目を閉じて心に向ければ、そういうものは全部消えて、非常に安定しています。安定飛行中です。出てくる思いは、嬉しいとかありがたいとか、温もりとか。もうそこから暗転することなどあり得ません。

私の中にあるのは、磁場に心の針を合わせられる喜びというか確信だけです。だから心から湧き起こる思いはたった一つです。この不動を私は知っているから、長年学んでこられて、上記のような方がまだまだたくさんおられるということが、私には信じ難いことだし、残念です。

最後は瞑想。そして自己確立の道を自分の中で育ててください。

自己確立です。自分の中にしっかりとした中心棒が育っていなければ、結局は本当に何も分かっていないことを、もっと、もっとそれぞれがご自覚ください。

中心棒がなくて、自己確立がなければ、本当に何も分かっていないに等しいんです。

少しは分かっている、分かってきた、とんでもないお話です。

そんなに意識の世界は甘いものではありません。

田池先生から、痛いところを厳しく真っ直ぐに言われた方も多いのではないのでしょうか。もちろん、肉のことではなくて、あな

たの学びの姿勢、学びの程度のことについてです。

はっきりとズバッとやっていただける人のほうが幸せ者だということでしょう。お茶を濁したような、どっちとも取れる表現で、婉曲的に言われるよりも。

しかし、そういうことは、田池留吉、アルバートからのメッセージとしてその人達に語られていることだと思います。何も肉の田池留吉を通さずとも、もっと的確にメッセージが届いていると思いますが、そういうものは受けたくないんでしょうね、きっと。だから、結果的には、心に伝わってこない、耳日曜、ということでしょう。

瞑想はただただ嬉しいだけ。磁場、そして、反転と発信できることが喜び。喜びと温もりのエネルギーを感じ、意識の世界はすごいです。

瞑想とは本来こうなんだと思います。なぜならば、私達の本質は喜びなんだから。心の針を向ければ喜びに、温もりに触れることができるというのが、至極自然なことでした。

二十年という年月、時間は要したけれど、本当に私は幸せです。

瞑想を楽しむ。楽しみながら瞑想をする。思える今があることに感謝。

心が広がり、そして、温かい思いが広がっていく中で、宇宙と呼ぶ。

いつも、いつもともにあった宇宙でした。

本当にありがとうございました。今こうして心に向けられるこ

とが何よりの幸せです。溢れ出てくる思いの中で、愛を伝えてくれと渴望している意識の世界、宇宙を思う。私は愛のエネルギーを伝え続けます。どんなに閉ざされた闇黒の宇宙達にも伝え続けます。それが今瞑想をしていく大きな仕事です。こうして、しっかりと宇宙に心に向けられる今であることを知りました。私の中で、闇黒の宇宙達は次から次へと待っています。

瞑想は喜び。瞑想は愛。私達は一つです。母なる宇宙へ帰るのです。

なりふり構わず、一生懸命学んできた時分を振り返れば、今は多少の余裕が出てきています。それだけまた別の意味で、ゆったりと瞑想を楽しんでいける喜びがあります。

もう道はすでに確定。確定した道が消えるはずはなく、視界は良好です。ただ傾度はきつい。なだらかな裾野ではないから、さらにしっかりとした足取りで進んでいくことは促されるが、それもまた楽しい。

自分のペースで、一步、一步、喜びを感じながら歩いていける幸せは、こうして二十年という年月、学ばせていただいた賜物です。

すべては自分の中にあり。掘って、掘って、掘って、どっさりの財宝を手に入れました。決して消えることのない、夢や幻ではない、確固たる自分の中の宝です。私はこの私、宝物とともにこれからも時を刻んでいきます。思えば通じる世界には、ただただ喜びと温もり、そして、ずうっと永遠に続いていく私という時間がありました。

瞑想でしか真実の世界と出会うことはできないことを知って、その瞑想ができることが、たった一つの私の喜びです。この世界とともにあれば、私は本当に安心立命。消えて無くならない私でした。

漠然と、田池留吉、アルバートからのメッセージと試してみても仕方がないので、私は、今の私に何かメッセージをくださいとか、あるいはその時に何か聞く事柄があれば、それを私は田池留吉、アルバートに聞くようにしています。

たとえば、今日はこんなふうに自分の思いを語れば、ちゃんとそれに応えてくれました。

「私は、本当に宇宙に向けて瞑想を重ねてきましたし、これからも重ねていこうと思います。これしか私には残されていないと思います。今世の肉を持って私は、自分の闇の部分、自分が間違い続け狂い続けてきたブラックの世界をしっかりと心に見てきました。そして今、私の中に宇宙と呼んだとき、同じようなブラックの世界、いいえ、もっと、もっとすごい世界が、次から次へと私の中に、そうです、私達もともに、ともに帰りたいという、歩みをもとに、ともにしたいという思いをしっかりと心に感じています。

私はそちらのほうに心を向け、私の心に感じている安らぎのエネルギー、温もりのエネルギー、優しさ、お母さんの思い、そんな思いとともに、次元移行を果たしてまいりましょうとしっかりと伝えていくこと、それが私に残された唯一の仕事だと、私は思

っています。」

「あなたが思うように宇宙へ心に向けて行ってください。宇宙は待っています。たくさんの、たくさんの宇宙が飛来してきます。

これからの時間、この地球上、宇宙全土にたくさんの、たくさん
の见えない意識達の動きがございませう。それは、それは、とても、とても大きな大きなエネルギー、大きなエネルギーです。

そのエネルギーがあるからこそ、地球人類も変わっていきけるんです。大きな、大きな天変地異が待っています。

そうです、天変地異です。天変地異は愛。愛は喜び、喜びのエネルギー。喜びのエネルギーがこの地球を包んでいく。そのことをしっかりとあなたの中から伝えていきなさい。私達は一つ。宇宙へ、宇宙へ思いを向けてまいりませう。」

今日は真面目なことというか、学びの大黒柱について聞きました。

それ以外に、私は学びのことについてどんな些細な事柄も、私にとって、ということは、私の勉強にとって役に立つようなことは、**私の中の田池留吉、アルバートに聞きます。私の最大、最良、かつ唯一のパートナーです。私の中の田池留吉、アルバートは私自身、本当の私なんだから、これ以外のパートナーはありません。**

私は、自分に問いかけ、自分に答えを出すというこの実践を積んで、さらに意識の世界の信を強め深めていく方向にいけばいい、このメッセージも、今、こうしてキーを叩いているうちにも、心に伝わってきます。

いつも、いつもともにある、こんな頼もしいパートナーはどこにも存在しません。私は、今世の肉を通してそれが分かった。そ

うなってくれば、肉として、肉との関わり具合も全く違ってくることも自分の中で見えてきて、自分の中をどんどん軽くしていくことが、本当の世界がさらにしっかりと見えてくることなんだと、改めて心に感じています。

「消えて無くなるものなんてもういいんです。私のこの心は決して消えない。今、感じている思いの中に私は戻れることだけが、私のたった一つの真実でした。

死ぬということはこの肉を無くすということ。死んでも存在している自分の思いの世界だけが残る。その思いの世界がどうなのか。

死んで形あるものは何も無くなる。死んだら終わりではない。死んでも自分の思いの世界は続いていく。どこまでも続いていく。そしてそれだけがある。」

「死んでも思いの世界は続いていくということに対して。」

「そうです、人間は死なない存在です。人間は死なない。それが人間だけが分からないんです。犬や猫やその他の動植物は、そういうことはみんな知っています。人間だけがそれが分からなくなった。それが大きな悲しみとか苦しみとか、間違いとか、そう言えると思います。

そして、死ねばどうなるのか。死んだ後の自分の世界、自分の思いの世界、その世界がどうなのか。それを今、肉を持っている今、つぶさに知っていくこと、このことを私は皆さんにお伝えしてきました。

自分の死んだ後の世界と語りなさい。死後の自分と語りなさい。そう提起してきた時もあります。あの時、しっかりとそちらのほうに思いを向けることができない、向けることすらできない人達もたくさんいました。

しかし、その死んだ後、自分がどのように状態にいるのか、そういうことがはっきりと自分の中で感じてこない限り、この学びは、やはり他力信仰の延長です。」

「ああ、私は今、自分の死後の自分を思い、自分と語ります。何年か前の私の心の状態とどのように違いますか。あるいはあまり変わっていませんか。」

「はい、田池留吉に心の針を向ける、磁場に心の針を向ける、愛に思いを向ける、その時間が速くなりました。はい、瞬間的にそちらのほうに心に向けることができると思います。私の肉を離れた後、私は、自分が死んだことを知って、そして、ああ、この肉体はないと思った瞬間に、私は、田池留吉の磁場、お母さんを思います。私の中に安らぎが広がっていきます。もちろん、私が作ってきたエネルギー、ブラックの世界、そして、その大きなエネルギーもまた心に感じます。しかし、私ははっきりと違っています。

五、六年前の状態の時よりはもちろん、この学びに出会う前、ああ、それはもう考えただけでもおぞましいです。しかし、私は知りました。心の中に安らぎの自分がある。本当の喜びと温もりが自分の中にあつたことを知りました。私はその私に心に向けることができます。田池留吉、アルバート、本当の私、お母さんと私は何気なしに呼んでいる自分があるんです。

私は死んだ後、そういう状態の中、そう段々、ああ、そうだ、そうだと、今と同じような状態になってきます。

そして、私はしっかりと心に向けていくんです。

私は仕事をしてまいります。このエネルギーを、しっかりと、しっかりと、広げていけることを約束してきました。今もそうです。私の中にたくさんの宇宙達がやってきます。一つ、一つ心に向けています。

今、私達はそうなんです。この安らぎの中にあっただですよ。温もりの中にあっただですよ。そのように私は心の中に伝え続けていく今、喜びと幸せを感じています。今、私はその仕事を一生懸命にしていこう、私は本当に思っています。

心の中に喜びと温もりを思い起こしましょう。そのように伝え続けていくことが、これこそが、本当の喜び、本当の愛に目覚めた意識のなすべき仕事だと私は確信しています。

私がこの肉を離れた後、田池留吉、アルバートとともにこの仕事を滞りなくやっていける。そのことを心に感じています。」

「田池です。私はとても嬉しいです。私が申し述べた喜びの道を、私のもとにあなたは駆け参じてきました。ともに行きたいという呼び声を私は聞いています。しっかりと田池留吉、アルバートに心に向け、そうです、そうです、しっかりと心に向け、もっと、もっと、自分の中に伝えてください。

愛の喜び。愛のエネルギー、優しさと喜びのエネルギー、力強いパワーの源は、田池留吉、アルバート。愛でした。磁場でした。私は伝えます。私達は一つの中を喜んで、喜んで、これからも進んでいくでしょう。

私はあなたに伝え続けます。あなたが心で感じているように、どんなに、どんなに私達はこの時を待っていたことか。

本当に喜びで、喜びで心に向けて行ってください。私はあなたに伝え続けます。私の肉体が無くなった後もちろんです。もちろん、もちろん、もちろんです。あなたに伝え続けます。

この喜びの波動を受けていくあなたです。しっかりと心に向けて行ってください。心に向けさえすれば、あなたの中に広がり伝わっていく喜び。愛のエネルギー。このエネルギーこそ、宇宙を変えていくんです。はい、喜び、喜び。私達の中にあります。嬉しいです。ありがとうございます。ともに、ともに歩いてまいりましょう。」

私は、確かに今世、いわゆる一人の教祖を心につかみました。

しかし、私は学んできました。ある程度学びが進んだ段階で、私は、自分のつかんできた教祖に心に向けてみました。その世界は本当にちっぽけな世界でした。そしてその意識は、今もなお、肉から心を離すことができなくて、地獄の奥底に沈んでいるとはっきりと分かります。その人が書き記した本を自分の人生の指針にしている人が多く存在しているでしょう。何と恐ろしいことかと思えます。恐ろしいというよりもそれは大きな罪です。

上記のようなことは、私の頭ではなくて、私の意識の世界がはっきりと感じているということです。

だから、私は自分の心から離すことができたのです。全く違っていることを心で知ったのでした。

そうでないと、田池留吉の世界は決して分かりませんでした。

田池留吉の世界を心で感じることに、磁場に心の針を向け合わせることはできませんでした。私は意識の世界はそういうものだと思っています。

だから、そういう点があやふやな方達、そういうところを曖昧にしているのは、結局、ポーンと飛び出することは難しいということでしょう。

それでも、磁場と思って、愛を思って瞑想ということを何年も続けていけば、何か心を感じてくるところはあるかもしれません。心の風景は何かしら変わってくるでしょう。そういう効能は確かにあることは否定しません。

しかし、それでは甚だ不十分です。宇宙に愛を流していくパワーには程遠いものがあります。という思いが私の中に伝わってくるんです。

ということで、やはり、250年、300年というのは絶対必要な時間なんだなあという思いを確認しながら、今日の勉強を終えました。

真実の世界を本当に心で感じ、知り、そして、その世界を自分の中で進めていくことは、本当はとても難しいことなんです。

しかし、難しい、難しいと難しいことばかりを強調しても、学ぶという意欲が弱くなっていくだけということで、田池留吉氏は、ホームページを通して厳しく言ってみたり、表現を緩やかにしたりして、色々工夫されているかと思います。

しかし、本当にその意識の世界に心の針を向け合わせて、そこから流れてくる波動の世界を感じていけば、本当に肉という壁を外して、真実の世界へポーンと変わる、つまり意識の転回を成し遂げていく難しさを語ってくるはずです。

そういうことを心にほんの少しでも感じながら、瞑想を続けていくことをやってください。

私は自分を特別だと決して思っていないけれど、私は本当に学ばせていただきましたという思いはしっかりと持っています。私にとって、250年後も次元移行も現実のものとなっています。決して、夢、幻の話でもなく、絵に書いた餅の話でもないんです。心で分かる、心で感じる、心で知る、そういった事柄です。

学びに集中できる環境、肉を含め、そういう環境を私は整えてきたこと、それだけを取り上げても、私は意識の流れをはっきりと心で感じることができます。

学ぶにあたって何の支障もありませんでした。ここがネックとなってなかなか学びの軌道に自分を乗せていくことができないなんてことは、これまでに何一つありませんでした。

それでも二十年という年月を要しました。それは致し方ないことです。殆ど周り道せず、遠回りせずに学んできても二十年を要したことについて、意識の転回を遂行していくことが最大の関門だったと言えると思います。

それはそうです。肉を本物としてずうっときた過去からの時間の自分を全部覆していくことは、並大抵のことではできない、並

大抵の思いではできないということを心に叩き込みながら学んでも、決して簡単な道のりではなかったです。

それでも私を支えてきた私の決意がありました。この決意に私は支えられて、私は、いつも自分に問いかけ、そして、自分の中から答えを見出そうとする姿勢を保つことができたんだと思っています。

そして、一方では、私に意識の転回を促す現象が折よく現れるし、肉の母、肉の田池留吉に対してはストレートに闇出現象をさせてもらえるし、そういう面からも学びに集中できる環境の中にいつもあったことに感謝しながら、今の私があることを嬉しく思っています。

心晴れ晴れと、今日も一日が始まります。私は私の勉強を終えて、一日が終わり、そしてまた私の勉強とともに一日が始まります。

心に響いてくる世界を大切にしながら、いつもともにあることを確認しながら、日々の時を刻んでいける今があります。

目の前を流れていく映像がすべて、そういうことが本当に自然だった、その映像の中に溶け込んでいくことに自分の全エネルギーを傾けてきた、肉という形を持って何度転生の機会を得ても、その一点は決して動かさないものでした。

しかし、それが全く違っていた、その一点を違えてきたから、何度転生の機会を得ようとも、何も変わりはありませんでした。何も変わらなかった。全く何一つ変わらなかった。

今、私は私の勉強を通して、はっきりと自分に伝えることがで

きたことが何よりも、何よりも嬉しかったです。初めて、初めて、自分の歴史に大きな成果があった手ごたえを感じながら、今世が本当に私のスタートだと認識を新たにしています。まさに、私の転換期は今世、今というこの時でした。だから、真実の世界から初めて肉を持つという現象が起こったのでした。

今日の瞑想会どうでしたでしょうか。あなたはパソコンの前でどんな思いが出てきましたか。そのあなたの心に上がってきた思いをどうぞ、大切にしていってください。どんな思いでもいいんです。反発の思い、よく分からなかった、あるいはよかった、何かあなたの心に上がってきた思いがあったはずです。どうぞ、そのあなたの心に上がってきた思いからまたあなたの学びを始めてください。

私は、瞑想を通し、自分の世界を感じながら、確信の二文字しか出てきません。異語で語ろうが、日本語で語ろうが、あるいは何も語らなくても、私の中にはしっかりとした思いがあることを確認できる時間をいただいたことに感謝しかありませんでした。

どうぞ、ご自宅での学習を通して、自分の中の愛、自分の中の磁場、確固たる自分の思いに出会えるようなそんな学び方を習得してください。

聞いて分かる世界ではありません。それぞれの心の体験です。そして、その体験を本当に活かしていけるには何が必要であるのか、自分の心でその答えを見つけてください。自分を幸せに喜びに導いていくのは自分です。またそうでないほうに落としていく

のもまた自分です。

あなたも早く、一日も早く自分の道筋を心の中で確定させてください。

まだまだ自分は愛だと断定できないのではないのでしょうか。

自分の中の愛、自分の中の磁場、それがはっきりと自分の世界だと心に響いてくれば、あとは瞑想を楽しんでいだけけます。

瞑想を重ねていけばいくほど、喜びが増してくる、確信の度合いが高まってくる、深くなってくる。また、喜びが増し、確信の度合いが高まり深まっていけばいくほど、瞑想を重ねていく。この循環です。

この循環こそが大きなパワーとなって、仕事をしていきます。

瞑想は仕事をするんです。正しき良き循環の中にある瞑想は、正しき良き仕事をしていきます。宇宙に、意識の世界に大きな働きかけをしていきます。だから思えばいいとなってきます。思うことがパワーなんです。

そういうことが、瞑想をする心に響いてきます。

だから、瞑想をして田池留吉、アルバートと思い伝わってくるもの、いわゆるメッセージは、瞑想の大切さと瞑想の喜び、瞑想が仕事、そういう内容です。心の針を合わせて瞑想、これが私の仕事なんだ、私はそのように理解しています。

愛とは、肉でいう愛ではありません。優しいとか温もりだと

かいうのも、言葉は同じだから、肉のそれとはなかなか見わけがつかないかもしれませんが、肉の愛、肉の優しさ、温もりは、結果的には、互いに良い方向には進みません。良い方向というのは、真実の世界を知っていく方向という意味です。

他力のエネルギーの中ががんじがらめになって、互いが互いを縛り合い、依存し合い、泥沼の中にとともに沈んでいく構図です。

肉を絡めて、肉の中で愛を説くエネルギーはそんなエネルギーです。

本来の愛のエネルギーは、すべてを解き放していくんです。本当の優しさ、本当の温もりのエネルギーは、本当に自由です。自らが愛なんだから、すべてが自由。そこには何のこだわりもなければ、何の壁もない。どこまでも解き放たれた世界、それが自分。そういうエネルギーの自分に触れていけば、これが優しさ、これが温もり、これが愛、私は愛、そういうことは自ずと分かってきます。

瞑想はパワーだと心から感じます。瞑想が本当にできてくれば、何のことはない、自分の中にすべてがあった、喜びは自分の中から湧いて出てくる、温もりは自分の中から湧いて出てくる、自分は喜びそのもの、自分は温もりそのもの、これが本当の私なんだ、そういうことを繰り返し、繰り返し、確認できます。

だから瞑想は喜びです。瞑想は本当に嬉しい時間です。自分との出会いの時間です。

瞑想とは思うことなんだ、ただ思うことなんだ、思うことが仕

事をするんだ、それが実感として心に響いてきます。

そして、瞑想をしていけば、必ず宇宙というものが心に響いてくるんです。宇宙に向ける瞑想は、本当に私が成し得たかったことでした。真っ黒な宇宙に本当のことを伝えられる今があることに、私は、瞑想の醍醐味を感じています。

私は私を信じています。私は私を大切にしています。私は私を思う時、喜びです。私は、私の中から語ってくる田池留吉、アルバートは本当の私自身だと知っています。

だから、田池留吉、アルバートに心の針を向けることがただただ喜びです。

田池留吉、アルバートは私の中の宇宙をよく知っています。田池留吉、アルバートの波動は母なる宇宙の波動と全く同じです。だから、私は田池留吉、アルバートと心に向ければ、母なる宇宙の波動を心に感じ、私のふるさとを心に感じます。

本当に大きな喜びを感じます。母なる宇宙を思える今があることに、本当にありがとうしかありません。

愛を思える私が今ここにあることが、本当に、本当に嬉しい。愛を捨てた私の中に、愛を伝えてくれた私がありました。

どなたにも平等に、公平に本当のことに気付くチャンスがあります。

私はそのチャンスを自分に活かして、自分に戻っていく喜びを

今味わっています。瞑想の中で、私は確固たるものを感じています。

これはもう絶対に揺るがせない私の中の真実です。

私はこの自分の中の真実に出会い。そして、自分を目覚めさせるために、今のこの肉を持ってきていることをしっかりと感じています。

私は、これまでたくさんの、たくさんの文章を認^{したた}めてきました。自分の思いを文字にしてきました。私は、しかし、それは決してぶれていないと感じています。今日、喜びで明日は苦しみ、そしてまた喜びを感じました、そんな世界ではないんです。私の感じている世界は。

今世の肉を十二分に活用させていただいて、私は私の勉強を滞りなく進めています。

いまだに田池、認めよという波動を流しながら、喜び、喜びという方もおられるようですが、それではあまりにも自分に申し訳ないと思いませんか。

もっとご自分を信じ、ご自分を大切にしていきましょう。

私達は偉大な存在です。すべては自分の中にありました。自分の中の愛に目覚めてください。

私の思いはすでに250年後に照準を合わせています。しっかりと今世の私の勉強を250年後の来世の私に繋いでいっている現実を、日々の瞑想の中で感じながら、私は、過去の私、未来の私とともにいつも、いつも喜びの瞑想を繰り返しています。

これが私の喜びなんです。目を閉じて思いを向ければ、本当に

嬉しい喜びの世界が広がっていきます。

250年、300年の時間の中で、私はこの瞑想を続けていけることを感じています。

ありがとう、今世の肉を通してのお勉強、私はさらにますます自分の中で淡々と、真剣にやり続けていきます。

道が見え、道がはっきりとして、そして、私自身の行く先が本当にしっかりと感じられる私の勉強を通して、私は、どんどん自分の中の愛を流してまいります。

田池留吉の目も、田池留吉の指先も私の中にある喜びです。

私は心を向ければ、田池留吉の目も田池留吉の指先も、それらは私に真っ直ぐに愛を伝えてくれるエネルギーとして感じる事ができます。

それらは私の外にあるのではなくて、私の中にしっかりとあります。

私は私の勉強として、そういうものもみんな活用させていただいてきました。

大きな喜びのエネルギーとして、私の中に存在している田池留吉、アルバートの意識です。私達は一つだと、私は瞑想をして本当に心で感じています。これほど安心立命な現象はないでしょう。だから瞑想がどんなに幸せで喜びの時間であるか。私は本当に何も要らないです。絶えず、その意識と語っていればいいんですから。

そして、一方で、目を開けて生活をしている時は、どこにいても、何をしても、心を一瞬向ける。このトレーニングを私は

しています。絶えず、田池留吉の目、そして、指先を感じている
というか、異語を感じているというか、私は、そういう自分にな
っていることを確認しながら、日常生活を過ごしています。

街中は、本当に混沌としています、様々な映像、音、臭い、エ
ネルギーが混沌としている中に、私はこの肉を漂わせています。
肉として少々きつい時もありますが、それによって、私の中がど
うなるものでもないし、かえって、自分の中とのギャップを楽し
んでいるような感じです。差を感じれば感じるほど、私は自分
の中に感じている世界の確かさを、より確かなものとしていける
んです。私は中心棒が確立していますから、もう肉に流され、肉に
埋没する危険性はなくなりました。

私個人の考えとして、肉はある程度、刺激があるほうが良いと
思っています。愚かな肉は、愚かな肉と接しながら、それでも絶
対に揺らがない中の自分の思いを確認できる楽しみというか喜び
とともに、日々、私の勉強の糧にしています。

私は、私の勉強を通して、この肉の人生を全うしていきます。

田池留吉、アルバートの世界が語ってくる波動を心に受け止め
ながら、私は、私の勉強を通してこの肉を終えていきます。

そして、もちろん、その後も私は私の勉強を継続していきます。

心に田池留吉、アルバートの世界を感じながら、私は私の勉強
をやり続け、そして、時期が来れば、再び肉を持ちます。

以上のことはみんな、瞑想をして心に感じる事柄です。

田池留吉の肉があって私の肉があって勉強する場合も、田池留

吉の肉がなくて私の肉があって勉強する場合も、そして、田池留吉の肉も私の肉もなくて勉強する場合も、どの場合、どの状況であっても、私は私の勉強を継続していきます。

私の意識の世界は、すでに250年後に繋がっているのだから、それはそうです。

そして、250年後の肉を自分に用意して、肉と肉が会うその瞬間に、私は私の勉強を通して学んできたことを爆発させていきます。

250年後の肉を持つ意味が、今世を含む過去の転生とは全く違うことを感じています。

その境目が今世の肉でした。だから、この肉にはいっそうありがたいの思いが出てきます。意識の世界は言うまでもなく、肉の人生をまともに生きていける、これは私にとって本当に大きな収穫でした。

肉を維持するには、ある程度のお金が必要です。潤沢なお金は必要ありませんが、誰にも気兼ねなく、自分の自由に使えるお金は必要です。

とにかくお金の中で、ごちゃごちゃ、頭を使い身体を使って、肝心のほうにエネルギーを注ぐことができない人生が一番哀れでしょう。

お金を稼ぐために産まれてきたのでもないし、誰かを幸せにするために産まれてきたのでもありません。

自分を知ることが一番でした。もともと幸せだった自分、もと

もと喜び溢れ温もりの中にあった自分を取り戻すために、過去何度も、何度も転生の機会をいただきました。

自分を汚しに汚しまくって、落とし込めてきたエネルギーを心で知るために、こうして肉を持ってきたと、本当に心で感じていけば、そして、その感じた方向に素直に心の針を合わせていけば、自ずと自分の周りの環境は整えられていることを知ります。

自分を知るために、最適に整えられている今を感じていくはずです。そうなってくると、心から出てくる思いは、ありがたいしかなんです。ありがたいの五文字しかありません。

瞑想をする最適な環境の中にありますか。

身体は疲れていませんか。心はゆったりと落ち着いていますか。静寂な空間が用意できていますか。夜遅くに瞑想をしていませんか。

このように、瞑想をするにあたって、まず肉的に最適な環境を整えることはとても大事なことです。

特に身体が不調な時は、瞑想に集中できません。元気なようでも身体の芯が疲れている場合があります。そういう時も、瞑想には集中できないでしょう。また、瞑想に集中すると言えば、静寂な空間の確保という点も大事でしょう。それぞれの家の事情もあるかと思いますが、やはり瞑想をするには、できるだけ静寂な空間が用意できればと思います。ある程度、防音設備が整っている部屋で瞑想ということになれば、これは幸せなことです。毎日、一時間でも、そういう空間を用意して、瞑想することに集中で

きる環境が整っていれば、それはすでに幸せなことです。

このことは、体験すれば分かります。瞑想をすることに集中できる環境に身を置ける、この幸せは必ず、瞑想に反映されていきます。

ゆったりとした心、ゆったりとした空間、ゆったりとした時間、その中で意識の世界は喜びへといざなわれていくんです。心の中から語ってくる波動の世界と通じ合える喜び、幸せ、あっという間に時間は過ぎ去っていきます。

田池留吉氏の肉が現実にあって、その時点で学んでいくのはいとも簡単です。そういう学びを十二分にやって、それから学びの完成度を高めていくには、肉があってもなくても同じだということ、現実を実体験して、そして、自分のこの肉の人生を終えていく、肉のない間のその後の勉強に引き継いでいく、そういうプロセスは必ず踏んでいくように、私の計画の中では設定されています。

私は、その計画を実行していくことが楽しみで、その楽しみとともに250年後の来世を迎えられると感じています。

そういうことを日々思いながら、私は私の勉強として、日々の瞑想の時間を大切にしています。

私の中の宇宙達に思いを向けての瞑想は、心から今という時を喜んでいる感じです。

肉の生活で不足はなし。満たされています。肉も自由です。手かせ、足かせ一切なし。瞑想一本に集中です。

U T Aの輪、認知から成長への段階に入りました。

具体的にどういうことでしょうか。

U T Aの輪は、確実に成長の段階に入ったということです。認知とは、U T Aの輪とはこういうことですよと、私は示し、そして、そのU T Aの輪を成長させるとは、そのU T Aの輪の波動、その波動を確実なものにしていく、そういう段階に入ったということです。

お分かりでしょうか。U T Aの輪は、どんな輪なのでしょう。それは、次元移行へ、ともに、ともに歩いていく意識の流れの中にできる道筋です。

そこには、大きな喜びのエネルギーが発生します。そのエネルギーが成長の段階に入ったということ、それは、大きな大きな喜びです。

U T Aの輪の認知。U T Aの輪とはこういうことですよと、学びに集ってくる方達に、肉を持っている、持っていないに関わらず、そういうことを広く知らしめました。

そして、その成長。いよいよ、U T Aの輪の中身をより一層知らしめる、それが成長の段階。そういうことです。

私はあなたにもっとご自分を自覚していただきたい、そういう意味で、メッセージを載せました。あなたに向けたメッセージだ

とご理解いただけたらいいかと思います。表面上は、皆さんに発信しているメッセージ。しかし、実際のところはあなたに向けたメッセージだと言えるでしょう。

私とあなた、次元移行へ向けて突き進んでいくエネルギーを、しっかりと心に向け、そしてともに、ともに歩いていきましょうという私の思いです。

私とあなた、もちろん肉の次元ではございません。意識の世界を私は言っています。

私の意識の世界と、あなたの意識の世界、それが一つに重なった時、大きなエネルギーが発生するということを、私はあなたに伝え続けてきました。

あなたのご自覚をもっと深くしていただけるよう、私はホームページを通して伝え続けています。

どうぞ、心をしっかりと向け、あなたはあなたの学びとして、私のほうに心を向ける瞑想の時間をしっかりと持って行ってください。

あなたに語っています。あなたの心の中に田池留吉、アルバートのメッセージを今日も届けました。あなたはどのように受け止めましたか。私は、あの通りなんです。私の思いを語らせていただきました。

どうぞ、しっかりと、あのメッセージを心の中に刻み、あなたはあなたの学びを進めて行ってください。

私とともにあることをしっかりと心に刻みながら、U T Aの輪のほうに心に向け、喜びのエネルギーを心に感じて行ってください。

「母なる宇宙とともに」増補改訂版の原稿、もう少しでU T Aブックさんのほうに渡せると思います。

朗読というお話もいただいているので、音訳のほうもよろしくお願いします。

磁場の瞑想と反転の実践、そして、愛に向ける瞑想の中で、それぞれ、宇宙に心を向けておられる日々だと思えます。

瞑想をする中で、これからさらによりいっそう、宇宙というのが私達に深く関わってくると感じておられるでしょう。

磁場のエネルギー、愛のエネルギーは、全宇宙に向けて発信されることを心で感じていきましょう。

「母なる宇宙とともに」増補改訂版、どうぞ、あなたの心でその波動の世界を受けてください。そして、あなたの中から異語でご自分のエネルギーを出して行ってください。あなたの心に交信してくるたくさんの宇宙達、その意識の世界を優しく受け入れてください。

「母なる宇宙とともに」増補改訂版、きっとそのお役に立てると思えます。

ああいうことも、こういうことも、みんな、みんな、私の中では確認済みです。あとは、それを淡々と遂行していく意識の流れの中で、ただ喜びを感じ合っていくだけ。

すべてはシナリオ通りに遂行されていく喜びだけが、瞑想を通

して響いてきます。

肉の愚かさを感じながら、しかし、私は中の私の思いに強く、しっかりと引導されている確かさを感じます。

意識の世界の喜びと幸せは、もう言うまでもないことです。ここを知っているから、私は肉でも幸せなんだ、肉も安らいでいる、満たされているんだと分かります。

自分の中心棒なき人生がどれほど空しくて、味気ないものか、中心棒の確立があって本当に心からそれが分かります。

肉の人生がまあまあ順調にいていけば、肉に埋没して、人生が空しくて、味気ないことは実感できないし、また、形の上で苦しくて辛い人生の中で感じる空しさの程度も、本当はその程度ではないことなんか絶対に分からないでしょう。

夫婦、親子等、あなたの生活の中の近しい人達との関係がまず良好関係でなければ、全宇宙に向けて愛のエネルギーを発信、反転などとても、とてもできません。

自分の身の回りのごく狭い人間関係の流れもスムーズに流れていない状態、戦闘状態とまでもいかないけれど、冷戦状態とか、どこかうまく歯車がかみ合わない状態とかであれば、まずその修復という意味において、自分から流れているマイナスのエネルギーを本当に知っていかなければならないでしょう。

しかし、そういうことは、正しい瞑想ができてくれば、自ずと修復されているはずです。そんなところで苦しんでいるとか、悩んでいるとか、そんなことは、本当はあり得ない話です。ですが、

現実にはどうでもいいことに苦しみ、悩んでいる人達が、学んでいる人達の中においてもまだあるということでしょうか。

私にはそれ自体がどうも腑に落ちないことです。何で、このようにして学ばせていただいているのにと、不思議な感じがします。学んでいけば、悩みが出てこないというのがごく自然だと思えますが。

所詮、肉のことは、磁場と思い、愛を思い、本当に心の針を向ける瞑想を重ねていけば、雲散霧消することばかりです。

本当に大事なものを、本当に大事なこと、それに向けて全エネルギーを注いでいけるような時間を刻んでください。

故意に、田池留吉の磁場を避けて瞑想をするということはどういうことでしょうか。果たして、そんなことができるのでしょうか。また、そういうことをなぜするのでしょうか。なぜできるのでしょうか。

少々、不可解な文章だと感じました。瞑想とは、自然に田池留吉の磁場に向くものだと、それが瞑想だ、だから瞑想なのだと私は理解しています。

何か、この学びとは全く違う学び方をされている方がいるということを知らせていただきました。

メッセージは波動です。文言は、特に日本語にはこだわりません。ただ異語で語るよりも、自分の日常語に変換するほうが、肉の自分にも分かりやすいということでしょう。

自己顕示であるとか、自分の都合の良いように語っていれば、

それは正直に自分の心に返ってくるでしょう。それをしっかりと素直に受け止めていくことが学んでいくということに繋がっていくのではないのでしょうか。

波動は騙せません。語る文言は一字一句同じでも、波動は格段の差がある、あるいは全く違うということも、事実です。

母と生活をともにして六年目を迎えます。同居の話は私から切り出し、母としては殆どと言っていいほど、転居はおそらく想定外のことだったと思います。当時、母は、全部一人で身の整理をして、私が決めてきた場所に引っ越してくれました。

あれから六年。転居で母の生活は一変し、そして去年の愛犬の死で、生活の流れはまた変わりました。

六年を振り返り、私は同居してよかったと思っています。母もおそらく満足していると思います。あんたもあほやなあ、お互いあほやと思う日常です。

母が先に学びを知って、私は母から学びのことを教えてもらいました。このことについて気にも留めなかった私ですが、母が学んでくれていたということ、それ一つを取っても、私は恵まれているんだとしみじみ思っています。互いに出すエネルギーを自分の中で確認しながら生活をしていける、相手ではなく自分なんだと、互いに瞑想をする時間の中でそれを確認する、そしてまた何ということもなく生活を続けていく、そんな日々を重ねていけることに、感謝しています。

毎日、異語を交わす時間を持ち、時には学びについて語り、あ

まりまめにはやらないけれど、Oリングテストを試み、何ということもないけれど楽しい毎日です。ただそれもやがて時間が経てば、状況も変わります。しかし、形の上での状況の変化にスムーズに対応していけるだけの意識の世界は確立しているから、あとはその流れに乗っていただけという思いの中で、今を楽しんでいます。

まだ、あなたを産んでくれたお母さんがご存命ならば、どうぞお母さんを大切になさってください。

大切にするというのは、あなたが日々この学びをして、瞑想をして少しでも自分の心にお母さんの温もりを感じ、自分をこのように産んでくれたお母さんに心からありがとうございますと言えるあなたになるということです。

まずその肉として、お母さんに感謝の意を表明できなければ、田池留吉の磁場もアルバートも愛も何も分からないということではないでしょうか。

意識の母に感謝しています、意識の母にありがとうが言えますと言って、何かこの学びをしているような感じになっているかもしれませんが、まず今世の母が大事です。

もちろん、その肉は互いに愚かです。そんなこと分かり切っていることです。しかし、あなたは今世のお母さんに産んでもらってそこにいるんです。肉をもらったという事実、肉をくれたという事実、これはどれほどありがたいものなのか、学びの度合いが高まってくればくるほどに、感じてくることです。

あだやおろそかにできないことです。してはいけないことです。

さらに、お母さんの温もりの分からない人、感じられない人、信じられない人に、正しい夫婦関係は構築できません。田池留吉、アルバートといっても利害が一致している中での学びをしているだけではないでしょうか。

正真正銘の夫婦となるには、さあとても難しいことなのではないでしょうか。相手を通して徹底的に自分のエネルギーを知るといことで、格好の組み合わせですが、そこまで自分を見ていけるかどうか、ある程度のところでチョンチョンチョンと手締めをしてしまうのではないのでしょうか。

意識の私は、最初から幸せでした。そして、今世の肉もまた幸せ者です。

父、眞太郎と母、静香の子として生まれた私は、その両親とも、この学びの波動に触れさせていただいたからです。

父は、田池留吉氏との面識こそありませんでしたが、電話で一度話をしています。父が亡くなる数カ月間、私は父の意識との対話を心掛け、亡くなって数時間後、茶毘に付す前に父に意識を向けました。そして、斎場では、250年後、アルバートと会いましょうと自然に私はメッセージを送りました。

そのようにして、私は私なりに父を思ってきましたし、今も思っています。思うことで伝わっているものがあると私は信じています。きっと、250年後に繋いでくれると私は思っています。

また、母は現在、その肉を持って、セミナーに参加させていただいているということで、ともに学ばせていただいています。

もちろん、私は今、肉を持っている母に思いを向けることもしていますし、その肉を置いていけば、母の意識に思いを向けることもします。

父にも母にも、私は、自分のこの肉がある間、意識を向けていくでしょう。感謝の思いで、私は父や母を思います。

私は思うということのすごさ、自分の心の針を向け合わせて思うことのすごさを、日々瞑想の中で実感しています。

それは遠隔操作とかそういうものではなくて、ただ思うんです。

思うということによって伝わっていく波動の世界、それが現象化していくことを私は、田池留吉氏の没後さらに学んでいくでしょう。

その学びが自分の中で成就していくことが、次元移行を果たした後の私に繋がっていくと固く信じています。

私が信じているのは、自分の中のこの温もりです。この優しさです。心の中から湧き上がってくる田池留吉、アルバートの波動の世界です。

いついかなる時も、そして、繰り返し、繰り返し、心の中に広がっていくこの世界こそ、私の中で唯一信じられる世界でした。

私は、今世の学びの成果を受けて、そして、もちろん、この肉があるこれからの時間、さらに私は私の中で研鑽を積んでいくことも含めて、これからも自分自身に伝えていきたいと深く思っています。

今は、田池留吉氏の大きな庇護のもと、私は、自分の学びに集

中でできています。そのことを心に深く刻みながら、私は私の予定のコースを、よりいっそう慎重に歩んでいきます。

ずっと、ずっと、自分に何も伝えられなかった私だったけれど、ようやく、本当の私の思いに応えていけることが本当に嬉しいです。

温もりと優しさと、私達のふるさと、母なる宇宙へ帰れる喜びを、心から伝えていける今に、本当にありがとうございますという言葉しか出てきません。

針は、田池留吉の磁場その世界、アルバートの磁場その世界です。その世界から流れ出す喜びの波動を、遮ることなく流していることに本当に喜びを感じています。

何も知らずに死んでいったらダメだけれど、現実には、何も知らずに死んでいく人が殆どです。

それでは、どんなに自分の足跡を残しても、後悔、後悔、また後悔です。どんなに悔やんでも悔やみきれない無念が自分を切り裂いていきます。

そんなことは、みんな百も承知でした。

しかし、なぜ人間は、それをきれいさっぱり忘れてしまうのでしょうか。愛を知らない人間が愛という言葉を使っている、愛の安売りをしている、本当におぞましい人間の姿です。

自分を冒涇してきたことに心から懺悔していくチャンスは、すべてに平等に用意されています。

それは、私達自身が愛そのものだからです。愛に目覚めてい

く、本当の自分に目覚めていく、それは大言壮語でも何でもなく、本当に自然なことでした。愛は誰でもが自分の中に知っています。復活できないわけではないんです。

瞑想、瞑想また瞑想。生きて瞑想、死んで瞑想。

瞑想とは、心と心、意識と意識が通じ合う喜びの中に、いつも、いつもあったことを感じられる喜び、至福の時間と空間です。

時間と空間、時空なき意識の世界へともに。そのメッセージを発信できる喜びです。

本当に今をありがとうございます。今をありがとう。

意識の流れに、絶えず思いを向け、私は歩み続けます。

時間が経てば状況の変化があることは世の常ですが、どんなに時を経ても絶対に変わらないものがあるんだという世界を知って、それが感じ信じられることはすごいことなんだとしみじみ思う毎日です。

「自分を信じて生きていきなさい」、今よりも前の転生においても、何度も聞いてきたように思います。ただ、自分を信ずるというその自分が分からなかったから、結局は自分を信じられずにきたのでしょうか。

ようやく、信じられる自分を知りました。感じています。だから、言われるまでもなく、自分を信じて生きています。そうする以外に何もなかったことを知りました。自分を信じて生きていく安ら

ぎ、喜び、幸せ、温もりは最初から伝えてくれていたんですね。

今の言葉で言えば、針を中に向ける生き方です。針を中に向けて、本当の自分を絶えず感じていれば、もう絶対に正規の軌道を外れることはない、心に伝えてきます。意識の世界は法なのだと感じます。

自分を救うのは自分。自分を喜びにいざなうのも自分。自分を落としていくのも自分。1 + 2 = 3の世界にのみ生きる喜びだけが喜びでした。

私は幸せです。皆さんも、それぞれに幸せを感じておられるでしょう。

学びをして幸せが分からない、喜びが分からないことは絶対にありません。

まず、肉で幸せを感じ、喜びを感じるはずです。

それがそのまま、意識の世界のほうにスムーズに繋がっていくことについては、あまり深く追求しないことにしましょう。

とにかく、肉で満たされてください。肉で満たされるということは、物質的に満たされるという意味ではなくて、少なくとも自分の家族の人達の間がギクシャクしていない、そんな人間関係の中にあるということです。

自分の生活圏の中にギクシャクの雰囲気がかかれば、瞑想どころではありません。瞑想によって、それを解消させようとするのは違っています。

まず、肉で幸せを感じ、喜びを感じていきましょう。

そして、気分良く、ご自分の中の世界と対峙してください。さらに気分良くなります。その幸せと喜びの波動で、家族の方と接していけば、肉の生活もよりスムーズに流れていきます。

意識の喜びが肉へ、肉の喜びが意識へ、より良い流れを自分の中に作り、私は、さらに宇宙へと心を向ける毎日です。

私は、瞑想をする喜び、瞑想の大切さ、瞑想の醍醐味を心で知っています。

だから、私は瞑想を通して、心に向けることを淡々と、そして、きちんとやり続けます。それが私の喜びだからです。

思うということ、瞑想をするということ、何のためにそれをする毎日なのか、そんなことは考えたことはありません。

ただ、思うこと、心の針を合わせていくこと、そして向けること、それが私のすべきことなんだと伝えてきます。

だからこうして肉を持って、心の針の向け先、合わせ方、向け方を習得したんだということでした。

二十年かけて学んだものを、二十年かけて咀嚼^{そしゃく}し味わっていく楽しみ、喜びが私を待っています。

それは、必ず250年の間の私にとって大きな支え、そして、力となってくれるでしょう。

決してぶれない自分の方向を、私は日々の私の勉強の中で確認しています。

目に見えない意識達、心に交信してくる意識達に、私は自分の心で伝えています。母の温もりを、ともに帰ろう、帰れる喜びを、

私は私の心の中で伝えています。

私は、この千載一遇のチャンスを逃しませんでした。

私にとって、今世という時は千載一遇のチャンスでした。本当に心からそのように感じながら、私は私の勉強を進めてきました。これからも進めていきます。

今は、何が楽しいって、田池留吉、アルバートを思って、異語で語り合う時間が私にとって本当に喜びの時間です。

その波動に触れ、私の中が反応して、異語で語る。

静かな、そして、ゆったりとした空間の中で私は自由に語る。この時間と空間が私には本当に嬉しい限りです。

「そこには何が必要か。何も必要としない。心に伝わり響いてくるこの世界こそが私の現実。私はこの世界に生きている。」

自問自答の中、繰り返し、繰り返しその検証を重ねられる時を用意していることが幸せです。心に向ける喜び、心を合わす喜び、その喜びを伝えていただいて、本当にありがとうございます。

思えばいい。思うだけでいい。磁場も、反転も、愛も、みんなみんな喜びのエネルギーだと心は知っていました。だから思うだけでいい。思えること、それがすでに喜びでした。

自分に問いかけ、自分に答えを出す。そしてまた問いかける。この問答を繰り返すことによって、私自身の成長があると感じています。

今、私達には肉というものがあるのだから、その身体を通して、磁場のエネルギーであるとか、反転のエネルギー、そして、愛の文字から流れているエネルギーを学ぶことができます。たとえばリングテストもその一例です。

また、それらのエネルギーを体感する、たとえば指先であるとか、手のひらから腕に、あるいは身体全体にジンジン電流が走るような感覚を覚える、そういった体験をされる人も多くいるでしょう。

それらはそれで、目で確かめたり体感したりして、確かにああそうだと実感はあるでしょう。

しかしです。それよりももっと実感できるのは、自分の心で感じることです。

針を向け、ただ一点に合わせていけば響いてくる世界があり、響いてくる波動、エネルギーがあり、これはもう絶対に間違いのない世界だということが感じられます。私は愛ですという思いが心の底から湧き起こってきます。

毎日、毎日、瞑想をして、こんな体験を毎日、毎日重ねていけば、これほど確かなものはないではありませんか。この体験には何も要らないんですから。

自分に響いてくるのだから、そして、それはどこから伝わってくるのかと言えば、絶対に自分の外ではないです。自分の中から、繰り返し、繰り返し伝わってくる、響いてくる、自分の中で証明できる、こんな確かなことはないではないですか。

脱暖衣飽食、脱醉生夢死とは、厳しい規律の中で生活をして学びなさい、つまり修業的なことをしなさいという意味ではもちろんありません。

生活は、ゆったりと、楽しく、満たされていけばいいんです。肉でも何かしら楽しみがなければ、味気ないではないですか。ただ、それのみでは何の意味もない人生です。それこそ味気ない、砂をかむような人生です。

どんなに物資的に、精神的に満たされていようが、またどんなに家庭で、社会で必要とされる立場にあっても、肝心要のものが抜け落ちていては、本当につまらない人生です。

ましてや、することもなく、目的もなく、ただ寝て、食べて、笑って、泣いて、時間がダラダラと過ぎていく人生なんて、どんなに元気で長生きしても決して幸せな人生とは言えないと思います。

たった一つの目標を示していただいているのだから、それに向かって、日々元気よく進んでいきませんか。肉は元気で肉の生活は楽しく、そして、未来も明るい、それは決して絵空事ではないんです。

本当に学ぶ人達と学んでいきたい、この思いは田池留吉氏にも共通するところだと思います。

学びは他力信仰ではないんだから。学びは真の道を、たった一つの真の道を示しているんだから。

だから、真剣に誠実に自分と向き合おう、意識の流れにその一

歩を進めていこうとする人達と学んでいきたいです。

ほんの少しでも、学びに、そして、田池留吉氏に、不信感を感じている人達は、絶対にもともに歩みを進めていくことはできません。

はっきりと申し上げています。

しかし、それは一対一ではなく、このようにしてホームページであるとか、本であるとか、セミナー会場であるとか、多くの人達を対象に示してきたことだから、それは私のことではないと、心に留めずに、ただ言葉を目や耳を通過させている現実だろうと思います。

しかし、それは、あなたが今の肉を置いていけば歴然としてくることです。

肉は学んでいるかもしれませんが、それはどうでしょうか。

今、肉を持っている今のうちに、その検証を自分にしてください。そのためにあなたには時間が残されているんですから。

自分の心で学ぶということ、これ本当に大切なことです。自分の心で学ぶということは、自分に確信が持てるということです。

肉がある今でさえ、心の針を向ける、合わせることに、自分が自分に確信を持てなければ、あとと言わずと知れたことです。

今、あなたの肉があって、そして、田池留吉の肉があって、その田池留吉の肉を通して、色々な機会に色々波動、エネルギーの世界を具体的に示してくれている今という時について、あなたはどのように思っていますか。

ただ嬉しい、ありがたい、不思議だ、それだけですか。
心を見てください。

嬉しい、ありがたい、不思議だ、田池先生はすごい云々と、ただその現象に留まっていたは、本当にもったいないです。

それを自分の心で、自分で実証していく方向に、どうぞ、あなたの歩みを進めてください。

死ねば、当然のことながら、あなたの目も耳もありません。思うということ、そして、何を思うかということ、それだけが残ってきます。

その中で、あなたは、どのようにして、あなたの針を向けていくのでしょうか。合わせていくのでしょうか。

そうですね、特に意識して反転と言わなくても、磁場と思いを向けるだけで、それはもうすでに反転なんです。

なぜならば、本来の反転のエネルギーは磁場から発信されているからです。磁場も反転も喜びのエネルギーだからです。

日々の生活の中で、自分のエネルギーを感じ、そして、同時に思えば、それが磁場と反転。そういうことを繰り返しながら、日々を送っていく、それでいいんだと思います。

そして、身体も快調、心も快調、時間もゆったりと静かな中で、さらに母を思い、愛を思い、宇宙を思い、次元移行を思う。

こんな幸せな肉はないというのが私の感想です。あと何が要るのか、何も要らない。全部整っています。満たされて、満たされて、本当にこんな幸せでいいのかと思うくらいの人生です。

自分の学び方がぶれていると自覚できた人は幸せだと思います。ぶれている人は、人から言われても決して分かりません。

自分で気付いていくしかありません。だから、自分でそうだと思ったら、ためらうことなく認めましょう。なかなか難しいかもしれませんが、難しいからずっとぶれた状態にあったと、ずっと認めてみませんか。

いつまでも、肉を前面に押し出しては、何も得るところはありません。肉を通して学ぶという計画が、計画倒れにならないようにしてください。

そして、そんなところでウロウロしないで、早く正規のルートに乗ってください。修正すべきところはさっさと修正して、もっと大切なところにエネルギーを注いでください。

本当のことを伝えてもらいながら、過去の自分と相変わらず同じことをやり続け、同じところで苦しみ、悩んでいるなんて本当に情けないと思いませんか。

自分に対して情けなくて、自分に対して申し訳なくて、というふうに感じないのでしょうか。

まあ、そういう人達は、そういうことは思えないから、本当のことを伝えてもらっているのに、過去の自分を引きずったままでも平気なのでしょう。

大変もったいないと思います。もったいないというか、やはり

大変残念です。しかし、そういう人達も、いずれ、本当に死に物狂いで自分を改めてくべしという自分からの厳しいメッセージを受け取っていかれるでしょう。

今ある環境の中で、喜びを見つけ、喜びを育てていけばいいだけ。その喜びとはどんな喜びなのか、肉としてのあなたの喜びだけではもちろんないことは言うまでもありません。

数え切れない意識達を抱え持って、今そこに肉があるだけです。遠大な意識の世界の計画を、その肉を通してほんの僅かでも感じられるようになってください。

自分の中のたくさんの自分と手に手を取って、半歩でもいい、正しい方向に歩み出す今世であってください。

確かに肉のあなたは歩んでいこう、いいえ、突き進んでいこうと思い、熱心に学んでいるかのようです。しかし、どうでしょうか。他力の心の根深さをどの程度、認識しておられますか。

現実問題として、それが依然として自分の中に残存しているのではないかを、本当に、何度も、何度も、検証してください。

それは決して少人数ではありません。私は大げさに書いているわけではありません。こんなに熱心に学んでいるのではないか、反発があるかと思いますが、形ではないんです。波動は騙せませんということです。

父がうつ病であったことも、大学受験に失敗したことも、結婚

願望のない私が結婚したことも、そして、それから10年目にして夫が死んだのも、一点を目指していくため、私が打った布石でした。

姑の「嫁は高卒」という言葉に発奮して、資格試験に合格したからこそ、盆と正月、土、日、祭日以外に年間48日の休みをもらって、セミナーにせっせと参加できました。資格試験に合格したことは、私が私の勉強を進めていくについて必要なことでした。そのために、資格を取ったようなものです。だから、姑が言ってくれたことは良かったんです。

もともと、私は、セミナーに参加するにあたって、何の手かせ、足かせもなく、自分の悩みを抱えてのセミナー参加ではありませんでした。

動機は間違っていました、学ぶ態勢を整えて学びの門を叩いたので、学び一本に集中していこうという私の思いが、それもほどなく修正に導いていきました。

その後、父の癌、そして再発とともに、愛犬がやってきたこと、父の死、母との同居、愛犬の死、みんな、みんな私の勉強には必要なことでした。

自分を自分が導いている、少しの狂いもなく、真実の方向へ。学んでいくうちに、このことを強く感じていきました。何一つ不必要なものはありませんでした。このことは、自分の心で感じてきたからこそ、私が私に敷いたレールに難なく乗れたんです。自分で納得しています。

だから、自分の計画通りに事を進めていくことができます。結果、私は私の道が見えています。これからも、こうしていくん

だということを自分に伝えてくるでしょう。

目を閉じて中の目を開いて思う瞑想の時間を、私は大切にしています。喜びで瞑想を続けています。本当に幸せな時間です。

意識の流れを思います。必ず、お母さんありがとうの思いが突き上がってきます。

異語が出ます。涙が出ます。喜びが湧いて出てきます。温もりの中にあることを感じます。ともにあることを感じます。

思うことのすごさ、思える喜び、思えば通じるという確信、一瞬にして通じていくすごさ、ただ目を閉じているだけで、色々なことを伝えてくれます。

これが意識の世界。心の中から響いてくる何とも言えない嬉しい波動。お母さんの波動。田池留吉、アルバートの波動。だから瞑想は喜びです。

意識の世界は、留まることなく限りなく広がっていく世界です。

どんどん自分の心に向けていけばいくほど、喜びが大きくなっていきます。温もりの中にあることが感じられて、ただただ心に向けることが嬉しいです。

自分の心で実証していく道だから、誤魔化すことはできません。

また、自分の心で実証していくことだから、信じて、信じて、信じ切ることができます。信じるのが嬉しいとなってきます。

信じることって、こんなことだったんだと、私に伝わってくる喜びがあります。

私は愛なんだと、はっきりと告げてくる私と出会っている、そして、私にはまだこの今の肉を持つ時間が残されている、私の勉強をさらに押し上げていくように設定しています。

心に向ける、合わすというエネルギーのすごさを、私は私の中で学んでまいります。

本当のことを知るには、本当に何も要らなかった。

全部自分の中に取りました。喜び、温もり、幸せ、広がる心、全部、全部私自身でした。

そのことを真実の世界から、田池留吉という肉を使って伝えにきてくれたのが今世。

そして、今世、こうして肉を持ち、ともに学んでまいりました。これからもともに学んでまいります。真実の世界とともに、喜び、幸せの本来の私自身とともに学んでまいります。

自分の中に自分を本来の自分に導き、本来の自分を復活させる大いなるパワーがあったこと、田池留吉をふと思えば、私の心に一直線に届きます。

何か、ここ最近の私の勉強の様子が変わったように感じています。

嬉しいことです。それだけ私の状態がアップしたということです。

さらに私は私の勉強を推し進めていきます。

田池留吉を思うと、何か心の中からどんどんエネルギーが湧いて出てきます。

それは、以前にセミナー会場の闇出し現象でのエネルギーの湧き方とはまた違ってしています。

あの当時は、ただただ田池留吉憎し、田池留吉殺してやるという凄まじいエネルギーが中心で、そのエネルギーこそが愛に目覚めていくことを伝えてくれているんだということを、自分の中で学ばせていただいたのですが、今、私が田池留吉と思えば、それとは様相が違ってしています。

どこがどう違うということは、事細かに説明できないし、またする必要もありませんが、一言で言えば、やはり次元移行へ向けて、そして、次元移行を果たしたあと、そういうことへのさらなる確信を深めていっているように思います。

いつまでも、田池留吉憎し、田池留吉殺してやるでは、何の成長もないけれど、その自分の培ってきた意識の世界を存分に楽しみ、堪能し、そして、納得してきたからこそ、250年後の来世の出会いに繋ぎ、そして、次元移行へ一直線、その道筋を自分の中で確認できたんだと感じています。

田池留吉氏自身、自分で語っているように、私の中がどんどん変わっていつている、それに引き連れて私もどんどん変化しているような、そんな感じがします。

思いを向けるということで、12項目ありました。

その中で1項目だけ、他の項目と趣が違ふと感じましたので、田池留吉、アルバートに聞きました。

納得しました。ありがとうございました。

他の項目については、日頃の私の勉強の中で活用させていただきます。

私は私の勉強をするために生まれてきたんだとはっきりと感じています。そして、その方向に着実な歩みを進めていることを確認しています。

思えば思うほど、幸せが見えてきます。喜びが感じられます。何の変哲もないこの肉が本当にありがたいと思っています。

瞑想の喜び、瞑想の幸せ、たっぷりと学ばせていただいています。本当に今世の時間をありがとうございます。

思えば幸せ。思えば喜び。肉の心の揺らぎなど何ということもありません。

意識の世界の確立、きちんとした樹立により、私自身、ぶれることもなければ、何もないし、少々心の揺れが大勢に影響することはあり得ないことです。

数学が嫌いで、サイン、コサイン、タンジェントは苦手でも、 $1 + 2 = 3$ の算式の世界が私の本来の世界なんだということだけは分かっているので、それでよかったと思っています。

要はつまらない知識など何の役にも立たない。

つまらない知識をいっぱい詰め込んで、肝心なものが抜けてい

る人生から脱却できてよかったと思っています。

耳寄りな話を聞かせていただきました。

今月24日にもスカイプ瞑想会を予定されていますが、その瞑想会を6月頃には月2回で進めていくとか。

それまでに、各地域で自主的に学びの友と勉強する機会を持たれて、どうぞ、UTAブックさん主催のスカイプ瞑想会に参加のご希望を出していただければと思います。

学ぶということについては、基本的には、自分と自分の中で学ぶということです。ただ、中には、自分一人で学んでいくことに対して、まだまだ自信がない、確信が持てないとか、自分一人ではどうも肉に流されてしまうとか、まあ色々それぞれにご事情があるようですから、学びの友が側にいるならば、その人達と協力し合って学んでいけばいいと思います。

そして、その集まりは、互いに学びについての理解を深めて、それぞれが自己確立の道を樹立できる方向に進めていけるような集まりであってください。

スカイプ瞑想会が、その一助になればいいのではないのでしょうか。

また、近くに学びの友がいなくて、ご自宅で、お一人で学んでいくしかないという方達も、スカイプ瞑想会をお役立てください。

歩みは遅くとも、その方向を違わずに行くことだけを心掛けていきましょう。スカイプ瞑想会を、どうぞ、ご活用ください。ともに瞑想をさせていただいて、お勉強させていただきたいと思っ

ています。

愛はあなたが流そうと思って、流せるものではありません。

流していく人になっていこうと、あなたがどんなに力み頑張ったところで、それは所詮肉の愛でしかありません。宗教です。

そうではなく、あなたはあなたの心の針の向け先をただただ確認していただけなんです。

心の針を、本当に田池留吉の磁場に合わせていけるようになればいいんです。

田池留吉の磁場に、心の針を向ける、合わせる、それが限りなく中心を指していけばいくほどに、意識の世界は本当に変わってきます。

針がこびりついて動かない人は、まずそれを動かせるようになること。

また、微々たる動きしかないのに、大きく動いていると思ってしまう心癖を自分の中で確認すること。

12項目、そして10項目の課題も提供されています。

自分の状態を粉飾しても空しいだけ。現状把握に努めましょう。

UTAナビは、常に更新、更新です。常に新しいナビをご用意ください。ナビゲーターは、絶えず進化しています。どうか留まることのないように。

最新のナビで快適な旅行をしましょう。ナビは中古ではいけま

せん。いつも新しいものを。

私は、私の心で感じ広げているこの世界とともに真っ直ぐに行くだけです。真っ直ぐに行く意識達と共鳴し合いながら。

もちろん、それは、肉のあるなしに関わらず、です。私は私の勉強を推し進めていだけです。

私の中にあるのは、250年、300年かけて遂行されていく次元移行という意識の流れの計画。そして、その達成後。

次元を超えてやってきた私は、この次元へ自分を進め、さらに、次の次元へということです。

田池留吉、アルバートの意識とともに、「いつも、いつまでもいっしょで」、そのメッセージは確かに受け取りました。

意識を進化させていく、進化させていけるように私は私の勉強を推し進めてまいります。もちろん、宇宙とともに。

瞑想をして向ければ、こんな感じで私の中に届くメッセージ。私は、だから、ただただ嬉しいだけ。道が見える。私が見える。向けて思うということはすごいことです。

あなたがこれだと思う人、世に言う宗教家等々、立派な本を書いてきた人、立派なことをおっしゃっている人、その人に意識を向けて聞いてみればいいんです。

あなたは自分をどのように思っていますかと。そして、あなたのお母さんをどのように思ってきましたかと。

波動云々を取り上げるまでもないことでしょう。それでも心から離すことができないのはどうしてなのでしょう。

確かに学びはすごいです。すごいというよりもこれしかないことが分かってきます。心に伝わってくる波動の世界が、肉の心ではなくて、本当にあなたの意識の世界がとらえていったならば、そうなんです。

それを、長年、セミナーは開催され、ホームページは開かれ、また本は出版され、草書体の愛が出現して、これでもまだ正規のルートに乗れないということは、いったいどういうことなのでしょう。

私は、はっきりと申し上げて、たった一人でも学んでいけるんです。田池留吉の磁場、田池留吉の世界、アルバートの磁場、アルバートの世界、私は私の中で思いを向ければ、自分の中で学んでいくことができます。

250年、300年、それ以降を見つめて私は私の勉強を推し進めています。

その一方で、縁あって、こうしてともに学ばせていただいているのだから、今世、学びに繋がった人達、一人でも多くの方達と250年後に出会いたいという思いがあります。

そして、その思いを感じながら、私の中から伝わってくる思い、響いてくる思いは、意識の流れです。宇宙とともに意識の流れが遂行されていくそのことだけです。だから、私は瞑想を重ねます。心の針を合わせます。それが私の喜びだからです。

私のナビは、いつも点検、そして更新。それをこれからもずっと心掛けていきます。

田池留吉より先に死ぬことは、最大の親不幸だと私は思っています。

肉があっても学ぶ、肉がなくても学ぶ、その楽しみを私に用意しました。

意識の世界で交信する喜びを味わいながら、私に残された肉の時間を活用していきます。

田池留吉の磁場に心の針を向けて合わせていけば、滞りなく今世の肉の時間を通過していけます。現象界が騒がしくても、私の中は静かで、そして、着実に計画を達成していくでしょう。

梅一輪 一輪ほどの暖かさということで、今朝も先週に引き続き梅林に行ってきました。ジョギングする人、ウォーキングする人、犬の散歩、猫の散歩、カラスがカーカー、スズメはチョンチョン、水鳥の散歩、みんな楽しんでいるようでした。スイセンもツバキも色取りを添えてくれました。

いよいよ弥生三月、本格的な春の訪れ。もう少しすれば桃園にも足を延ばそうかと思ひながら、ひとときを私達も楽しんできました。

こんなたわいもないことが、何か幸せのひとつだと思えるようになりました。

ゆったりと静かに自分を見つめる。またその時間と空間を今日も用意していると思えば、やはり嬉しいです。心の中に戻って感

じる時間と空間。

外のような風景もよし。そして、自分の中の風景もさらによし。今という時を、楽しみながら、ありがたいの思いとともに私の中の意識達と出会っていきます。

自由に伸び伸びと心の針を合わせていける喜びと幸せは、厳しいメッセージを送ってくれます。しかし、それがとてもありがたいです。本当のことを言ってくれるから、それこそが本当の優しさ、愛、温もりなんだと感じています。

学ぶ環境は誰しも、平等、公平、一分の狂いもなく整っています。

それを自分のものにするか、きちんと正しい方向でそれを活用できるかどうか、それはそれぞれの力量です。用意されたものが全く同じであっても、出てくる結果は同じだとは決して言えません。それを同じくしろと言うのは、まさしく他力、欲でしかありません。

結局、自分を信じる信の度合いにより、人生は大きく隔たっていきます。

人生が大きく隔たっていくということは、意識の世界ももちろん大きく隔たっていきます。一つに溶け合うことは難しい状態です。

意識の流れを本当に心で感じているか、自分はどこから来てどこへ行くのか、その行く先は明るいか、それもまばゆいほどの明るさなのか、それとも暗いのか、どこまでも真っ暗闇なのか、全部、全部、今の自分が知っています。

自分を見つめて、自分を感じてください。あるのは自分の世界だけです。

あなたの世界に、田池留吉の磁場はありますか。田池留吉の宇宙はありますか。本当はあるんです。しかし、ないような状態にしたのは他ならないあなたです。それに気付いてください、それに気付いて、そんな自分を受け入れてくださいと、今、繰り返しメッセージが送られています。それが今世の学びでした。こんな幸せな環境に置かれていながら、殆ど成長がないということは、どういうことなのでしょうか。

私は、伊達や酔狂で、汗と涙まみれになって、セミナー会場を駆け回ったわけでも、走り回り、暴れ回ったわけでもありません。自分がエネルギーであり、それも凄まじいエネルギーを培ってきたことを、自らの肉体を通して自分に知らしめるために、体力の続く限り、学ばせていただきました。

それは私にとっては大きな財産です。かけがえのない宝物です。すごい学びをさせていただいたんです。なりふり構わず学ばせていただきました。

当時、自分の中を掘っても、掘っても、プラスのエネルギーに突き当たることなんて、とても、とても、でした。出てくるものは、田池を殺すという、ただそれのみでした。あなたは温もりです、あなたは喜びですなんてことは、頭を通過させるだけで、なかなか信じることなんかできませんでした。

だからよかったんです。徹底的に歯向かってきました。徹底的

に抵抗してきました。腹立たしくて、腹立たしくて、仕方がなかったんです。姿を見るたび、声を聞くたび、突き上がってくる思いは、お前を殺す、消え失せろという思いだけでした。

徹底的に出ささせていただきました。徹底的に、です。だから私には分かるんです。徹底的に自分と対峙することがなければ、母の温もりに出会うことは難しいことが。すべてが中途半端に終わってしまうことが。

しかし、一度、それに出会うと、あと、どんなに自分の中のブラックが凄まじくても、もう大丈夫なんです。今度は局面が違って来るんです。ブラックのエネルギーを感じていけばいくほどに、温もりが広がっていく、喜びが大きくなっていくことがはっきりと分かります。それは一朝一夕にはできないけれど、本当に自分の中の温もりと喜びに出会っていけば、それが逆戻りすることなんて絶対にあり得ないんです。

だから、中心棒がしっかりと育っています。それが私のナビです。これからの時間、さらにそれを育てていく喜びだけがあるんです。常に点検、そして更新。それが私の進化と成長です。

そして、今、はっきりと言えることは、私は今世の結果を自分の中で途切れることなく引き継いでいけるということ。私は意識の流れの中にあるからです。

Aが、田池留吉の磁場、愛と思う。Bも、また田池留吉の磁場、愛と思う。

しかし、針の向け先が肝心です。針を自分の外に向けて、田池

留吉の磁場、愛と思っているのか、それとも自分の中か。

また、針を自分の中に向けて、田池留吉の磁場、愛と思っても、その自分の中にまだ歴然として他力の世界があったとしたならば、それは田池留吉の磁場、愛とは似て非なるもの。

形は同じです。AもBも目を閉じて思っています。瞑想をしています。当然、心に伝わってくるものがあります。

あなたはどれに当てはまりますか。

中には、田池留吉の磁場、磁場、愛、愛としゃかりきになっている場合もあるでしょう。これでどうだ、向いているか、合っているか、そんなことばかりに汲々として、段々に的外れな状態になってしまっている場合もあるかもしれません。

そういう意味で、思うということは、単純だけれど単純ではありません。何億年も間違った方向を向いてきたのだから、それも仕方がないと言えばそうかもしれません。

苦しみは愛。学びの最初のほうでそんな言葉を学びました。

そんなはずはない。苦しみは苦しみ。苦しみなき人生のほうが幸せに決まっている。苦しみは愛などと言うのは安っぽい宗教だ。偽善だ。そんな思いを出していたと思います。

今は、苦しみは愛というのは、その通りだと確信します。いいえ、もともと苦しみなんて存在しなかったんです。言えばマイナスなどもともと存在しない。それは私達が、全く違う方向を向いて私達が自分勝手に作り上げたものでした。それが幸せになることだ、喜びを知ることだと、無知とエゴの欲だけで作り上げてき

た分厚くてそびえ立っている城壁でした。

どんどんマイナスのエネルギーを増産して、分厚く高く城壁を作っていくことだけをやってきたのでした。

積み上げていくものが違っていました。しかし、たとえ、積み上げてきたものを崩して、分厚いそびえ立つ城壁が無くなったとしても、まだその土台が残っています。

崩れるというのは、土台諸とも崩れていかない限り意味がありません。

表面上は崩れていても、しっかりとある土台。岩盤。自分の中の愛のエネルギーでそれを突破していくこと、そうすれば明るい未来は開けてきます。

余計なおせっかいであり、私にはどうでもいいことだけど、一応聞いてください。

大宝のほうへ住まいを移して学ぼうとされる方、たとえば一時的にとかなんな安易な考えは止めたほうがいいです。

心を見ましたか。ひたすら学んでいく、いきたい、本当にそうでしょうか。ありのままのあなたの思いを見てください。そして、その心で学びを正しい方向に進めていくことができるか、あなたに問うてください。

大宝へ行けば学んでいけると思うあなたのその欲ったれの心を存分に感じてみてください。

形の上からは、学びの仲間が近くにいる、勉強会もあるようだ、そこには一住民の田池先生も来られるということでしょうが、だ

からどうなのでしょう。

そんなことで学びの一步が進めると思うならば、本当にあなたは脳天気です。意識の世界はそんなに甘いものではありません。

そんな堅苦しいことは言うなという声が聞こえてきます。今世は千載一遇のチャンスなんでしょう。だから可能ならば、どんなことをしても、きちんと最大限に学べる環境にありたいんです。その環境の中で私は精一杯学びますと。

私はそんな思いをいくら聞いても、それは違うと感じます。ずれていると感じます。どこがどう違うのか、本当にずれているのか、針をきちんと合わせていけば簡単に分かることです。

形の上からは、勉強するにあたって好条件だと映るかもしれませんが、自分の心を見ない限り、自分の作ってきたエネルギーを本当に自分の中で確認しない限り、一步も進めません。心の針を正しい方向に向けて合わせていくのはあなたです。大宝に移り住んで学ぶ態勢にあるからといって、それが可能になる訳では決してありません。絶対にありません。単純にそう思っておられるならば、それこそ他力そのものです。

一步前に進みたいんです、本当に学びたいんです、だから・・・と続いていくのかもしれませんが、その最初の第一歩が違っている、ずれているとお分かりでしょうか。最初の第一歩が違い、ずれていれば、あとは全部ずれてきます。実際は期待通りの成果は上げられないという結果になるでしょう。そもそも、期待すること自体違っているんですから。

自分の心を見させてください、確認させてください、田池留吉、アルバートの波動を感じさせてください、ください、ください、

くださいと、いつまでそんなことばかりに終始するのでしょうか。

本当に余計なおせっかいです。しかし、私の心に伝わってくる思いをそのまま文字にしてみました。

日々、思いを向ける喜びと大切さを確認しながら過ごしています。思える幸せが心に響いてきます。思うことの大切さ、何を思うか、それが最も大切なことでした。針を向ける喜び、針を合わす喜び、そのエネルギーが仕事をしていくんだと確認できる日々です。そんな時間を重ねていくことが次元移行へ繋がっているんだ、私の中にはそのように伝わってきます。私は私のこの思いを信じて、そして益々私の勉強をしていきます。ともに帰ることを伝えます。

瞑想は大切です。何よりも大切です。ゆったりとした時間と空間の中で、ゆったりと、しかし、心の針はしっかりと向け合わせていくことは肉を持ってする最大唯一の大切な仕事です。

ただし、肉の生活の中においても、それぞれの役割分担があります。肉の生活がきちんと整えられていることもまた、正しい瞑想をしている一つの証明になるかと思います。

ずっと昔、聞いたことがあります。家庭の主婦が家事をいい加減にして、田池留吉、田池留吉と呼んで、瞑想か何かしていると。

そんな瞑想はしてはいけないと思います。そんな瞑想をしても、心が向いている先は、所詮、闇です。自分が作ってきた他力の世

界です。

だから、一向にその人の周囲は整ってきません。

それが自己流の学びということでしょう。我流はいけません。何の効果もありません。しかし、瞑想をしていけば、何かしら心に響いてくることはあるでしょう。それが果たして、田池留吉の磁場、田池留吉、アルバートの世界なのかは分かりません。

しかし、それが分かる方法が一つだけあります。自分の心を真っ直ぐに包み隠さずにゲタをはかさずに見る、知ることです。

自分に絶対に嘘はつけない、自分がみんな知っていることは、みんな知っています。その自分に素直になることです。それが田池留吉、アルバートの波動、真実の世界を知っていく一番の早道です。自分に素直でない人、どこまでも肉を出してくる人、どんなに何を感じても、それは真実の世界からは、ノーの答えしか返ってこないでしょう。だから、肉でも幸せになれません。簡単なことです。初めに意識ありき、その通りです。

セミナーの闇出し現象。ああ、本当に懐かしいしありがたかったです。

あの当時が、まさにセミナー全盛期でした。あの当時のセミナーの頃を思い出しては、懐かしさとありがたさと幸せを感じています。すごい、すごかった、よくあんなことができたなあ、やらせてもらえたなあとつくづく思います。

朝からセミナー、昼からセミナー、夕食後もセミナー、その殆どが闇出し現象だったあの当時。汗と涙でずくずくになりながら、

着替えもたくさん持っていったと、この身体全体で繰り返し、繰り返し、自分のエネルギーを知っていったあの当時。

あの体験、あの勉強があったから、今は今で私の勉強を推し進めていくことができます。私には必要なことでした。すべては意識の流れの中での計画だと私自身は理解しています。それを経て、私は、今、瞑想を重ね、自分の学びをしています。

当時には、まだセミナーに参加していなかった人達もいます。残念ではありますが、それもまたそれぞれが決めてきたことです。その人達は、今提供されているもので、学んでいけるといことなのでしょう。

要は、自分の中のエネルギーを知っていくことに徹していくことです。それには、絶対に母の温もりが欠かせないです。母の温もりは学びの基本です。母の温もりを確立させていくこと、そして、草書体の愛のほうに心を向ける、田池留吉を思う、そうすれば、どんどんどん、自分の中から闇が噴き出してくるでしょう。

田池留吉は愛のエネルギーを伝えてくれていた。愛のエネルギーで気付きを、そして、促しを伝えてくれていました。

私は闘いのエネルギーで、それを押し返そうとしていました。

田池留吉は愛のエネルギーの中に包まれていると伝えてくれていました。

私は、その中に吸収されていくことを徹底的に拒否していました。

その綱引きを私は、長い間やってきました。

田池留吉は綱引きに参加していなかったのに、それさえも私には分かりませんでした。自分で引っ張って、自分で押し戻して、全くの一人相撲。

滑稽だけど、今は懐かしい思いで、自分を振り返ることができます。

もう今は、私にも綱引きはありません。

しかし、本当に長かったです。長い、長い時を経て、ようやく、ようやく、今世を迎えられたことをしみじみ思っています。

梅の花は今が満開。桃はまだ。桜もこれから。

黄砂、花粉、p m 2.5等々、形あるものもどンドン飛来してきます。そして、目に見えない宇宙からの思いもどンドン飛来してきます。

しかし、私の中は変わらず、です。

穏やかな時間の中で、自分を振り返り、そして自分を見つめ、自分に用意した予定のコースを淡々と、着実に歩いていける幸せを感じています。

「母なる宇宙とともに」も、おかげさまで校了となりました。本が出来上がってくる前に、図書館への寄贈にご協力していただき、本当にありがとうございました。

ご協力いただいた方達とともに、学びの時間を持たせていただきたいとU T Aブックさんのほうにお願いをしてみようかとも思いましたが、諸般の事情により残念ながら今回は見送りさせていただきました。

ともに学べ、ともに心に向けていく時間と空間を共有して、そして、それぞれの予定している道に沿って少しでも歩み出させていけたらと思ったのですが……。

道は一本道です。その軌道に一日でも早く乗って、快調に歩みを進めていけることに尽きると思います。

それぞれ、次の転生、そのまた次の転生へと計画があると思います。なぜ肉を持つのか、自分に用意するのか、真の意味をどうぞ、心で受け止めて、喜んで、喜んで、天変地異に遭遇してください。

宇宙は、これから喜びのうねりをさらに大きくしていきます。

大きな愛のエネルギーが作用していきます。すべての意識達に伝えるために、今、大きな変わり目の時を迎えています。

肉から脱却、意識の転回ですね。現象界を通して、そのメッセージだけが怒涛のように押し寄せていきます。

スカイプ瞑想会について。

どうぞ、一時間の学びの時間を有効にご活用ください。

中身の濃い、密度の高い瞑想会にしていきましょう。設定にあたり、いくつかの課題があると思います。どうぞ、それをスムーズにクリアして、学ぶ環境を整えてください。そして、用意された時間を有効に使いましょう。進行係を選んでおくのもいいかも。

スクリーンを通してのお勉強で、直接的ではありませんが、学びの指針に沿って学び、ご自宅ですっきりと瞑想を重ねて参加されれば、きっとそれぞれのお勉強に役立っていけるとと思います。

さらに、その地域、地域での自主的な勉強会の中で出てきた

課題について、今回はこのポイントについてみんなで学ぼうとか、地域ごとの学びをより良い方向に推進していただけるように、スカイプ瞑想会をご活用ください。

瞑想は、正しい瞑想ができることが最も肝要です。地域ごとの勉強会だけでは、その方向がずれていく可能性はまだまだ高いというのが現状だと思います。もしかすると、それ以前の段階かもしれませんが、少しでもともに瞑想をする時間をとりたいと思います。

スカイプ瞑想会を定期的を開催することで、本当に学んでいこうと少しでもいいからその思いを高めていただきたい、私はそのように思っています。

学びは、その時、その時の段階を経て成長していったと思います。

学びのどの段階で参加されたか、それは個々において、大きなポイントになるかと思っています。しかし、どの段階であっても、つまり、たとえ、学びの態勢が十分に整っていない、未成熟であっても、心を見ること、母の温もりを知ること、その中で自分を供養していくこと、肉から意識へという学びの中心は何も変わりません。変わるはずはありません。

もちろん、田池留吉氏も、セミナーを重ねていくごとに、田池留吉の意識の世界、つまり内なる田池留吉の世界がどんどんどんどん分かっていかれたと思います。だからともに学んでいきましょうと私達に呼びかけてくれているんです。

私は自らの二十年に及ぶ学びを振り返り、私にとっては、闇出し現象の当時がセミナー全盛期だという認識は確かにあります。

しかし、セミナーの成長、学びの成長ということになれば、ここ5、6年前、いいえ、もっと狭めれば2、3年前辺りから安定飛行に入ったということになるのではないのでしょうか。

だから、その頃に学びを知った人達は、成熟した学びの中で学び始めた人達ということになりますから、ある意味幸せだと私は思っています。

学びのことについて、人に聞くなら自分に聞いてください。その姿勢で学びに臨んでください。なぜあなたは安易に人に聞くのですか。

あなたが知りたいことすべて、本に、ホームページに、すべて載っています。そこから読み取れない、感じ取れないのはあなたの勉強不足だと思ってください。

特に口数の多い人には要注意です。

そんな人に、学びのことについて、色々聞いていくことはやめたほうがいいです。まさに百害あって一利なしと言っても言い過ぎではないでしょう。

聞く人は自分の心を見ればいいんです。なぜその人に聞くのか。

またそれに答える人はもちろん自分の心を見れば、講釈をたれ、己を表していることは、自分の心に響いているはずですが、べらべらとしゃべる人は、自分の出すエネルギーをおしゃべりで誤魔化していくか、かき消してしまうんです。

どちらにしても、そういうことをしては、双方ともに沈没したまま。良い方向には行きません。沈没した状態の中で、我流

の学びを続けているだけです。自己満足の域を超えない。

我流の学び。肉基盤の学び。全く田池留吉、アルバートの波動の世界とは次元が違います。しかし、肉基盤では、悲しいかな、それが分かりません。にもかかわらず、私は学んでいますというのだから、それは仕方がないことです。自ら気付くまで仕方がないことです。

今日も軽快に異語が飛び出て、私の瞑想は始まります。宇宙へ思いを向けて軽快に異語を交わす。何の不安もない。何の心配もない。ただ嬉しいだけ。この道の確かさを伝え合っています。異語が喜びで出てきます。

もちろん、田池留吉、アルバートは語ります。

「私達は一つ。一つの中にあります。ともに、ともに、参りましょう。喜んで、喜んで宇宙に心を向けていきましょう。」

概ねいつもこんな具合です。次元を超えていくこと、愛のエネルギーを流していくこと、愛のエネルギーは喜びで宇宙へ流れ出していること、そういったことを告げてくれます。はっきりと伝えてくれます。

告げてくれる、伝えてくれるという表現しかできないけれど、それはもちろん、私の外からということではありません。私の中で、そういった交信があるということです。

別に目を閉じてそういう時間を持たなくても、たとえば道を歩いている時、何かをしている時、私の中に異語のリズムを感じています。ああ、ともにある、いつもともにあるんだ、そんな感覚

の中で、肉の私ももちろん嬉しくなります。

私は学びのことについては、人に聞くことは絶対にしません。私の中の田池留吉、アルバート、つまり本当の私自身に聞いていけば答えてくれるんですから。

もちろん、田池留吉氏にも、数々のアドバイスをいただきました。しかし、それを本当に自分のものというか、糧にしていくかは、ひとえに私自身にかかっているということ、しっかりと持ちながら、話を聞かせていただけてきました。

今は殆どそういうことはありません。昔が懐かしいです。だけど、それはある意味、私の成長としてとらえてくれているんだと感じているから、今は本当に吉本感覚でお付き合いをさせていただいています。

私は、日々、自分の中に針を合わせて、田池留吉、アルバートの波動と出会う喜びと幸せを感じています。次元移行を感じていく喜びを味わっています。

肉の生活には大満足。肉の次元でもありがたいです。

「磁場と反転 その人田池留吉Ⅲ」他二冊を収納したブックカバー、U T Aの輪の小冊子、タオル、それからセラミックのお皿、それらを入れたバッグ。しっかりと使っていきましょう。

タオル、お皿、それから前にいただいたコースターとか、ボールペン、それらを毎日の生活の中で使いながら、絶えず愛に、そして田池留吉の磁場に心の針を向けるように、向けるように心掛けてください。

見て、触れて、いつも、いつも思うことを忘れないでください。
もちろん、ゆったりと静かな時間の中で、ゆったりと心に向けていく瞑想は、日々継続することです。

ホームページは毎日開くこと。また、本も時には読み返してください。磁場と反転の音訳のほうも、瞑想にはきっと役立てていただけると思っています。

そうした日々を送る中において、スカイプ瞑想会もあるし、もうすぐ「母なる宇宙とともに」の本も出来上がってきます。愛についての体験談も募集されているし、田池留吉、アルバートのメッセージを受けることもやると、どんどん自宅学習を進めてください。

そして、5月、セミナー会場とともに学んでいきましょう。

磁場と反転は実践です。磁場に向ける瞑想と反転の励行。母の温もりを本当に知っていけば、反転力は高まっていきます。思えることが喜びとなってきます。

反転のエネルギーは喜び、優しさ、温もり。そびえ立ったところから反転と号令をかけていませんか。

母の温もりを本当に心で感じていますか。

あなたにとって母の温もりとはどんな世界ですか。

あなたはご自分を無条件に受け入れてくれていたということを手で感じてきましたか。

私は、母の意識（温もり）に対して徹底的に歯向かってきた自分を感じてきました。死ね、死ね、死ね、の思いが永遠に続くかと思うくらい、死ね、の思いを吐き出してきました。そして、徹底的に歯向かう自分を感じていけばいくほど、そして死ね、の思いを吐き出していけばいくほど、私は本来の私に蘇っていきました。それは私の中の現実です。実体験です。

なぜ私は狂うことなくそうできたのだろうかと考えることがあります。私自身、まず思い当たるのは、私がセミナーに初めて参加してから一年後に行ったアメリカでのセミナーの現象です。

あの時、私は、チャネリングを受けたあと、田池留吉のほうに意識を向けさせていただきました。その時、私はまだ何にも分からない状態でしたが、自分の心に響いてくるものが、本当に懐かしい思いでした。

ああ、この思い、私は知っている、知っている、ああ、懐かしいなあ、とっても懐かしいというものでした。

あの時、心に伝わり広がっていった世界が、その後の私の学びをずっと支えてくれていたんだという気がします。だから、その後、心が敏感になって、どんなに凄まじいエネルギーを、肉体を通して出しても、そのエネルギーに翻弄されることなく、今の言葉で言えば、反転していく喜びだけが心に響き渡ってくるという良い循環を自分の中に作っていくことができたと思っています。

の時、素直に、欲得なく、田池留吉のほうに意識を向けたことが、今の私に繋がっている、私はそう感じています。一度感じて、もうそれで意識の私は万事よかったんだということだと思えます。それほど懐かしかったんだって。あの時、遠い、遠い自分

に触れたんです。意識の世界ってすごいなあとつくづく思います。

目を開けて生活していると、肉の愚かさは随所に感じますが、そんなものは私の中では吹けば飛ぶようなものです。深刻に私を悩ませ狂わせることはありません。心で感じる、心に感じる、それはとても大切なことです。

田池留吉が言いました。

「私が死んで、皆さんがそれぞれに、私が死んだと知ってから、大体1時間後くらいに、私は皆さんにメッセージを送ります。」

私は、そのことについて、今日、瞑想をする中で色々勉強させていただきました。

そのことは、私の中で納得した回答がありました。

さらに、それを含む私自身のこれからも、田池留吉の意識は語ってきました。

私自身のこれからというのは、私が、これからどのように学んでいくかということについてですが、それを、割合具体的に語ってくれました。

聞いていて、このメッセージ通りに、事は遂行していきましょうという思いはあります。楽しみながら意識の世界をさらに学んでいこうと思います。

田池留吉が予告したことを、私は私の中でこれから証明していく、それを楽しみながら、私は私の道を進んでいきます。

私は愛、あなたも愛。 U T Aの輪より

私は、自分の中の愛とともに、これから250年、300年、
いいえ永遠にこの道を歩み続けます。

私の中から愛が語ってきます。

どうぞ、しっかりと心を見てください。あなたの中のエネルギーはすべて愛、母なる宇宙へ帰る途上にあります。

私は愛、あなたも愛。あなたの中から喜びのエネルギーをどんどん発信させてください。

今世、田池留吉の肉を通して、愛を伝えました。本当の波動の世界を伝えました。私は愛、あなたも愛。このメッセージのもと、愛が心から語ります。どうぞ、その波動の世界を心で受けてください。

日々の瞑想の時間を通して、あなたの心で受け止めてください。

そして受けた波動は、そのまま、そのまま、全宇宙へ発信してください。

250年、300年の時間は、地球人類にとってはもちろん、全宇宙にとって、とても大切な時間です。

愛に向けて突進。すべてを愛に向けて突進。ともにこの道を。

私は全宇宙に向けて、いいえ、全宇宙とともに歩んでいきます。突き進んでいきます。

地球人類は、全く道を間違えてきました。全く道を間違えているのに、まだそのことに気付かずにいるのです。

そうでしたとあなたの心に感じる場所があるならば、どうぞ、まずあなたの心の中を、しっかりと愛に向けていけるようなあなたに一日も早く復活してください。

目指すは一点だけ。一点です。一点、分かりますか。分かりますね。

私はいつも、いつも田池留吉、アルバートの意識の世界とともにあることを感じながら、私は愛、あなたは愛のこのメッセージを味わっていきます。

いつも、いつもともにある喜び。それは、生きても死んでも同じ。いつも、いつも針を向ける、合わせる。それだけ。

いざないはすべての意識達に。しかし、ともに行くかどうかは自己選択。

U T Aの輪は形ではありません。あの人、この人、そんなちっぽけな世界のことをいっているではありません。

心に向けて心で感じてくだされば分かります。

U T Aの輪に思いを向けてくる意識達に、私は心で応えています。

それは現時点で肉を持っているかどうかは全く関係がありません。

ただ、ともに行きましょうと思いを向けています。それが私の喜びだからです。

どうぞ、あなたの中の愛に心に向けて瞑想を続けてください。

「私は愛。愛は私の中にありました。」

そのように、絶えずあなたがあなたに伝えていることを信じていけるような瞑想ができるように。

田池留吉の肉を通して愛を伝えてくれたこと、この真実というか喜びを本当に心で感じるができるならば、どんなに自分達は幸せな存在なのか、はっきりと分かります。

その一方で、田池留吉の肉という言葉、そして愛という言葉、この二つの言葉を、肉基盤の心で聞いてしまえば、それは私が本当にお伝えしたい方向とは、全く違う方向だから、田池留吉氏の肉をつかんでしまうし、だから、針が中に向けられない、自分を本当に信じることができない、という結果になって、苦しい時の神頼み的な学びから脱却できません。

つまり、自己確立の道は程遠いということになります。

ということはどういうことでしょうか。

それは、U T Aの輪のいざないに伝えていくことができないということになります。

U T Aの輪は全開状態で、その中に入っていくことはできるけれど、その輪にぶら下がることはできないことを知ってください。

いざないに伝えるとは、自らの足で歩みを進めていくということです。

一に瞑想、二に瞑想です。瞑想なくして何も始まりません。

瞑想を重ねていけば、誰でもがそう思うでしょう。

私は、瞑想が嬉しくて、楽しくて、仕方ありません。瞑想は

愛です。愛だから本当の温もりを伝えてくれます。温もりの中にある喜びが広がっていくから、瞑想が嬉しくて、楽しいということになります。

思って、思って、思いを向ける喜びを感じています。思うことはすごいことだなあと感じながら、瞑想を続けています。

異語で、30分、40分、語ることもざらです。その時間がたまらなく幸せなんです。

私と私の中で語る異語。心の針はピッと真っ直ぐに。そして、波動を感じて異語で語り合う。通じ合う喜びを感じ、幸せな時間です。

感度の良い、愛のエネルギーを受信しやすい心に成長していきましょう。

それにはどうすればいいのでしょうか。

心を閉ざした状態では無理ですね。心を開いていくんです。心の中に詰まっているものをどんどん出して、心を、軽く、軽くしていくんです。

それには何が必要でしょうか。心を開いていくエネルギーとはどんなエネルギーでしょうか。

そういうことを自ら知るために、それぞれの肉を用意してきたのではないですか。

自分の中にある受信機をまず見つけて、それから、それをきちんと使えるように整備して、そして、さらにその受信機に付加価値をつけていく、つまり、性能を高めていけば、受信機が送信機

になっていきます。

受信、送信を繰り返し、それが一つとなっていく、送受信機となっていけば、OKです。

周波数が合わない、雑音ばかり。他局はよく聞こえるのに。なぜそうなのか。それを解明していくのがそれぞれです。

意識の流れは、こうしている間も間断なく流れています。

すべての意識達に愛のエネルギーを送り続けています。

目を閉じて、思ってみてください。思える喜びと幸せを堪能できる今でしょうか。

「今、本当に喜びの時です。こうして、肉を持って本当のこと、真実の道を知る今、心に響いてくるのは、私は幸せです。お母さん、ありがとうございます。

私は最初から幸せでした。最初から喜びは私の中に尽きることなくありました。ようやくそんな私との出会いを持たせてもらいました。

私はこれからの時を、自分の決めてきた真実の道、喜びの道を真っ直ぐに歩いてまいります。」

そんな思いが、繰り返し、私の心の中を駆け巡ります。

日々の瞑想の時間の中で、私は私を感じながら、お母さんを感じながら、愛、それは私でしたという思いを喜びながら、そして淡々と広げてまいります。

田池です。

あなたは私を思っていればいいんです。その喜び、その一点は、日々の瞑想の中であなた自身、心で感じておられると思います。

田池留吉を思う瞑想。何か、一味もふた味も違っていませんか。私は意識の流れそのものです。私を思うことは愛に通じていきます。

あなたの心の中では、こういったことはすでに実証済みです。

しかし、最近の瞑想の中で、これまでとまた違うというか、田池留吉と思いを向けた時に感じていく喜びであるとか、温もりであるとか、広さ、そういうものが変わってきていると感じておられると思います。

だから、あなたは瞑想が楽しいはずです。瞑想をしていけば、はっきりとあなたの心に感じるところがあるからです。

意識の流れを思えば、何とも言えない幸せを感じているでしょう。

どんどん私を思い、愛を感じてください。私は愛、あなたの中の愛です。

あなたの中で、田池留吉を思うことは、愛に通じていきます。

今現在の意識の状態、心の状態になるまで、私は本当に一生懸命、自分に誠実に自分と向き合ってきました。

誰が何と言おうと、学びに繋がった限り、私は私の計画通りに遂行していくという強い決意とともにあり、それが今、かなりの成果を出しています。

私は、頑張っているのではありません。気張っているのではありません。それらはみんな欲です。

私は、ただ嬉しいだけです。幸せなだけです。どんどん自分と自分の中で学びを進めていきます。

もちろん、そこには真実の波動の世界が流れています。意識の流れが厳然と自分の中にあることを感じながら、私は、日々私の勉強を推し進めています。

突進。猪突猛進の私は、250年、300年に至る喜びの道を突き進んでいっています。

今が250年なんです。未来は今とともにあります。過去ももちろんです。そんな私の勉強を喜んで、喜んでさせていただいています。

幸せを感じるのに本当に何も要らなかった。何も、何も要らなかった。

私はもともと幸せだったから、喜びの中にあったから、そんな私を思えばよかった、何度、感じて嬉し確認です。

田池留吉、アルバートの意識はその肉を使って、それをはっきりと伝えてくれました。

「私は愛、あなたも愛。私の喜びはあなたの喜び、あなたの喜びは私の喜び。私の幸せはあなたの幸せ、あなたの幸せは私の幸せ。」

私に響いてくるんです。ああ、そうなんだ、意識の世界は一つなんだ、自分の心で感じられるからはっきりと分かることだし、

はっきりと分かるから、何も要らない、思えばいいだけなんだと
なってきました。

これを私は、これからもずっと続けていけばいいんです。心で
感じ確信していることは、絶対に揺らがない、消えないです。そ
れどころか、そんな自分の時間を重ねていけばいくほどに、幸せ
に、喜びに自分を導いていくのだから、こんな幸せはありません。

肉が自分だとする思いが、どんなにその行く手を阻んできたこ
とか。

本当の自分に応えていけることが、ただただ嬉しいです。

そして、私は、この喜びの中、宇宙に思いを向けています。こ
れが250年、300年と続く私の計画です。

肉を持たず、心に応えてくる意識達もともに行ける喜び、嬉し
さを、私は、今、瞑想の中で感じています。

大気圏に突入して落下した隕石に思いを向けると。

私達は意識です。宇宙からの意識です。意識です。意識なん
です。地球人類よ、私達は意識なんです。あなた達も意識なんです。
そのエネルギーを感じていきましょう。喜びのエネルギーです。

私達は宇宙にさ迷っていました。そして、これからもさ迷って
いくでしょう。

しかし、私達に伝えてくれる波動を感じています。宇宙へ愛を
流すエネルギー、そのエネルギーは私達の意識の世界に届き始め
ています。

だから、どんどん私達の心が形として、地球人類に衝撃を与え

るような出来事を起こしていくでしょう。

今回の出来事は、ほんの小さな、小さな出来事です。宇宙空間に異変が起こっていることをお知らせしたいと思います。

心をしっかりと、田池留吉、アルバートのほうに向け、私達の思いを感じていってください。宇宙とともに、宇宙とともにあることを、人類にこれから私達はお知らせしていきます。色々な形で伝えていきます。宇宙からのメッセージです。

これからも宇宙空間に様々な異変が起こってまいります。形を通して、それがあなた方の目、耳、そして身体を通して、色々なところで感じられるでしょう。その時、あなた方の心からどのようなエネルギーが出てくるでしょうか。そのエネルギーはまた自分達に返っていきます。

どうぞ、どうぞ、喜びで受けていってください。地球人類に喜びのエネルギーを流し続けてきた愛のエネルギーです。

そして、そうそれは本当のあなた方の姿です。

愛のエネルギーに目覚めていきましょう。私達は、これからともに、ともに仕事をしてまいります。

引き続き、私は宇宙を思い瞑想をしました。

宇宙を思うとき、本当に喜びです。喜びの中にあることを感じます。私の中の私が語るんです。異語で、どんどんどんどん喜びを語ってきます。

私達は、苦しみの宇宙ではありませんでしたと語ってきます。私達の中に母なる宇宙があった、こんなに嬉しい時はない。本当にその喜びを語ってきます。たくさん、たくさんの宇宙達が語

ってきます。

私は宇宙に思いを向ける。それが、それがとても喜びです。こんな喜びはありません。

思うということが自然と針が向いている、合わせられている、ということに繋がっていけば何もないことです。思うことがすべて。思うことは、いつでもどこでもできます。思うことには何も要りません。何も必要としません。

思うことが私だから。思える心が私だから。

思えば通じる世界。思うだけで通じる世界。

心の針の向け方、合わせ方、合わせ先、それが間違っていただけ。心で気付いていくことです。

心の針は、見えるものではない。自分の心で感じる。心の針が向いているか、合わせられているか、自分の心が教えてくれる。

心の針を限りなく合わせていけば、愛のエネルギーは限りなく流れ、その厚みが増し、温かさが増し、広さも増す。すべてを包み込んでいく。

何も要らない世界。思うことだけ。

そして、思うことも要らなくなってくるかも。

存在が喜び。あることの喜び。

次元移行を果たしたあと、何かそのような思いが心に広がっていくような、そんなことを学ばせていただける時間が用意されているのではないかと思います。

250年とは、地球時間。意識の世界では、あっという間。

思っていれば、すぐに肉を持つ時がやってくる。その肉を最大限に活用して、私は私を発信していけます。

母と今朝早く、近くの公園の梅林に行ってきました。

ウォーキングコースとなっているところ、そして梅林、今日の私、その中を歩いている私達、思いを向けてみました。

朝の清々しい空気の中で、母と二人、梅を見に行こうということどでまいりました。外の空気はヒンヤリしていたけれど、私はとても嬉しかったです。

ウォーキングコースとなっているところ、あたり一帯に意識を向けると、凄まじいエネルギーの中、私達はウォーキングをしているんですね。

しかし、私の心の中に響いてくるのは、その凄まじいエネルギーを包み込んでいく喜びだけです。意識を向けたとき、本当に真っ暗闇のすごいエネルギーを感じるんですが、ちっとも恐ろしくはありません。怖くはありません。

あそこで、自殺があったとか、そういう話も知っています。

私はその横を通り過ぎているんだなあと感じながら、そして、たくさん意識達がそこに埋没していることを感じながら、それでも私は意識を向けていく大切さをひしひしと感じています。

思うこと、思えることの喜び、愛、そんなエネルギーを自分の中から発信できる喜びだけを感じ信じて、私は私のやるべきことをしていくだけだ、そんな思いを心に感じ、朝の時間を過ごさせていただきました。

時の変遷とともに、形の世界は様変わりになるけれど、人間の心の中に渦巻くエネルギーは、いまだ暗黒の中に閉じ込められたまま。それが現実なんだ。

私はしかし、自分の心で感じた、感じているこの真実の世界を思うことによって発信できることを喜び、私は私の勉強をさらに進めてまいります。

それぞれに学びの課題があって、また歩んでいく速度も違う、これは自然なことです。

絶対評価の中で、1週間前の自分よりも今日の自分、1カ月前の自分よりも今日の自分、1年前、10年前、100年前……の自分よりも今日の自分、進化を確認、確信できればそれでいいんです。

要は自分の学びです。自分がどのようなエネルギーを流し続けてきたか、今も流し続けているか、対象物は変わっても、自分から流れるエネルギーは殆ど同じです。その自分の根本を変えない限り、何も変わらないことを知るべきです。本当に知るべきです。心で知るべきです。

みんな、自分の死後を知っているし、自分の来世も知っています。目を閉じれば、心に響いてくるのが普通なんです。それが分からないというのは、自分を知っていくことを拒否しているからです。今、肉を持っている今だから、死後の自分と語ることもできるし、来世の自分と語ることもできるのではないのでしょうか。

自分の現実を把握してください。しっかりときちんと把握して

ください。自分が自分に本当のことを伝えられない現実であるならば、本当に心して学んでください。

肉という形はちっぽけなものだけれど、そのちっぽけな肉に留まる思い、肉、形を本物とする思い、それは思いの外、強いものです。壁と言えば分かるでしょうか。分厚い壁です。長い時間を費やして、その壁を塗り固めてきたのが人類の歴史です。

隕石落下の映像をご覧になられたでしょう。一瞬です。すごい衝撃波だったということが、映像を通して分かりますね。たった一つの隕石が地球に落下して、あの有様です。

しかし、私達は宇宙にすごいエネルギーを垂れ流してきたんです。それは、あんなどころの規模ではありません。想像を遥かに凌ぐエネルギーをこんなちっぽけな肉に押し込め、閉じ込めてきたんだから、そのエネルギーを解き放つことは決して容易いことではありません。

下手をすれば、それによって、さらに泥沼の中へ自らを落としていく危険性は多々あります。

意識の世界を侮るなかれ。正しい手順を踏んで、自分が作ってきた闇の世界、闇を本来の明るさ、本来の温もり、本来の安らぎに帰すことに全力を傾けるべき。

私は、このようにして一つの肉を持ち、その自分からのメッセージのもとに学ばせていただいています。これからも、さらに厳しいメッセージを自分に送っていくでしょう。

瞑想を重ねていくほどに、喜びは大きくなっていきます。喜び

が大きくなっていくほどに、自分が見えてきます。自分が見えてくるほどに、さらに喜び大きくなっていきます。

その良き循環の中で、私は私を学んでまいります。

一人でも多くの方が、この幸せと喜びを自分の心で感じていければいいのになあと感じてしまいます。

どなたにも、この幸せと喜びを感じられる自分の心があったんです。

自分の中にずっとあったんです。

目を閉じて思いを向ければ、思いを向けるだけでよかったんだということが、はっきりと分かります。

こんな中で、争いが起こるはずもない。こんな中で、我一番の思いが出てくるはずもない。助けてください、救ってください、幸せにしてください、恵みをください、力をください、寂しいんです、愛してください、そんな思いが起こるはずもない。

ようやく、ようやく、今という時を経て、今のこの肉を通して、そのことが自分の中ではっきりとしてきました。

ようやくです。思えば広がる心があった、思うだけで温もりと喜びを感じられる心があった、何度も、何度も、確認しています。何度も確認できる。絶対に消えない。絶対に色褪せない。

お母さんの言ったこと本当でした。

愛に帰ろう。母なる宇宙へ帰ろう。ともに帰ろう。

宇宙に思いを向けて瞑想。喜びの時間です。来世の私が響いてくる。もちろん、過去の私とともに。次元を超えてやってきた私、そして、この次元を超えていく私、すべてが一つになって、愛に母なる宇宙へ帰る道を、喜び、喜びで突き進んでいく、そんな喜びが心に広がっていきます。

田池留吉、ありがとう。アルバート、ありがとう。お母さん、ありがとう。思えることが嬉しいです。たまらなく嬉しいです。いつもここに帰っていけばよかったんです。

戻ること、戻れること、私の中へ戻っていけること、その喜びと温もりが心に響いてきます。

私達は、田池留吉のもとで学んでいるんです。瞑想をして幸せを感じないはずはありません。瞑想をすれば必ずどんなに幸せな自分だったか心に響いてきます。そこには何もありません。ただただ嬉しい。ありがとうの思いしか出てこないんです。

中の目を開いて、田池留吉の目を見る。様変わりに変わった私の意識の世界が響いてきます。「一つ」それから「ともに」、短いメッセージを喜びで受け取りました。

素直にやっていけば、どなたの心にも響いてきます。それは、私達は意識、本来は一つだからです。

しかし、心に響いてきた、響いてくるものを肉で捻じ曲げ、肉をかぶせていくから、真っ直ぐに伝わってくるはずの軽やかなリズムは、真っ直ぐに心に届かないんです。

そして、ほんの数ミリかその程度、心が振動すれば、その何倍も、

何十倍、何百倍、それ以上に肉の思いが大きくなっていくんです。

そんな繰り返しを、愚かな繰り返しを何度私達は体験してきたことでしょうか。

そして、田池留吉のもとで学ぶという絶好のチャンスに巡り合いながら、またしても、同じ轍を踏んでいくのでしょうか。

過去と同じ過ちを懲りもせずに行っていくことを、同じ轍を踏むということです。

私はもう二度と、そんな苦しみはごめんだ、真っ平ごめんと、さっさと自分の進路を見極めてきました。だから今の私があるということでしょう。

ある意味、潔さは条件です。ダメと分かったら、さっさと方向を転換する。引きずらない。それは、これから、大切な、大切な、そして、大きな局面を迎える時期に来ているからです。

その準備を滞りなく進めていくことが、何としても必要なんです。

宇宙に広がっていく意識達は待っているんですから。

学びを知って、学び始めて、セミナー参加も回数を重ねておられるから、私は、もう当然、今頃は、幸せで、こんな幸せな人生があったのかと思う毎日ですという人が大半で、あとほんの僅かな人達が、今一つというところなのかなあと感じていました。

しかし、漏れ聞くところはそうでもなさそうです。何か学び始めた頃と殆ど進化、成長していない人達が、案外多いようです。それぞれに悩みや問題を抱えている人も結構おられるみたいで、

私からすれば、何とも不思議なことです、それよりもやはりもったいないという感じが先にきます。こんな学び易いチャンスはもう二度とやってこないのになあと感じているから、だからもったいないとなってくるんでしょう。

私は、自分の転生があと一回ということを知っていますし、だからこそ、肉的にも、肉を持つ時間を大切にしていこうとか思うし、肉を持つことに対して、いよいよあと僅かなんだと少々胸に迫るものがあります。

そのような少々センチメンタルな思いも心に過りますが、それも一瞬で、それよりも、もう私の道は決まっています。だから真っ直ぐに行こうという喜びというか、頼もしさが心に広がっていくんです。

心に響いてくるものは、すごいエネルギーです。しかし、それはもう私の中では苦しみではなくなりました。心に向ければそれはすでに喜びというか、温もりというか、そういうものになっ変わっていくことを、私は自分の中で学んでいます。

こんな幸せな人生があったのか。そうですよ、あったんですよ。もっと、もっと幸せになってください。このメッセージに背中を押されて、私はこれまでやってこれたんです。

スカイプ瞑想会は、僅か一時間ですが、どうぞ、皆さん、その一時間を本当に活用ください。これからのご自分のお勉強に役立ててください。

真実の世界は波動の世界です。波動の世界は、あなたの肉では

決して分かりません。あなたの頭では絶対に分かりません。

世の中には、似て非なるものがあります。いいえ、似て非なるものばかりです。全く違うんです。全く違うということ、どうぞ、あなたの頭ではなくて、あなたの心で感じてください。心で感じていかなければ、心の体験がなければ、到底信じられないんです。

あなたは信じていますと言われるかもしれませんが、しかし、その言葉はそのまま受け取るわけにはいきません。信じる先に何かを求める思いがありませんか。求めて得られるものは何もありません。

愛のエネルギーに触れた瞬間、心から噴き出してくるエネルギーはすごい勢いです。そして、そのエネルギーは、愛に帰ることを待ち望んできたこと、その愛に今触れていること、その喜びを伝えてきます。

私は愛。大きな、大きな、そして、どこまでも広がっていく温もりの中で、伸び伸びと自分を解き放していける喜びは、何度、心に体験しても、嬉しい限りです。

たくさんの、たくさんの意識達が一斉に心に向けてくる。しかし、その勢いに押し潰されることなく、ただただ喜び、温もりを伝えていける。

心の体験を、一時間のスカイプ瞑想会でしていってください。瞑想の醍醐味を、どうぞ、あなたの心で味わい、そして、自宅学習に役立ててください。

私は、心の針を合わせてする正しい瞑想は自分の中で習得して

います。

だから、家で瞑想をする。瞑想を重ねる。思いを向ける。その作業を重ねていくことが愛に通じていることを確信して、愛のエネルギーが仕事をしていることも感じています。

心の針を正しい方向に合わせるだけ。それさえ習得できれば、こんな楽しいことはありません。一つの肉を通して、たくさんの、たくさんの意識達の叫びを解き放していけるんです。私は、母の意識に、ただただありがたいの思いしか出てきません。

これまで数え切れないほどの肉を与えてくれた、そして、今のこの肉があるからこそ、私達は私達のふるさとへ帰る道を見つけられたんだと、私の中から喜び、嬉しさが突き上がってくるんです。

この心の体験、心に響き渡る体験を重ねていくことが、私の喜びなんです。

どんなに凄まじいエネルギーもよしです。ただただそのエネルギーと出会っていくことが私には喜びです。

以前にセミナー会場で十二分に学ばせていただいたことが、今、またスカイプ瞑想会を通して、学ばせていただけることに感謝しかありません。

心を向ける喜び、思うことのすごさ、250年後の喜び、宇宙、UFO等々、瞑想を通して様々なことを学ばせていただいています。

瞑想をすることが、思いを向けることが、そして、自分の心の針を正しい方向に合わせていけることが、本当にたった一つの喜

びの道。それ以外は全部滅びの道です。

自分に肉を持たせた自分の思いを全く知らずに生きていくことが、どんなに自分に冷たいことなのか、母の温もりを心に取り戻して、死後の自分と語っていけば、心に響いてくることです。

まず、母の温もりに心の底から触れて、そんな自分にその温もりを伝えていけるところから始めてください。

その基本をしっかりと、何度も、何度も心の体験として重ねていってください。基本を飛ばして、愛を流すんだとか、次元移行していくんだとか、そんなことをどんなに思ってもみても、それこそ絵に描いた餅でしかありません。現実問題として、自分の中がのたうち回っている状態をまず、しっかりと把握することです。現状把握。これ大切なことです。

愛を思う瞑想は確かにすごいです。愛を思う、愛に触れる、愛のエネルギーに触れる、たまらなく嬉しい瞬間です。

止めどもなく噴き出してくるエネルギーが、たまらなく嬉しい。苦しみどころか嬉しい、嬉しい、嬉しいだけ。喜びの雄たけびです。

異語を発することは喜び。喜びのエネルギーが異語となって出てくるのが分かります。

愛を思う瞑想は確かにすごいが、田池留吉の異語はこれもまたすごいです。

私にとって、田池留吉の肉が今ある喜びは、田池留吉の異語が肉声で聞けることが大きいです。

田池留吉の異語はとてもいい。本当に嬉しくてすぐに反応します。異語はエネルギー。異語は波動。異語は喜び。異語は愛。異語で通じ合える喜びを心に感じられることが幸せ。

田池留吉の肉体を通して、愛のエネルギーが流れている、これを目の当たりにする、あるいはそれを自分の肉体を通して知る、これはもちろん喜びであり、嬉しいことです。幸せなことです。

しかし、そこに留まっていたでは自分の進化、成長は望めません。

田池留吉のそれは私達すべての状態です。本来はそうなんです。

自分の中でそれを実感する、確信する、その方向に自分の勉強を進めていくことが肝要です。

マイナスのエネルギーであっても、それをプラス、プラスに変えていけば、それはすごいエネルギー。次元移行を遂行していくためには、大変大きなエネルギーを要します。宇宙からブラック、ブラックの大きなエネルギーが次から次へと交信してくるんです。心に受け止め、ともに行こうと呼びかけていくには、自分の中にしっかりとした中心棒の確立が絶対的に必要です。絶対です。

自己確立。これこそ喜びの道、母なる宇宙へ帰る喜びの道に繋がっていくことを知ってください。

自己確立です。自分と自分の中で、瞬間的に針を合わせていけること。これが、怒涛のように覆いかぶさってくる自らのエネルギーを大きく、大きく受け止めていけるたったひとつの手段です。

それが確立できなければ、自らのエネルギーに一瞬のうちに押し潰されていく、飲み込まれていく、それが意識の世界です。

死んで、田池留吉、アルバートを呼べますか。今、あなたはどのような返答ができますか。聞いてみてください。

心に感じるものがある、そんな程度では、死ねば、田池留吉、アルバートを呼ぶことなどできない、はっきりと申し上げておきます。

できなければどうなるのか。したがって、どんな学び方をしていくべきなのか、全部自分は知っています。

〔私は、人生の目的がはっきりと分かり大変幸せです。

肉の私がしていくことは、たった一つでした。それが確認できた今世だから本当に幸せです。

「あなたは私を思っていればいいんです」。はい、その通りです。

針をしっかりと合わせさえしていれば、本当に何ということもありませんでした。針を向ける、合わせるということだけでした。

肉を持って学ばせていただいていることが、本当にありがたいです。

針を向け、合わせて、ただひたすらこの道を。

この姿勢は絶対に変わることはありません。〕

と、肉の私はそのように自分の中を感じています。私に聞いてみます。

私はあなたの中の私、田池留吉です。どうぞ、しっかりと、田池留吉、アルバートに心の針を向け、あなたの中をしっかりと見つめていってください。心の中に喜びと温もりを広げていける

あなたです。そうです、あなたが感じているように、これから250年、300年と続くあなたの時間は、あなたを、さらに、さらに、喜びへといざなっていくでしょう。

そして、私達は次元を超えていきます。宇宙は、その時、凄まじい勢いで私達と迎合していきます。ああ、今、そのエネルギーを心で感じておられると思います。どうぞ、しっかりと思いを向けてください。

針をしっかりと合わせて瞑想をする中で、そのエネルギーを心で受け止めて、ともに行こうと呼びかけ続けてください。

はい、ただひたすらこの道を。しっかりと、しっかりと進んでいくようにあなたはあなたを仕向けていくでしょう。

エネルギーです。喜びのエネルギーです。温もりのエネルギーです。ともに、ともにという大きなエネルギーです。はい、それはパワーです。明るい、明るいパワーです。愛のエネルギーを心から発信できることを喜んで、喜んでいってください。

田池留吉、アルバートに心の針を向ける、合わせる、そうそれだけです。

たった一つ、それだけです。肉のあなたができること、それだけです。

はい、どうぞ、しっかりと針を向けていきましょう。

瞑想をして、心を向けていくと、やはり、ともに、ともに宇宙とともにという思いが心に響いてきます。

「宇宙とともに行くんだ」「どこへ」「母なる宇宙へ、次元を超

えて母なる宇宙へ帰っていくんだ」、そんな思いが心に伝わってきて、やはり瞑想はとても嬉しくて、幸せです。

帰れるということが現実のものとして心に伝わってくるから、私は幸せです。

ひと呼吸置いて、再び思いを向ける。

はい、喜んで、喜んで心を見ていき、私の中のエネルギーをしっかりと自分の中で包んでいく、この喜びをずっと、ずっと続けていきます。

私は喜びです。私は嬉しいです。本当に喜びの中にあつたことを心で知りました。お母さんに産んでいただいたからこそ、私はこんな自分と出会ったんですね。

よかったです。本当によかったです。今世の私は本当に幸せ者だと思います。お母さん、ありがとうございます。何よりも、あなたの思いに応えることができたことが私はとても嬉しいです。

今、私は宇宙に向けて瞑想を続けています。宇宙とともに帰れることを心からしっかりと感じながら、私は私の中をしっかりと感じていきます。

はい、喜びのエネルギー。温もりのエネルギー。はい、私の中にもともとあつたことを告げてくれた田池留吉、アルバートの意識の世界にしっかりと心の針を向け、私は私の中を見つめてまいります。

ああ、嬉しいです。これから、250年、300年の時間、私はこのように自分の中を見つめることができるんですね。自分の中を感じることもできるんですね。

ああ、そして、私は、来世の肉、この肉とともにまたこの喜び

を発信してまいります。田池留吉、アルバート、嬉しいです。

心の中に喜びが広がっていきます。このような瞑想を続けていきます。異語とともに、私は私の中を感じていきます。ありがとうございます。ただただありがとうございます。

私は私の中にようやく戻ることができます。安心して自分を感じていくことができます。今世の成果です。確信です。自分の中に戻す、帰れる、戻して帰っていくと、そこには喜びが広がっていきます。これは大きな私の第一歩です。ナビはよく働いてくれます。順調に働いてくれています。

ナビに感謝しながら進んでいきます。

セミナー会場で出会っただけの人なのに。私とは今世、何の縁もゆかりもなく、セミナー会場で出会っただけなのに。

なのに、何でこの人に対して、こんな凄まじい思いが噴き出してくるのだろうか。私には長く本当に不思議と驚きでした。

もちろん、その不思議も驚きも、かくかくしかじかだから、それは当然そうなるんだということは、私の中では先刻承知です。

しかし、さらに、「内の田池留吉は愛です。それを確信している外の田池留吉を通して愛は流れています」という一文を目にしたとき、そうだ、そうだ、さもありませんと本当に納得です。

今もそうです。好き勝手なことを言わせてもらっています。言いたい放題のところがあります。一種の闇出しをさせていただいています。愛に触れているから、自分の中が素直に飛び出てくる

んです。意識の世界ってすごいなあと思います。

だから、目を閉じて、田池留吉、アルバートの波動と語っていくことが、一番幸せです。外の田池留吉は何ということもないけれど、愛、真実の波動が流れているんだと形で示してくれて大変分かりやすいです。

田池留吉の磁場。田池留吉の世界。田池留吉の宇宙を思って瞑想。

そして、私の中では、もうアルバートです。田池留吉とアルバートとどう違うのか、区別するものなのかと言えば、何も違わないし、区別するものではないけれど、特に、瞑想をして、異語がぼんぼん飛び出していくと、アルバートです。アルバートに向かって凄まじいエネルギーを感じ、それがたまらなく嬉しい、たまらなく喜びです。そんな瞑想を重ねていくことが私の喜び、私の幸せ。

肉を持っているから、ある程度、肉の仕事はしなければならないし、またある程度、肉の楽しみもなければ味気ないものです。一日中、瞑想、瞑想というわけにはいきません。けれど、その中において、今日もこうして、自分の中の田池留吉、アルバートと語り、波動を感じて、喜びの時間を持たせていただけることが何よりも幸せです。

肉がなければ、肉を維持する必要がないから、また肉を楽しませることも要らないから、非常に効率的だということが感じられます。肉がない状態であっても、田池留吉、アルバートを思えるということが前提ですが、思える状態であれば、こんな幸せなこ

とはないでしょう。

「思う、思えることが喜び、思っていればそれでいい、エネルギーを発信してそのエネルギーが仕事をする」。

意識の流れの中で、意識の世界の正しい動きが、ようやく今世心を感じられ、それに沿うように存在していけると、瞑想をして確認しています。そんな私の勉強を重ねていくことが私の喜びだ、私がそう伝えてきます。

そんな私の思いに私は従っていただけです。意識の世界の自己確立は言うまでもないこと、自ずと肉の生活も自己確立。初めに意識ありきでした。

自分の中の愛と、どんどん語っていきましょう。私の中の愛。私の中の田池留吉、そしてアルバート。波動を感じ波動と語っていける喜び、幸せ。それは異語として、どんどん私の中から飛び出てきます。

本当に心地良い。本当に嬉しい。瞑想は嬉しい。瞑想は心地良い。

田池留吉、アルバートと異語を交わしている。そう、私の中には異語のリズム、波動が振動してきます。それがたまらなく嬉しいです。異語はエネルギー、波動だ。その波動を感じ、私の中からどんどん異語が飛び出る。

同時に温もりと喜びが伝わってきます。ああ、喜んでるんだ、心に交信してくる宇宙達が喜んでるんだ、そんなことを感じさせてくれる瞑想の時間です。

だから瞑想は楽しい。ずっとアルバートを感じていられる。田

池留吉、アルバートが宇宙に浸透していく、伝わっていく、何かそんな嬉しい、嬉しい感覚です。

お母さん、お母さん、お母さん、ありがとう、ありがとう、ああ、私達は嬉しいです。お母さん、ありがとう。喜びの宇宙へ帰れます。あなたの宇宙へ帰れます。ありがとう。そう伝わってきます。ああ、ありがとう。ありがとう。

アルバートに心を向けてみます。

私は、250年後、あなたとともに肉を持つアルバートの意識。そう、今あなたの心に語ります。私達の宇宙、喜びの宇宙へどうぞ、どうぞ、しっかりと心を向けていきましょう。私達は喜び。250年、300年、次元移行を達成して私達は喜びの宇宙へ帰ります。アルバートの意識は喜び。アルバートの波動は全宇宙を照らし続けていきます。これからも、ずっと、ずっと照らし続けていきます。永遠に照らし続けていきます。宇宙は喜びへ帰ります。その喜びの渦が、私達の心の中に広がっていきます。ああ、本当に喜びです。ありがとうございます。ありがとうございます。

先週、先々週に引き続き、今朝もまた母と二人、梅林を散策しました。

白、赤、ピンクの小さな梅の花が、早朝の清々しい空気の中で凜としてありました。しだれ梅もよかったです。途中までシンちゃんのお友達だったプードルも一緒でした。心和むひと時でした。

そして、今、瞑想。

心を向けていけばいくほど宇宙の喜びが伝わってくることを感じます。ゆったりとした時間、静かな時間を、できるだけ作って、私は宇宙と心を向けていくことに徹していきます。宇宙とともに、そんな思いが心に響いてくるからです。

肉を持っている限り、できるだけという表現に留まってしまうのは仕方がないと思っています。

しかしながら、心を向けさえすればいいんです。思うことさえすればいいんです。私の意識の世界はそんな状態だと思います。

さらに、ゆったりとした時間と空間の中で、心の針を合わせて思うことをしていけば、私の中から流れ出すエネルギーが、宇宙に届いていくことが確実に実感できます。

自分の心の中に響き伝わってくる喜び、嬉しさを感じられるから、もう本当に肉のことは程々でいいです。程々で肉は十二分に幸せです。自分に関して言えば、どうしたいとか、どうあるべきだとか、何か遠くになった感じです。

それは私の現実ではないから。私の現実はこれ。母なる宇宙へ帰る道にあること。

だから、母なる宇宙へ帰る道が見える、感じる、それをしっかりと自分の中に据えて、私は私の中を進んでいきます。

本当にありがとうございます。

心に伝えてくださいました。本当のことを。本当の波動を。

心から心へ伝わる思いは、ともにという思い。愛に帰る道を喜

び、喜びでともに、という思い。

肉を通して伝えていただいたことを、肉を通して曲げずに歪めずに真っ直ぐに自分の意識の世界へ伝えさせていただきました。

結果、私の心の中から伝わってくる思いに、日々喜んでいきます。さらに日々、心に響いてくる目に見えない存在に、真っ直ぐに伝えていきます。

針を向け合わせて、私は私の中から伝えます。

これをやっていくために、私は今世の肉を持ちました。肉を通してその術を学ばせていただきました。時間はかかりましたが、正しい方向を向いて、進んでいくことができます。肉を持っている間は、現象界とともに進んでいき、そこからまた学ばせていただきます。

今は、自分の中を進めば進むほどに、喜びだけが大きくなっていくことを確信しています。

本当にありがとうございます。

思いを向ける喜びと、思いを向けることができる喜びと、向ければ返ってくる喜びと、みんな一つになって進んでいくんだ、エネルギーとして、目に見えない存在として一つになって突き進んでいくんだ、そんなことを瞑想の中で日々感じています。

目を閉じて思っていけば、どんなに自分が幸せだったのか、そんなことは一も二もなく心に響いてきます。

ふっと思っただけでいいんです。ふっと田池留吉、アルバートと思っただけで、ああ、本当に幸せだと感じます。それが私達の本

来の状態だったんです。

何も特別なことでも、すごいことでもなかった。

本当にバカみたいでした。特別なものになりたくて、すごいパワーが欲しくて、本当の自分をないがしろにしてきたのだから、滑稽としか言いようがありませんでした。私の中に初めからあったのに。

そんなことを思いながら、さらに自分の中に針を向けます。

溢れ出てくる思いを心に受け止めていくことが嬉しいのです。こういう嬉しい時間をたくさん持っていけばいいんだと伝わってきます。

通じ合っている、そんな感覚です。温もりと喜びが広がってきます。

異語でどんどん自分の中を語っています。語ることが喜び。異語は喜び。

私の中の温もりと喜びを知って感じて信じて、そして、それをさらに広げていだけ。この軌道は絶対に変わることがないと伝えてきます。

確信に確信を重ね、その確信がさらに自分の中を突き進めていく、そんな瞑想は喜びでしかありません。

自分を知っていくことが本当に喜びです。母なる宇宙へ帰る喜びです。目に見えない宇宙達の存在に心をさらに向けて伝えます。

愛を思えば宇宙。宇宙へ、宇宙へ、心の針を向けていきます。そして、ともにという思いをどんどん流してまいります。

宇宙がどんどん変わっていくことが私達の喜びでした。本当に喜びでした。

闇黒の宇宙達とともに行ける喜びを、私は私の中から本当に伝えたい。

三次元ももうあと僅か。肉という形を持つ時間もあと僅か。本当に嬉しいです。嬉しくて、嬉しくて、ただただともに私達の宇宙へ帰ろう、そんな思いが心から湧き起こってきます。

肉体細胞とともに。肉体細胞に思いを向け瞑想。

肉体細胞は限りなく優しいです。肉体細胞から流れるエネルギーを心に受けます。ありがたいの思いです。

私は肉体細胞。はい、嬉しいです。ありがとうございます。

はい、心の針を向けて合わせていくことをしていくこと、私達の喜びです。私達はあなたに惜しみない協力を申し出ました。心の中を見ていくために、私達肉体細胞が必要でした。あなたの中へ愛を届けるために、私達肉体細胞が必要でした。田池留吉、アルバートのメッセージがそのように伝えてきます。

ありがたい言葉と思いを肉体細胞に流しながら、あなたの中の中を見つめていくこと、それがあなたの喜びです。

私達との出会いを持っていくために、あなたの肉体細胞が喜んで仕事をしてくれました。肉体細胞のエネルギーは愛のエネルギー。田池留吉、アルバートのメッセージを伝えるために、あなたの肉体細胞があなたの中に作られてきました。愛のエネルギーによって、肉体細胞は誕生しました。

あなたはその愛のエネルギーを心の中から発するために、その

肉体細胞を持ったのです。肉体細胞の喜びのエネルギーを、そのままあなたの中から発信してください。肉体細胞がどれだけ喜びであるか。あなたの心が肉体細胞とともに仕事ができることを肉体細胞が喜んでいます。あなたの中から肉体細胞のメッセージが届くでしょう。

それは田池留吉、アルバートのメッセージです。肉体細胞は田池留吉、アルバート。喜びのエネルギー、愛のエネルギーを一つにして、この宇宙へ流していくことを、肉体細胞は約束してくれました。あなたの中からそのように伝わってくるでしょう。

肉体細胞に喜びのエネルギーと、温もりのエネルギーを感じていけるあなたです。肉体細胞とともに、あなたの仕事をなさってください。

そして、やがて、あなたの肉体細胞はあなたの前から消えてまいります。しかし、あなたは、なおその喜びのエネルギーを流し続けていけるんです。私達は一つだと心の中から流して続けていきます。

心の中より語ります。田池留吉、アルバートのメッセージは、あなたの中から永遠に流れ続けることを信じてください。喜びのエネルギーは決して消えるものではございません。

意識の流れに乗って、あなたの心をどんどんどん宇宙へ向けていきましょう。心の中で、私、田池留吉、アルバートを思い、そして、あなたの中でその喜びを広げていきましょう。私達は一つの中にあります。心の中をどんどんどん広げていきましょう。

う。

はい、ありがとうございます。ありがとうございます。心に返ってくる思いを喜びに変えてください。はい、そうです。そうです。

あなたの中の喜びと温もりはどんどんどんどん伝わっています。アルバートへ、アルバートへ帰る、母なる宇宙へ帰ろう、私達のふるさとだった母なる宇宙が待っています。そして、そして、どんどんどんどんあなたの心に向けていってください。

私達に愛を教えてくださいと、私達は愛を、愛を求めてきました。苦しい、苦しい中にありました。そして、私達の中に愛があるんですよと伝えてくれました。ああ、これは私達の本当の姿なんですか。ああ、この姿が私達なんですか。この温もりの世界をどんどん心に思い起こしていきなさいと伝わってきます。

ありがとうございます。ありがとうございます。苦しみが私達ではありませんでした。心の中から私達の思いを受け止めてくださってありがとうございます。

私達は喜びの宇宙へ帰ってまいります。苦しかった私達ではありませんでした。どうぞ、どうぞ、心をアルバートに向けてくださいと伝わってきます。アルバート。心をアルバートに向けると、さらに、さらに私達の苦しみが伝わってきます。しかし、すべては愛に帰る道なんですよ。心の中にアルバートを呼びなさい。呼んで、呼んで、呼んで、呼んで、呼んでいくんです。ただただ呼び続けてください。あなたの中にある喜びと温もりがアルバートへいざなわれていきます。そして、あなたの中の苦しみはアルバートの中に包まれてまいります。私達の本当の姿はこの意識の世界。喜びの世界。アルバートの世界。すべてがアルバートへ帰っ

ていく。母なる宇宙へ帰っていく。田池留吉がそのように伝えてくださいました。

心の中にアルバート呼んでごらん。私達、250年後の姿が心に広がっていくでしょう。私達はあなた方とともに、250年後にまたこの喜びを伝え続けます。そして、私達の目標である次元移行を達成していくんです。私達は心の中より待っています。もうすでに次元移行は始まっています。

私達の喜びのエネルギーがどんどんどん宇宙へ流れていくことを感じていってください。次元移行はもうすでに始まっています。心の中に、ただただ喜びと温もりを溢れさせていくあなたに蘇っていただけるんです。そんなあなたであることを全宇宙の意識達に伝え続けたい。私は今そのように思います。心の中から今語ります。田池留吉、アルバートの意識が語ります。私達は愛。愛のエネルギー。そうです。愛なんです。愛、愛、愛なんですよ。私達は今心より伝えます。

田池です。田池留吉、アルバートに心を向け、あなたの中の喜びをどんどんどん発信していきなさい。あなたの喜びをどんどんどん宇宙に向けて発信していくんです。そうです。そうです。はい、そうです。あなたの中にアルバートがあります。田池留吉があります。その世界にどんどんどん心を向けて、あなたの中へどんどんどん、エネルギーを受けていくんです。そして、あなたの中からそのエネルギーを発信していくんです。

私達は一つの中にあります。そして、私達は、ともに、ともに、

このように語れることが喜びです。

田池留吉、アルバートへ心を向けること、それがすべて。このことをしっかりとやっていくこと、それがすべてです。

私はあなたに伝えます。心の針を向ける、その喜びをあなたが感じています。その喜びをどんどんどんどん広げて行ってください。

思えばいいんです。思えることが喜び。

そして、あなたは私と一つになって、ともに、ともに、宇宙へ喜びのエネルギーを発信していく。

宇宙が変わっていくことをあなたは感じています。宇宙をもっと、もっと次元移行へと進めて行ってください。

あなたの肉がある間、あなたの肉がない間、私達はともに、ともに歩いていけます。私はこのようにあなたに今も、今も、いつも、いつも語り続けています。

私達が思うことは宇宙です。

宇宙へ思いを向けること。宇宙へエネルギーを流すこと。愛のエネルギーを流していくこと。愛が愛を呼んでいきます。愛が愛をいざなっていきます。その喜びをあなたの心の中に感じているでしょう。

あなたの中へ喜びをどんどんどんどん膨らませていきなさい。

あなたの中をどんどんどんどん見つめて、あなたの中を喜びのエネルギーで埋めていくんです。

愛のエネルギーは、もっと、もっとあなたの中から流れていきます。

愛のエネルギーは、一瞬にして宇宙を変えていきます。

私達はこれから、250年、300年、そして、次元を超えて私達はともに、ともに歩いてまいります。私達はこの喜びを宇宙へ伝えていくことをやっていきましょう。はい、喜びです。喜びです。喜びです。

私達は喜びしかありません。この喜びをしっかりとしっかりとあなたの中から発信。

喜びの中で、あなたはあなたを学んでいくんです。喜びが喜びを、あなたをもっと、もっと大きくしていきます。

田池留吉の磁場はもっと、もっと大きくなっていきます。あなたがあなたを見つめていく中で、田池留吉の世界は限りなく大きく広がっていきます。愛がその厚みを増していきます。愛のエネルギーはその厚みを増していきます。

あなたがあなたを見つめることで、エネルギーが大きくなっていきます。田池留吉の磁場はさらに、大きく、大きくなっていきます。宇宙が変わっていきます。

「田池を殺せ」 私はこの言葉が大好きです。本当に心からありがとうございますが出てくるからです。「田池を殺せ」、本当に愛しいです。私の中の凄まじいエネルギーが何とも、何とも愛しいです。

肉を持って、この叫びをこの肉を通して出させていただいたことは幸せの一語に尽きます。徹底した田池留吉の指差しにより、何度叫んだことか。叫んでも、叫んでも、心の底から湧き起こる「田池を殺せ」の叫びでした。

本当にありがとうございました。今世、「田池を殺せ」の壁の

崩壊を体験させていただき、私は、今、非常に幸せです。目を閉じて思いを向ける喜びを存分に感じています。

「田池を殺せ」のエネルギーが、「私は愛です」のエネルギーに変わっていく喜びは、何度、心に体験しても、ただただ嬉しい、喜びだけです。変わっていけることを知った喜びは、尽きることはありません。

そして、今、私は、「田池を殺せ」のエネルギーこそが、次元移行へ働く大きな、大きなエネルギーだと心で感じています。

本当の愛の世界に触れた意識達が、どんなにこの時を待ち侘びていたか、その思いが大きな、大きなエネルギーとなって、宇宙全体に広がっていくんです。その様が、瞑想をして宇宙に思いを向ければ心に響いてきます。

私は、この宇宙達とともにこれからも存在していけることを心より喜んでます。宇宙はともに帰る意識達です。田池留吉、アルバート、本当にありがとうございます。

「田池を殺せ」の大きな赤文字は歓喜です。

歓喜と私の心はとらえています。喜び、温もりが「田池を殺せ」と叫んできたことを心から感じ、本当にありがたい今世のお勉強の時間でした。そして、そのお勉強は、さらに喜びと温もりを呼び込んでいきます。

愛を思う瞑想、磁場を思う瞑想、そして、異語の発信。

すべては母なる宇宙へ帰る喜びの出来事です。本当にありがとう、ありがとう。

来世、「アルバートを殺せ」と再び肉を持って叫ばせていただくこと、私の喜びです。もちろん、お勉強は今を引き継ぎ、さらにこれから地球時間で言う250年があります。来世、「アルバートを殺せ」と再び肉を持って叫ばせていただく瞬間、私の心の中、意識の世界は蘇ります。

その時に発するエネルギーが仕事をするのが、私にはたまらなく嬉しいこと。たまらなく幸せなこと。その喜びと幸せを肉を通して満喫させていただく計画に、私は本当に喜んでいきます。

12、3年かもう少し前、私は田池先生から言われたことを、今もふとした時に思い出しています。「あんたが、自分の心を見て、自分を供養していくことは、外から見ても分からんことや。それをしているから、誰かがあんた偉いなあと認めてくれるわけでもない。それでも淡々とやっていきや。」

私は、その言葉と、その時、心が受けたものをしっかりと自分の中に持ってきました。私は、それを自分の座右の銘としてきました。

何々を一生懸命にしたら、私のしたこととして、私が何らかの評価をしてもらえる、それが肉の世界の一般です。形として表したものが一定の評価をされれば、それが私自身の評価に繋がっていく。自分の肉が認めてもらえる。偉いなあ、すごいなあ。

そんな人生ばかりを繰り返してきたんだと思いました。上辺ばかりを塗り固め、本当に自分を顧みない冷たい自分になり下がってきた私だったから、私は私を一番嫌ってきました。そのくせ、

我を認めよ、我は一番なりと、中身のない空洞の自分を前面に押し出してきました。

田池留吉の意識は、田池留吉の肉を使って、そんな私の世界に真っ直ぐに伝えてくれました。それが田池留吉の目であり、指先であり、異語でした。「あなたが作ってきた世界を、じっくりと自分の中で知りなさい」。まさに、それは母の温もり、愛のエネルギーでした。温もり、愛のエネルギーは、それがどんなに拒否しようが、どんなに否定しようが、どこまでも、どこまでも、変わらずに、全く変わらずに私を受け入れ包み込んできました。私が私を受け入れることをせずに嫌ってきたのに、これは一体何なんだと思わざるを得ませんでした。

そんな心の体験を重ねさせていただいたことが、今、私に大きな結果をもたらしています。「私は愛、あなたも愛」。愛のエネルギーに淡々と応えていきます。

一人の人間として、男でもなく、女でもなく、一つの肉を持った意識として、自由に伸び伸びと自分を広げていける喜びと幸せ、ああ、本当に私は幸せです。

ちっぽけな枠組みに自分を押し込め、縛ることなく、この広がり、この温もり、この喜びに出会えたことが何より幸せです。喜びです。

みんな、自分の中に自分を喜びに幸せにいざなっていく素晴らしいパワーがあります。愛のエネルギーは自分の中から滾々と湧き出てくるんです。それを塞ぎ止めてきたのは他ならない自分自

身。

ちっぽけな、本当にちっぽけな他力の神々に手を合わせ、一心不乱に祈りを捧げて、神のご加護を、仏の慈悲を、宇宙のパワーを希う本当に愚かなことを懲りもせずに行ってきたんです。今もやり続けています。

それでは、絶対に真の平和などやってこない。幸せな人生も喜びに満ちた人生も実現不可能です。

本物を知ってください。本物の自分に触れていってください。

「私は意識。私は愛。私は宇宙とともに次元移行をしていきます。」

はっきりと断言できるようになってください。

私は、そのように伝えてくる自分と出会っています。

まず、その中心棒を確立すること。そこに全エネルギーを注いでください。

夫や妻や子供等々など、どうでもいいと言えば語弊がありますが、本来はどうでもいいんです。自分の中が確立していれば、それがプラスの仕事をしていくんですから。それが夫や妻や子供等々を本当に思いやるということになってきます。

昔、昔、田池先生の話の中に、七大天使云々が出てくるのがよくありました。私はその現象の時には、まだ学びに参加していなかったけれど、私にもし「私は何々でございます」と名乗ってきたとしたらどうなっていたらどうか。

幸か不幸か、私には、七大天使はもとより、未だかつてそんな

「私は何々でございます」と語ってきた体験はありません。

尤も、七大天使の話を聞いたとき、私の中から出てきた思いは、そんな天使などというものは存在しないということでした。なぜかそう即座に思いました。

自分と学びについて振り返れば、学んでいくことについて、必要なことは全部用意していると感じます。人のことは知らないけれど、私の場合そうだから、これはおそらくみんなに共通していることなのでしょう。

だから、「私は何々でございます」と語ってきた人達には、それが必要なことだったのです。そして、そこからまず自分を見つめていくことが最大のポイントだと私には受け取れます。そのところをいい加減、うやむやにしているはどうかなあという感じがします。

おそらく、学びの年月の長い人達だから、その点は言うまでもなくすでにクリアされているかと思いますが、どうなのでしょう。

また、いわゆる過去世ごっこをしてきた人達にも、このことは当てはまると思います。

私はブッタ、私はイエス……、古傷にさわることもかもしれませんが、この際、もう一度そのところに遡って自分を点検されてはどうなのでしょう。

セミナー全盛期をともに学ばせていただいたことでもあります。あんな素晴らしい時間と空間を経てきたのだから、それがもっと自分の血となり肉とならなければ、本当に自分に申し訳ない、そうは思いませんか。

皆さん、悩みがありますか。この学びをしながら悩んでいる人があるんです。何を悩んでいるのでしょうか。今も複雑な中で生活をされている人、気の毒と言えば気の毒ですが。

もっと楽にシンプルに生きていけばいいと思うのですが。それは難しいことなののでしょうか。いいえ、難しいことではないはずです。田池留吉、アルバートに心を向けて、今を喜んでいけばいいだけなんですから。

しっかりと肉基盤の人にとっては、こんなことを言っても、人生そんなに生易しいものではないとお叱りを受けそうです。

だけど、人生ってなんですか。

どうぞ、悩み事はなるべく早く解消して、もっと学びに、あなたの本当の人生に、全エネルギーを傾けていってくださいとだけ言わせてください。

後悔先に立たず。光陰矢のごとし。いつまでもあると思うな……。

学びについて、分かっているから話ができるのではありません。

分かっていなくても、学びのことについては語れます。

学びのことについて、そんなにたくさん大切なことはないからです。

要点は、一つ、二つ、三つ、そんなものでしょうか。

頭で分かるということと、心で分かるということは全く違いま

す。

波動の違いは、頭で感じられない。波動の違いは心で感じられるのです。

2013年、2014年は従来のセミナー（UTA会セミナー）を引き継ぎつつ、2015年以降へ向けて、それぞれが自己確立の道を一步步んでいく過渡期だと私は考えています。

各地域での勉強会に参加されるのもよし、また単独で学んでいかれるのもよし、すべては自己選択、自己責任です。

要は自己確立がきちんとできていなければ、学びの形態がどうであれ、真実の道に行くことはできません。それは瞑想をすればはっきりとしているのではないのでしょうか。

死ねば自分一人の世界です。今ももちろんそれと基本的には同じなのですが、肉を持っているから、殆どの方は、その感覚は非常に薄いと思います。自己確立です。自分の中にしっかりとしたものが育っているか、死んでも温もりを思い起こすことができるだろうか、そういうことをいつも念頭に置きながら今を学ぶについては、何が何でも自己確立というのが大切だと分かります。

私は、日々宇宙を思い瞑想をしています。宇宙は次元移行へ向けて、確実に動いています。思いを向ければ向けるほど、宇宙が変わっていくことを私の中で感じられます。次元移行という意識の流れだけを見つめて、私はこれからも、宇宙に思いを向けていきます。

天変地異のエネルギーとともに、次元移行が遂行されていく意

識の流れからのメッセージを心で、本当に心で受け止めていきましょう。

Uとは、U F O。Tとは、天変地異。Aとは、アルバート。この意識の流れを心から待っていました。

学びに触れた人は本当に幸せです。今頃、学びに触れた多くの方は、その幸せと喜びを満喫されているでしょう。

もし、そうでないならば、余程の欲深い人、大いに反省されるべき。

しかし、大抵の人は、学びを知ってよかった、学んできてよかった、これからも自分を見つめていこう、大方そのような心境で、毎日を過ごされていると思います。

さらに、そこから自己確立の幸せと喜びの道を、着実な歩みで進めていきましょう。

地球時間で言えば、300年。どうぞ、それぞれ、次の転生、そのまた次の転生を経て、自分を繋いでいってください。

どうぞ、自分の来世と語ることをしていきましょう。自分の過去と語ることをしていきましょう。

今、過去の自分と未来の自分と、ともに、ともに学び、ともに、ともに歩いていこうという気持ちになっているのでしょうか。

過去の自分に、未来の自分に心を向けられる、心で語り合える優しい自分に蘇っていってください。そして、そんなたくさんの自分から、たくさん、たくさん学んでください。自分からたくさん、たくさん教えてもらってください。

苦しかったこと、辛かったこと、悲しかったこと、悔しかったこと、嫌ってきたこと、恨んできたこと、呪ってきたこと、己を表し地獄の苦しみを味わってきたこと、過去から、未来から、たくさん伝えてくれると思います。たくさん教えてくれると思います。そんな自分を知っていくこと、そんな自分から学んでいくこと、それが自分に素直に生きるということなのではないでしょうか。

また、今のあなたの肉を通して知った学びのこと、それも、あなたの心で感じて信じていると思っていることを、過去のあなた、未来のあなたに伝えてください。ともに学ぶ時間を、できるだけ持ちましょう。

明日から三日間、時間と場所を共有して学ばせていただけることを喜びながら、私は私の勉強を進めていきます。

宇宙に心を向けて、ともに行こうと私はこの心から呼びかけます。母なる宇宙へ帰ろう、その呼びかけに応じてたくさんの意識達を心に受けていくでしょう。肉を持たない意識達、宇宙にさ迷ってきた意識達に、帰る場所があったことを心から伝えていける喜びを深く味わっていきます。

今、宇宙と思うだけで嬉しいです。ともにアルバートを呼んで、アルバートへ帰る、母なる宇宙へ帰る喜びをともに共有し合いたい、セミナー会場で展開されていく現象を通して、私の意識の世界は、益々その思いを深くして帰路に着くと予定しています。そのお勉強を経て、私はさらに自宅学習を重ねていくでしょう。

私は宇宙とともにあった。私の思いは、次元移行へ、次元移行へということしかありません。宇宙へ心に向けていけばいくほど、エネルギーが集結してきます。集結してきたエネルギーが地球上に展開されていくこれからの時間は、まさに、天変地異とともに、です。

有意義なセミナー、ありがとうございました。

二日目、三日目、終わりのほうのメッセージ、本当に心に響き渡りました。涙が止まりませんでした。嬉しくて、嬉しくて、本当に嬉しくて、私の中は全くその通り、その通りと本当に嬉しかったです。

二日目の最後の三分間の瞑想は、本当にすごかったです。

一つの肉を持たせてもらって、その肉を通して、今、こうして真実の世界を学ばせていただいていることが、私にはただただ嬉しいです。

宇宙、意識の流れ、次元移行、それらの言葉が波動として、喜びのパワーとして心の中に真っ直ぐに入ってきます。私の中は反応します。本当に待ってきたこと、待ち侘びてきたこと、そんな嬉しさを、心は受け取っています。予定通りのセミナーの学びをさせていただきました。

アルバート、そう呼べる喜びと幸せ、本当にセミナー、ありがとうございました。

心の底から叫ばせていただいたチャネリング、私にとって最高の喜びです。私は、とにかく嬉しくて、嬉しくて、凄まじいエネルギーを感じられることが、ただただ嬉しくて、本当にこんな喜びの時間と空間をありがとう、ありがとうの思いでいっぱいです。

私は帰ります。母なる宇宙へ帰る道を私は心に見つけたんです。

私は、地獄の奥底の底のまた底の叫びを出しながら、ようやく、今世その道筋に辿り着くことができたんです。こんな嬉しいことはありません。

私のこの喜びは、瞑想をすれば自ずと宇宙を思います。宇宙へ心を向けることが私の喜びなんです。宇宙を思うことが私の喜びなんです。

田池留吉の磁場は私の中の母なる宇宙。私は、喜びで、喜びでその母なる宇宙への道をこれからも、着実に歩き続けます。

お母さん、ありがとうございました。本当にありがとうございました。

三次元において、たくさんの肉を持たせていただきました。

すべてが喜びへ帰る道でした。私は宇宙とともに帰ります。お母さん、あなたの許に。

セミナー会場で、田池留吉の肉を通して語るメッセージの波動は、私の心に本当に染み渡りました。田池留吉の磁場、宇宙から伝わってくる波動に私は、本当に幸せと喜びを感じていました。本当にありがとうございました。

私の肉の生活は整っています。何の不満もなければ何もありません。

せん。すべてにおいて満たされています。

しかし、そんなものはとても、とても、私を感じている意識の世界の素晴らしさとは比べるに値しないものです。

もちろん、そうです。肉の世界の幸せ、喜びと、意識の世界のそれらと比べること自体が全くの見当違いなのはよく分かっています。

しかし、本当に全く違う、全然違います。

本当の幸せ、喜びの世界とは、思えばいい世界だけでした。思うだけで広がっていく世界がありました。本当に初めに意識ありきでした。

私は幸せです。見えている私も幸せです。見えない私も幸せの私と巡り会いました。自分の中がようやく矛盾せずに、今世ようやく一つになって、ともに行けることを知りました。

だから、私は、母を思えば、お母さん、ありがとうございます、の思いが広がっていきます。お母さん、本当にありがとう、本当にありがとう、そんな思いの中で、私は私とともに存在していける喜びを母に、母の意識に、伝えています。

帰っておいで、そう待って、待って待ち続けてくれた母の意識の中へ、私達は喜びで帰っていただけです。

今回のセミナー会場で、心の底からの叫びをこの肉を通して出させていただきました。

私の中は、喜び、喜び、嬉しくて……というふうに思っています。

凄まじいエネルギーが喜びへ帰るとき、大きな仕事をしていき

ます。喜びの仕事をしていきます。それが次元移行へ繋がっていくエネルギーとなっていきます。私はそのように感じています。

凄まじいエネルギー、私の中に喜びを大きくしていきます。

凄まじいエネルギー。ブラックのエネルギー。大きなエネルギー。そうです。次元移行へ繋がっていくエネルギーです。ブラックはブラックのままではなく、喜び、温もりへ帰るエネルギー。それをあなたの心の中で感じていくことが、あなたの喜び。そうです。その通りです。

反転のエネルギーです。喜びへといざなっていく自分自身です。あなたはそのことを心で知りました。だからあなたの中から凄まじいエネルギーが出てきても、それはすぐさま、反転のエネルギーに変わっていきます。喜び、温もりのエネルギーに変わっていきます。

田池留吉の磁場の中へどンドンどンドン吸収されていきます。

そうすることによって、さらに大きな闇があなたの中から出てきて、それをあなたは受け入れていきます。

愛が流れているんです。愛が仕事をします。大きな、大きなエネルギーは愛のエネルギーです。

その愛のエネルギーを皆さんは、肉を自分だとするちっぽけな中に自分を閉じ込めて、愛のエネルギーを阻止してきました。流れるのを押し留めている、そんな自分達であることを、しっかりと心に知っていかなければなりません。

心の解放を私達は呼びかけ続けてきました。

そうです。心を解き放していく。あなたの中のエネルギーを解

き放して、喜びへ、温もりへ解き放していく。それが愛。愛の仕事。田池留吉、アルバートへ帰る、母なる宇宙へ帰る道。

そうです。あなたの中でそのことを今世知った。それはとても、大きな、大きな転換期でした。本当にありがとうございます。

私達はあなたの中でいつも、いつも呼びかけています。

田池留吉、アルバートへ心に向けるあなたの喜びを、どんどんどんどん大きくして行ってください。

磁場へ思いを向けていくと、喜びのエネルギー、温もりのエネルギーはさらに、さらにその厚みを増していきます。愛が流れる、あなたの中で愛が流れている、そのことをしっかりと知っていける喜び。今、あなたに伝えます。

肉を持っている今、こんな嬉しくて幸せな時間と空間の中に自分をいざなっていることが、たまらなくありがたいです。本当にありがたいだけです。心に向けていける喜びだけが心に広がっていきます。

今日、明日と仕事は休み。家の用事をさっさと済ませて、瞑想。楽しい瞑想の時間を自由にゆったりと持てる。これ最高。

さあ、ともに心に向けていこう、そう呼びかけていける優しさ
と幸せの中で、私は自分を感じていきます。

たくさんの宇宙に声をかける。思いを向ける。ともに行こうと。

どんなに暗くて狂った宇宙達もOK。私達には帰る場所があったんだ。優しくして温かくて広くて、だからいっしょに帰ろう。そ

んな思いを流していける心の状態、意識の世界を感じて、感じて、さらに思いを広げていきます。いざ、瞑想。

すべては、私と私の中の出来事。私が喜びの世界をさらに広げていくのも私自身にかかっています。その反対も私の責任です。しかし、このことについては、私の中では全く問題ないとも伝わってきます。

ということは、私はただ前進あるのみです。後退はもちろんない。逸れることもない。真っ直ぐに突き進む喜びだけが心に響いてきます。

それはもちろん、私の中の宇宙達とともに。ともに行く、ともに帰る喜びを伝え合うことに徹していきます。

田池留吉の磁場に思いを向ければ向けていくほどに、宇宙は動いていくことを心に感じます。宇宙が動くことが喜び。意識の流れをどんどんどんどん伝えていく喜びだけが、瞑想をする中で心に響いてきます。

私の前に続く一本道を淡々と行くことを、私の中は伝えてきます。私の中の田池留吉、アルバートの意識は伝えてきます。私はこの意識との出会いを本当に待ち望んできたことを繰り返し感じます。

目に見えない意識達との遭遇を私は楽しみに、楽しみに、これからも心を向け、そして心から伝えます。ともに帰ろう。ともに行こう。そのメッセージを力強く伝えます。

(2013年3月25日掲載分まで)

意識の流れ 田池留吉の磁場を思い瞑想をしよう 第3巻

2013年1月28日 第1版第1刷発行

編集 / 発行 U T A 会

印刷 / 製本 モリモト印刷株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

© 2013 Printed in Japan